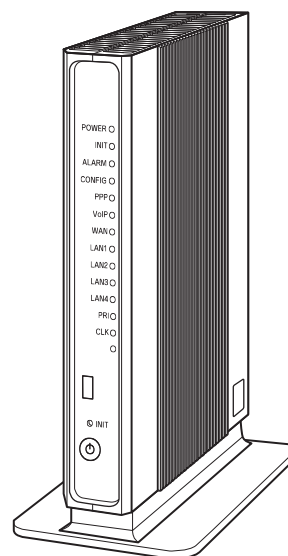


VR-23PRI 取扱説明書

このたびは、VR-23PRI をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

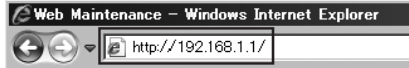
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

Ⅷ型「VR-23PRI」取扱説明書

【記載内容・正誤表】

項	該当箇所/訂正内容等	
1-2	1. お使いになる前に 特長	
	誤	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 固定電話相当の音声品質 音声パケットを優先して扱うことにより、固定電話相当の音声品質を実現します。 </div>
正	文尾に補足追記 ⇒「 但し、ご利用になるアクセスによって品質に差異が生じます。 」	
1-2	1. お使いになる前に 特長	
	誤	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 緊急通報も可能 緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番のご利用が可能です。 </div>
正	・文頭に補足追記 ⇒ Arcstar IP Voice を 0AJ 番号でご利用の場合、 ・文尾に補足追記 ⇒ 但し、一部地域では緊急通報が未提供です。	
3-2	3. インターネットに接続する インターネットに接続する	
	誤	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本商品のブロードバンドルータ機能により、Arcstar IP Voiceではover OCNプランとSmartPBXプランをご利用の場合には、本商品の下部に接続したパソコンからインターネットに接続することができます。 </div>
正	「 Arcstar IP Voice の OCN アクセス、または、Arcstar Smart PBX をご利用の場合 」	
4-4	4. 本商品の設定 本商品の設定を行うには（ログイン）	
	誤	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> 2 Webブラウザのアドレス欄に http://192.168.1.1/ と入力し、「Enter」キーを押す。 <small>本商品のIPアドレスの初期値は 192.168.1.1 です。</small> </div>  </div>
正	「 http://192.168.189.1/ 192.168.189.1 」	
	本装置を設定する際、設定画面にアクセスするために Web ブラウザ上で入力して頂くIPアドレスは、お客様がお申込時にご記入された「ヒアリングシート」において指定されたIPアドレスと同一です。このIPアドレスは、お客様が「ヒアリングシート」において特に指定されなかった場合、以下の初期値アドレスとなります。 ◆初期値アドレス:「 192.168.189.1 」	

《その他》

◆「2. IP 電話サービスを利用する」に関して

- ・ 2-3 の挿絵内の「FOMA 網」を「携帯電話網」に表記訂正願います。
- ・ 2-4「発 ID 表示」はページ自体を削除
- ・ 2-5「その他のサービス」は、図表を削除の上、下記の記述を願います。

ご契約サービスのホームページで、機能一覧等をご覧ください。

<Arcstar IP Voice> http://www.ntt.com/a_ipvoice/

<Arcstar Smart PBX> http://www.ntt.com/a_smartpbx/

- ・ 目次等におけるページ番号の表記調整を願います。

◆「1. お使いになる前に」 > 「各部の名前」1-5 における一部語句の削除



5
管理する

6
と故障かな？

7
付録

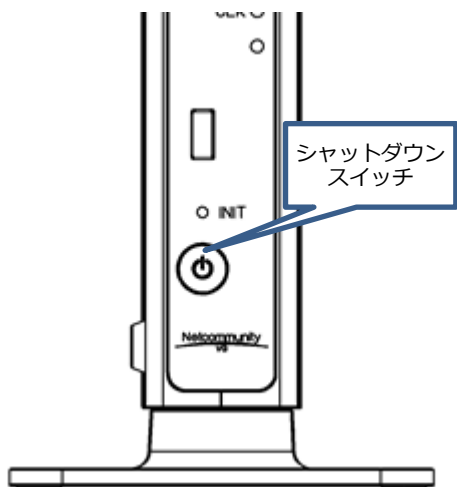
◆以下の注意事項が未記載のため、4-36「電源を「OFF」にする際の注意事項」を追項の上、記載願います。

「4.本商品の設定」 > 「電源を「OFF」にする際の注意事項」

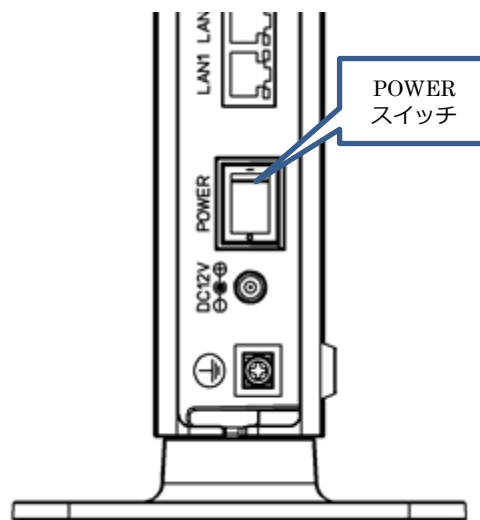
本商品の電源を「OFF」にする際は、必ず以下の操作を行ってください。

この操作を行わずに電源を「OFF」にすると、各種ログの登録データが消去される場合がありますので、ご注意願います。

1. 「シャットダウンスイッチ」を3秒以上(全てのランプ点灯からPOWERランプ[燈]点滅になるまで)押し、スタンバイ状態(Powerランプ[燈]点灯)とします。
2. POWERスイッチを「OFF」にします。



VR-23PRI 正面下部



VR-23PRI 背面下部






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、ご契約サービスのサポート窓口またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ パスワードの取り扱いについて

本商品の設定画面で入力していただくユーザ用パスワードはお客様の大切な個人情報です。パスワードを変更する場合、入力は必ずお客様自身で行ってください。

■ 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。サービス変更などに関する情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

http://www.ntt.com/a_ipvoice/

本商品は外国為替及び外国貿易法の規定により規制貨物に該当します。
本商品を日本国外に持ち出す場合は、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。

ご使用にあたってのお願い

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、通信料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してください。
- 本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を消去する必要があります。本商品に登録または保持された情報を消去するには、ご契約サービスのサポート窓口までご連絡ください（有料）。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 停電時には本商品を使用できません。電源が復旧したあと、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いたあと、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、ご契約サービスのサポート窓口へお申しつけください。
- 本書および本商品のハードウェア、ソフトウェア、外観などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品および本商品に搭載されているソフトウェアについて改変、複製、販売、譲渡を禁止します。

記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

Windows® XPIは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® operating systemの略です。

Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7 operating systemの略です。

Windows® 8は、Microsoft® Windows® 8 operating systemの略です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

■本商品の設置場所について

⚠ 警告

- 本商品、電源アダプタ、LAN / 回線ケーブル、LAN / 回線ケーブルのコネクタのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源アダプタ、LAN / 回線ケーブル、LAN / 回線ケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタ、LAN / 回線ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所（40℃以上）。
 - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - 湿気の多い場所（湿度80%以上）や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所（0℃以下）。

⚠ 注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。また、指定された設置方法以外では設置しないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - 振動、衝撃の多い場所。
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - じゅうたんや布団の上に置く。
 - テーブルクロスなどをかける。
 - 本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い狭い場所に置く。
 - 紙、本などをのせたり、立てかけたりする。
- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

■本商品のお取り扱いについて

警告

- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁のコンセントに他の電気製品の電源プラグなどを差し込む場合は、合計の電流値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。
なお、点検に関してはご契約サービスのサポート窓口にご相談ください。
- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、ご契約サービスのサポート窓口にて修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、ご契約サービスのサポート窓口にて点検をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタ、LAN / 回線ケーブルのコネクタに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、LAN / 回線ケーブルを抜いて、ご契約サービスのサポート窓口にて修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LAN / 回線ケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はご契約サービスのサポート窓口にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はご契約サービスのサポート窓口にご依頼ください。
- 本商品の電源コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードや電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電源アダプタコードが傷んだら、ご契約サービスのサポート窓口にて修理をご依頼ください。
- 本商品の電源コードや電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、ご契約サービスのサポート窓口にて修理をご依頼ください。
- 本商品や電源アダプタ、LAN / 回線ケーブル、LAN / 回線ケーブルのコネクタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、LAN / 回線ケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

- 本商品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、LAN / 回線ケーブルなど外部の接続線をすべて抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタ、LAN / 回線ケーブルなどが接続されたまま移動すると、電源コードや電源アダプタコード、LAN / 回線ケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめご契約サービスのサポート窓口にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。医療事故や、社会的に大きな混乱が発生する原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります（電源プラグをコンセントから抜くと、IP電話サービスはご利用いただけません）。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源アダプタには延長コードを使わないでください。火災の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 本書の接続方法に従って、LAN / 回線ケーブルの接続や回線の接続を行ってください。間違った接続をすると、接続機器や回線設備の故障の原因となることがあります。
- 本商品のスタンド底面はゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください（電源プラグをコンセントから抜くと、IP電話サービスはご利用いただけません）。
- 本商品に乗らないでください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを壁に取り付けるときは、本商品や電源アダプタの重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、LAN／回線ケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本商品の電源を再投入する場合、電源を切った状態から10秒以上経ったあと、電源の再投入をしてください。10秒以内に電源の再投入をすると、故障の原因となることがあります。
- 本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。
- 本商品をご使用中、本体や電源アダプタをさわると温かく感じるがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。
- 本商品に水滴が付いた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴が付いたまま使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本商品の動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。本商品の動作中は、接続コード類には絶対に触れないでください。
- 発ID表示サービスのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
目次	8
この取扱説明書の見かた	10

1 お使いになる前に

本商品でできること	1-2
セットを確認してください	1-4
各部の名前	1-5
本商品を設置する	1-9

2 IP電話サービスを利用する

IP電話サービスを便利に利用するには	2-2
--------------------	-----

3 インターネットに接続する

インターネットに接続する	3-2
ブロードバンドルータ機能説明	3-3

4 本商品の設定

本商品の設定について	4-2
設定の流れ	4-3
本商品の設定を行うには	4-4
プロバイダの接続設定を行う	4-5
LANポートの設定を行う	4-6
パソコンのIPアドレスを固定する	4-8
セキュリティを強化する	4-18
他のルータを接続する	4-25
その他の設定	4-27

5 管理する

管理方法について	5-2
パスワードを変更する	5-3
PINGテストを行う	5-4
情報表示を行う	5-5
再起動する	5-17
ファームウェアをバージョンアップする	5-18
リモートマネジメントを利用する	5-19

6 故障かな?と思ったら

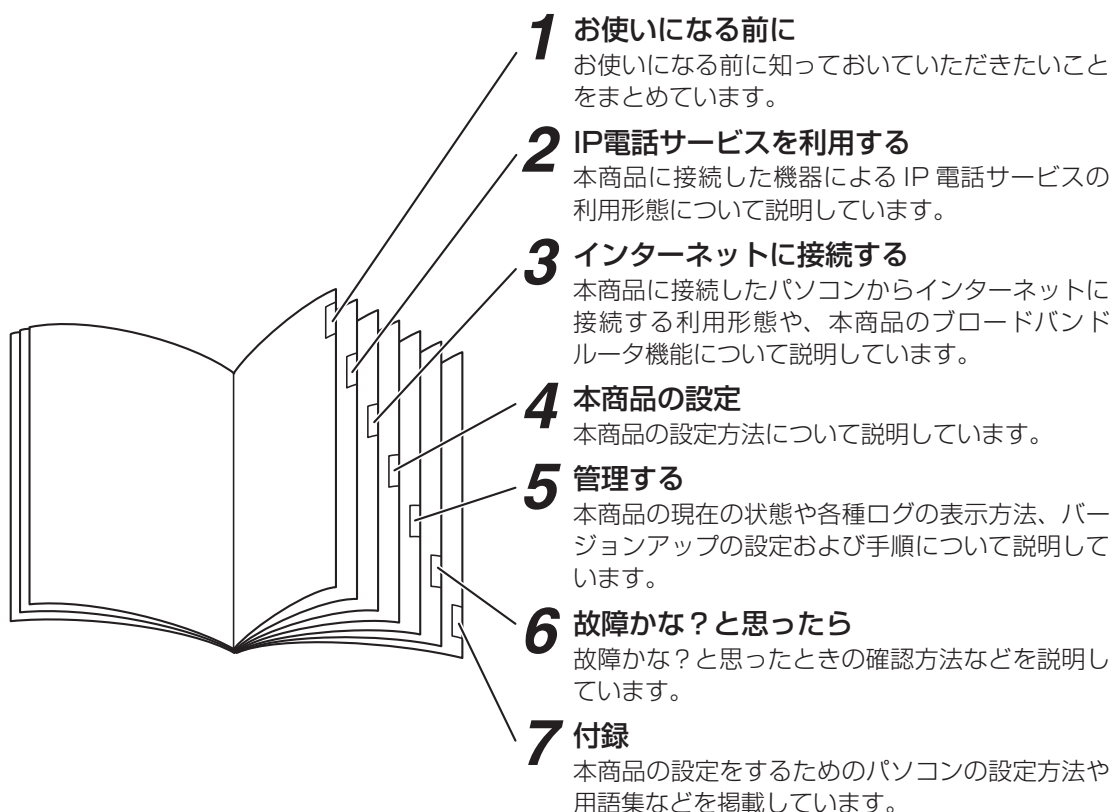
故障かな?と思ったら	6-2
------------	-----

7 付録

パソコンの設定	7-2
Webブラウザの設定	7-30
ユーザ設定記入シート	7-31
Q&A	7-42
用語集	7-43
索引	7-48
仕様	7-50

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

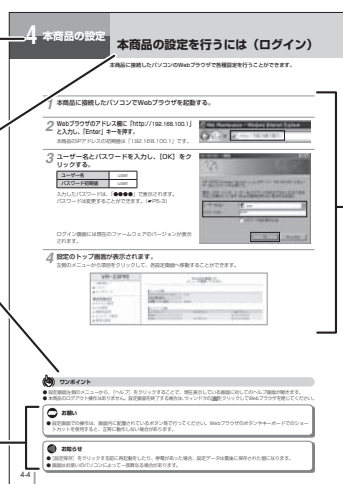
ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ<お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



操作手順説明
順番に操作を説明しています。

1

お使いになる前に

本商品でできること	1-2
セットを確認してください	1-4
各部の名前	1-5
本商品を設置する	1-9

1 お使いになる 前に

本商品でできること

本商品はArcstar IP Voiceサービス対応機器です。
PRIポートに既設のビジネスホンなどのISDN (INSネット1500) 回線収容の機器を接続することで、Arcstar IP Voiceサービスの利用を可能にするVoIPゲートウェイ装置です。

特長

IP 電話サービスに対応

Arcstar IP Voice 電話網を利用して、本商品に接続したビジネスホン等から IP 電話を利用することができます。

ギガビット Ethernet 対応

本商品の LAN/WAN インタフェースがギガビット Ethernet に対応しており、PPPoE のスループットは最大 1Gbit/s を提供可能です。

最大23チャンネルの同時通話が可能

最大 23 チャンネルの同時通話ができます。

ブロードバンドルータ機能内蔵

ブロードバンドルータ機能を内蔵していますので、本商品の LAN ポート下部に接続したパソコンからインターネットに接続することが可能です。

固定電話相当の音声品質

音声パケットを優先して扱うことにより、固定電話相当の音声品質を実現します。

緊急通報も可能

緊急通報 (110 番、118 番、119 番)、災害伝言ダイヤル 171 番のご利用が可能です。

発 ID 表示サービスに対応

発 ID 表示サービス対応ビジネスホンなどを利用することで、電話をかけてきた相手の方の電話番号などを表示させることができます。

お願い

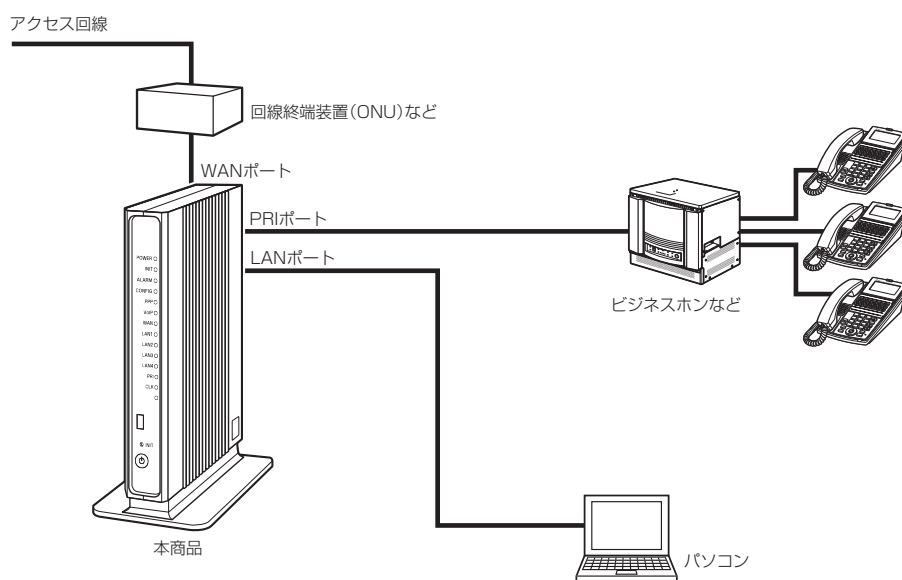
- 緊急通報 (110番、118番、119番) に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

警告

- お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめご契約サービスのサポート窓口にご確認ください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。

構成例

本商品のPRIポートに既設のビジネスホンなどのINSネット1500回線収容の機器を接続することで、IP電話サービスの利用が可能です。



本商品のブロードバンドルータ機能により、LANポートに接続したパソコンをインターネットに接続することができます。



お知らせ

- インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。
- ブロードバンド環境では回線状況などによって通信速度が変化します。そのためPPPoEのスループットは、実際の使用環境における保証値ではありません。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

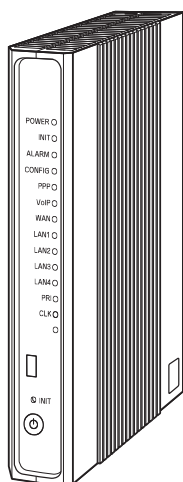
6 故障かな?と思ったら?

7 付録

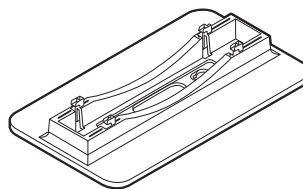
1 お使いになる 前に

セットを確認してください

■本体

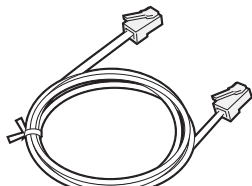


VR-23PRI(1台)

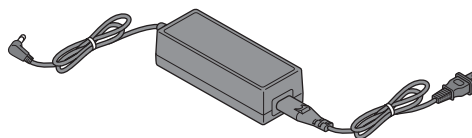


スタンド(1台)

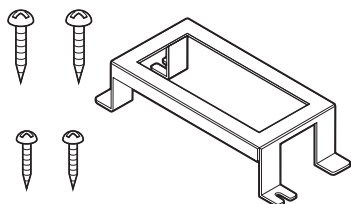
■付属品



LANケーブル
(1本/約3m/白色)



電源アダプタ(1式)



壁掛け用品(一式)



取扱説明書(本書一冊)

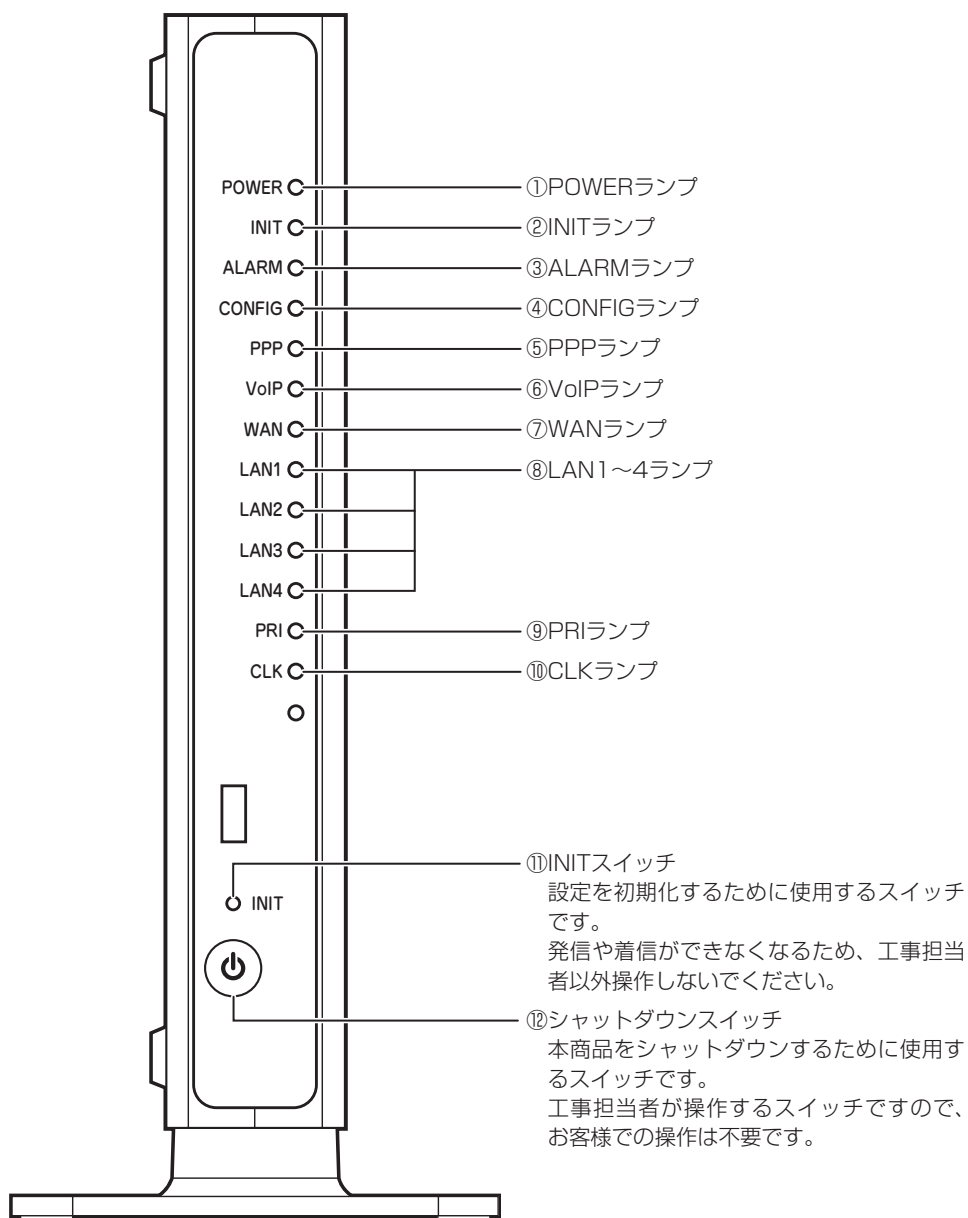
■保証書(1枚)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。
- 付属品の形状は一例です。

1 お使いになる前に

各部の名前

■前面



1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

1 お使いになる 前に

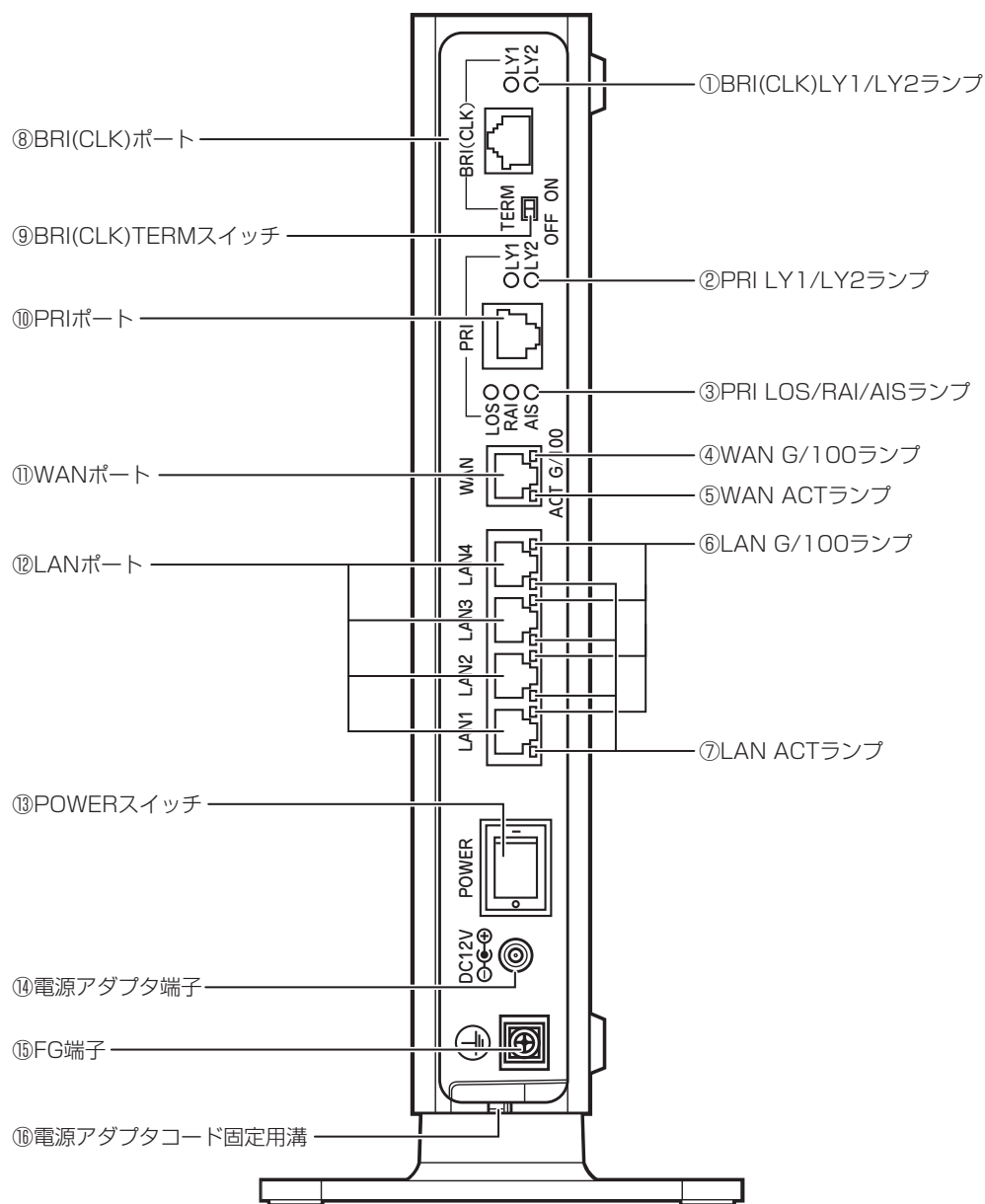
各部の名前

【ランプ説明】

ランプの名称	表示(色)		状態
①POWERランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が正常に入っています。
	赤	点灯	電源に異常があります。装置故障です。 (「故障かな?と思ったら」(P6-1)を参照してください。)
	橙	点滅	シャットダウン処理中です。
	橙	点灯	スタンバイ状態です。
②INITランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態(初期化された状態)です。
		点滅	ファームウェア更新中です。
③ALARMランプ	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置故障です。 (「故障かな?と思ったら」(P6-1)を参照してください。)
④CONFIGランプ	—	消灯	通常の状態です。
⑤PPPランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1セッション接続中です。
	橙	点灯	2セッション以上接続中です。
⑥VoIPランプ	—	消灯	IP電話が利用できません。
	緑	点灯	IP電話が利用できます。
		点滅	IP電話で通信中です。
⑦WANランプ	緑	点灯	WAN回線が利用できます。
		点滅	WAN回線でデータ通信中です。
	赤	点滅	WAN回線が利用できません。
⑧LAN1~4ランプ	—	消灯	LAN回線が利用できません。
	緑	点灯	LAN回線が利用できます。
⑨PRIランプ	—	消灯	PRI回線の設定がされていません。
	緑	点灯	PRI回線が利用できます。
		点滅	PRI回線で通信中です。
	赤	点滅	PRI回線障害です。 (「故障かな?と思ったら」(P6-1)を参照してください。)
		点灯	PRI回線が利用できません。(閉塞中)
⑩CLKランプ	—	消灯	通信クロックは自走です。
	緑	点灯	通信クロックはBRIに同期しています。
		点滅	通信クロックがBRIに同期できていません。
	橙	点灯	通信クロックはPRIに同期しています。
		点滅	通信クロックがPRIに同期できていません。

本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。
シャットダウンスイッチを押した際、全ランプが点灯します。

■背面



1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら?

7 付録

1 お使いになる 前に

各部の名前

【ランプ説明】

ランプの名称	表示(色)		状態
①BRI(CLK)LY1/LY2ランプ	—	消灯	BRI(CLK)ポートが利用できません。
	緑	点灯	BRI(CLK)ポートが利用できます。
②PRI LY1/LY2ランプ	—	消灯	PRIポートが利用できません。
	緑	点灯	PRIポートが利用できます。
③PRI LOS/RAI/AISランプ	—	消灯	通常状態です。
	赤	点灯	PRIポートに異常があります。
④WAN G/100ランプ	—	消灯	10Mbit/sでデータ送受信できます。
	橙	点灯	1Gbit/sまたは100Mbit/sでデータ送受信できます。
⑤WAN ACTランプ	—	消灯	WANが利用できません。
	緑	点灯	WANが利用できます。
		点滅	点滅
⑥LAN G/100ランプ(4個)	—	消灯	10Mbit/sでデータ送受信できます。
	橙	点灯	1Gbit/sまたは100Mbit/sでデータ送受信できます。
⑦LAN ACTランプ(4個)	—	消灯	LANが利用できません。
	緑	点灯	LANが利用できます。
		点滅	点滅

【ポート名など】

名称	機能説明
⑧BRI(CLK)ポート	INSネット64回線に接続するためのポートです。 工事担当者以外接続しないでください。
⑨BRI(CLK)TERMスイッチ	BRI(CLK)ポートの終端抵抗をオン/オフするためのスイッチです。 工事担当者以外操作しないでください。
⑩PRIポート	ビジネスホンやPBXと接続するためのポートです。 工事担当者以外接続しないでください。
⑪WANポート	LANケーブル(付属品など)を使用して回線終端装置(ONU)などのLANポートと接続するためのポートです。
⑫LANポート	LANケーブルを使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑬POWERスイッチ	本商品の主電源をオン/オフするためのスイッチです。
⑭電源アダプタ端子	電源アダプタのコードを差し込みます。
⑮FG端子	アースに接続します。
⑯電源アダプタコード固定用溝	電源アダプタコードをこの溝に引っかけて固定します。

ワンポイント

- 本商品をお買い求め時の状態に戻すには
工事担当者が行いますので、ご契約サービスのサポート窓口までご連絡ください(有料)。

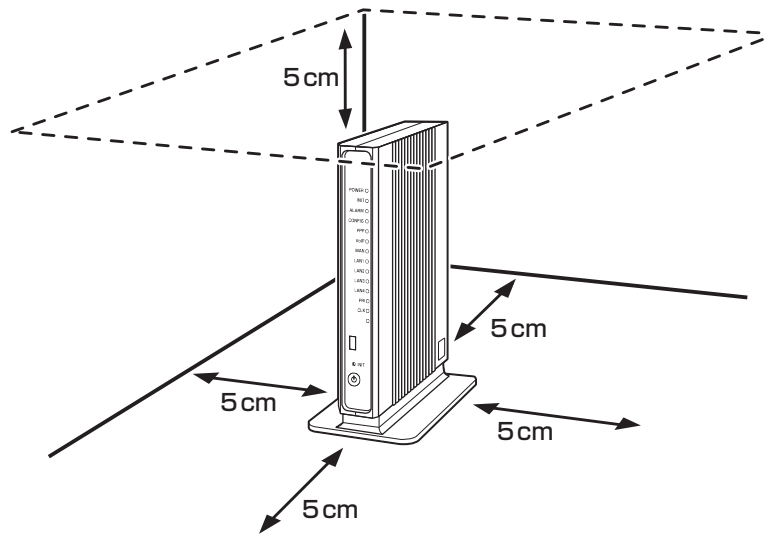
1 お使いになる前に

本商品を設置する

本商品はスタンドを取り付けて縦置きで設置するほか、横置きにしたり、壁に取り付けることができます。どの設置方法でも必ず専用スタンドを使用のうえ設置します。

設置場所について

本商品は、縦置きの場合も、横置きの場合も前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。(壁掛けの場合は除く)



⚠ 注意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら?

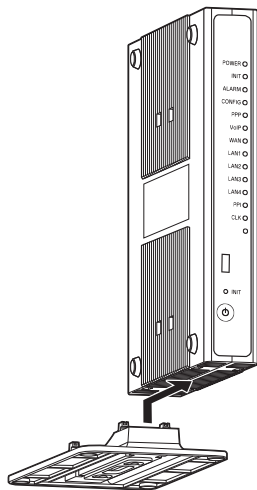
7 付録

1 お使いになる 前に

本商品を設置する

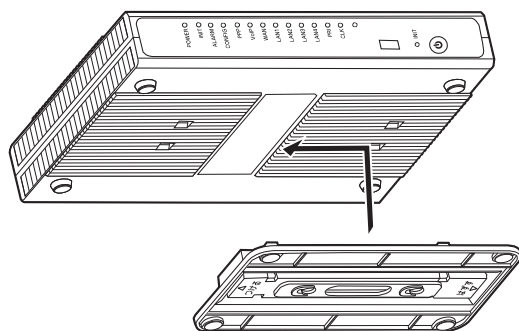
縦置きするには

図のように、本商品本体に付属品の専用スタンドを付けて縦置きで使用ください。



横置きするには

付属品の専用スタンドを使用して、本商品を横置きすることができます。



⚠ 注意

横置き時にも必ず専用スタンドを使用してください。本商品の上部には、なにも置かないでください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

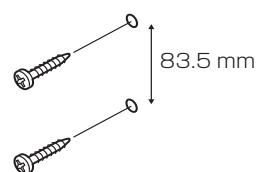
壁に取り付けるには

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ(長さ20 mm)2本を使って壁や柱などに取り付けてください。

1 2本の壁掛け用ネジの取り付け位置(上下幅83.5 mm)を決める。

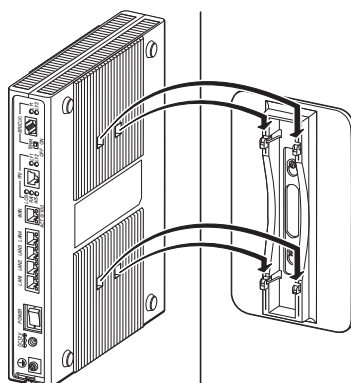
壁掛け用ネジを壁に取り付ける際は、ページ下に記載の矢印の間隔にネジを取り付けてください。

2 ネジを壁に仮締めする。



3 仮締めしたネジにスタンドの穴を引っ掛け、ネジを本締めする。

4 本商品を、壁に取り付けたスタンドに引っ掛ける。



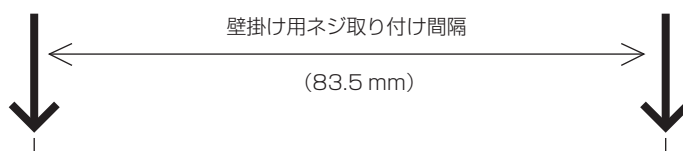
⚠ 注意

力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがあります。

STOP お願い

- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右と前面に各5 cm以上の空間を作って設置してください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。

本商品を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。向きは縦向きです。ご注意ください。



1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら

7 付録

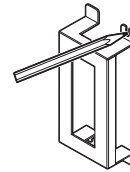
1 お使いになる 前に

本商品を設置する

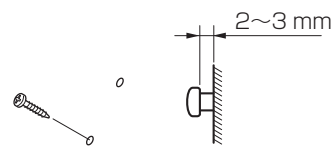
電源アダプタを壁に取り付けるには

電源アダプタを壁に取り付けて使用することができます。
付属品の電源アダプタ取り付け用ブラケットと固定ネジ(長さ10 mm) 2本を使って壁や柱などに取り付けてください。

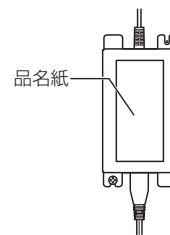
- 1 電源アダプタ取り付け用ブラケットを取り付け位置に当て、固定ネジの取り付け位置に印を付ける。



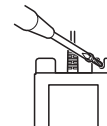
- 2 下側の固定ネジを壁に取り付ける。
このとき、ネジの頭を壁より約2~3 mm程度出した状態にしてください。



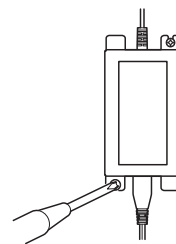
- 3 電源アダプタの品名紙を表にして、電源アダプタ取り付け用ブラケットを電源アダプタにかぶせ、下側のU字穴を壁に取り付けたネジに引っかける。



- 4 固定ネジを電源アダプタ取り付け用ブラケットの上側のU字穴に差し込み、壁に取り付ける。



- 5 電源アダプタ取り付け用ブラケットの下側の固定ネジを締める。



⚠ 注意

- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板(石膏板)などの壁に電源アダプタを取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは動かないようにしっかりと固定してください。電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 電源アダプタは品名紙が表になるように取り付けてください。

2

IP電話サービスを利用する

IP電話サービスを
便利に利用するには…………… 2-2

2 IP電話サービス を利用する

IP電話サービスを便利に利用するには

本商品に接続したビジネスホンから相手の方と通話することができます。
ビジネスホンの詳しい操作方法は、機器の取扱説明書などを参照してください。



お知らせ

- 本商品に接続しているビジネスホンなどのACR等の機能が動作している場合、IP電話サービスが利用できない場合があります。必ずビジネスホンなどのACR等の機能は停止させてください。
- IP電話サービスをご利用になる前に、本商品のVoIPランプ（●P1-5）が点灯していることを必ず確認してください。
- 以下の場合は、IP電話サービスはご利用になれません。
 - ・ 停電のとき（POWERランプ（●P1-5）消灯）
 - ・ 本商品がIP電話サービスの設定に失敗しているとき（VoIPランプ（●P1-5）消灯）
 - ・ 本商品が再起動中のとき
- IP電話サービスでの通話中に本商品の電源が切れたときや本商品の再起動を行った場合は、通話が切断されます。
- IP電話サービスでファクスやアナログモデム通信を行った場合や、通話中に音声ガイドなどでブッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。このとき、失敗した通信に対しても通信料がかかります。
- 緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番に対応しています。一般の電話と同じようにダイヤルしてください。
- 本商品に通話料金表示機能や、通話時間表示機能等のある機器を接続した場合、おかけになった電話番号によっては、通話料金や通話時間が正常に表示されないことがあります。

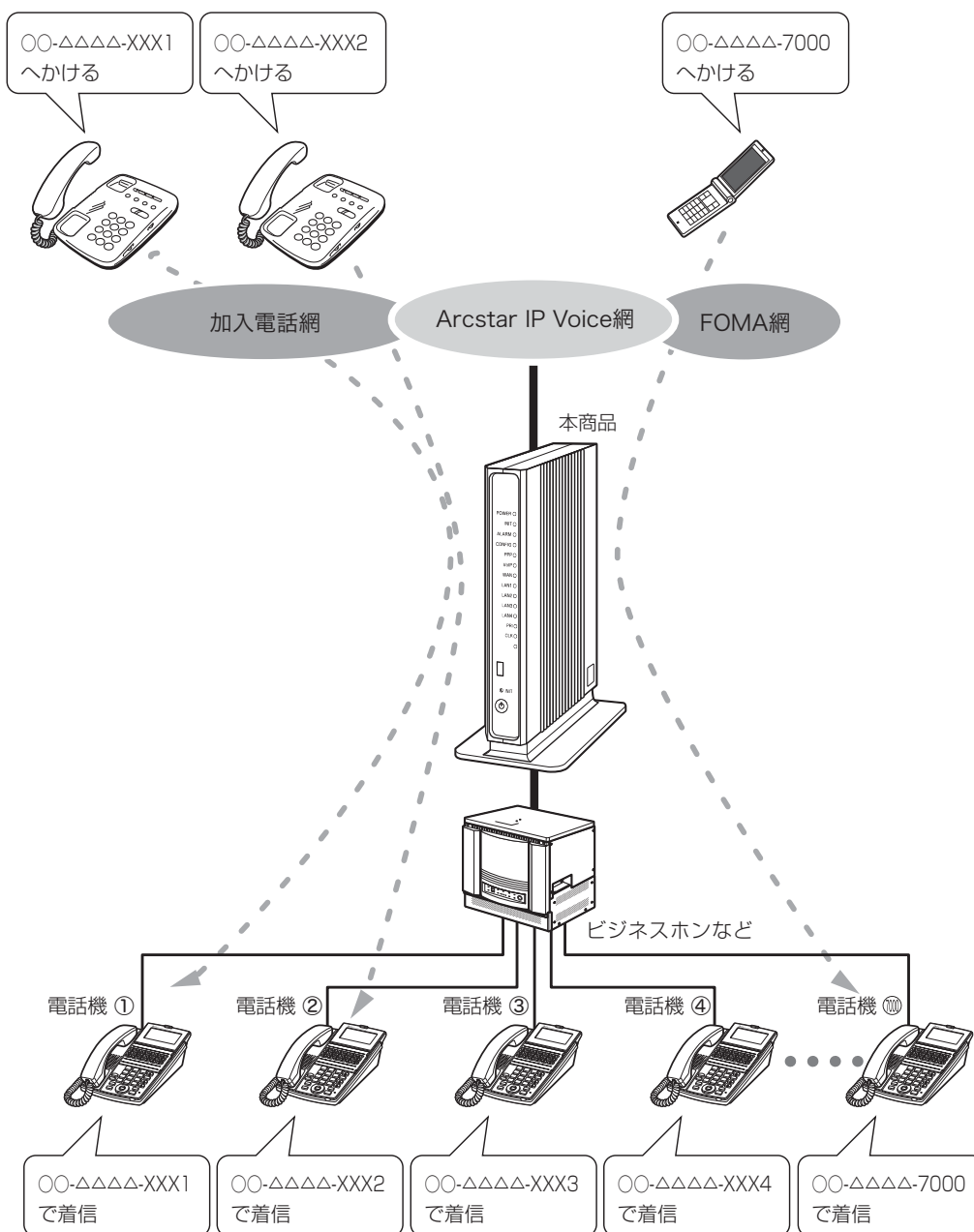


お願い

- 緊急通報（110番、118番、119番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

同時に複数の通話および複数の電話番号を利用する

契約により、本商品の配下に接続したビジネスホンを使用して、最大23チャンネル*1の同時通話ができます。さらに、複数*1の電話番号をご利用になれます。



*1 別途、契約が必要です

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かなと思ったら?

7 付録

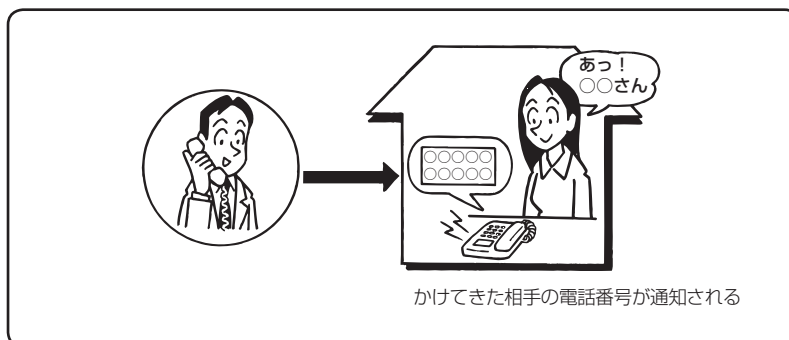
2 IP電話サービス を利用する

IP電話サービスを便利に利用するには

発信ID表示

着信があった場合、発信者の電話番号を発信ID表示サービス対応の電話機に表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



お知らせ

- 接続したビジネスホンなどの機器が発信ID表示サービスに対応している必要があります。

その他のサービス

サービス	内容
代表 (代表番号通知、代表サービス)	代表サービスは、複数の着信先電話番号をグループ化(番号群)し、グループ内でコールを自動着信分配します(順次/ラウンドロビン)。050/OAJ混在とした代表グループを指定することができます。 代表番号通知とは、発信時に代表番号を通知する機能です(番号通知/非通知選択含む)。
転送	以下の転送サービスを利用することができます。 無条件転送 : 予め指定した着信先へ無条件で転送します。 話中時転送 : 着信先がビジーの場合、指定先へ転送します。 無応答時転送 : 一定時間応答しない端末に対しての呼を指定先へ転送します。 不通時転送 : VoIP端末が電源断、故障時、圏外など端末が無反応時に、指定先へ転送します。
ダイヤルインサービス	複数の050/OAJダイヤルイン追加番号を契約し、ダイヤルイン動作による個別番号着信ができます。
代表ダイヤルインサービス	代表とダイヤルインサービスを重畳したものです。
非通知電話着信拒否	発信番号非通知の着信を拒否します。
迷惑電話おことわり	指定した着信番号からの着信を拒否します。
特定番号通知	フリーダイヤル/ナビダイヤルの番号を発信者番号として着信側に通知します。



お知らせ

- ご利用には、現在のご契約内容により別途ご契約が必要な場合があります。
- 詳しい操作方法は、ご契約サービスのサポート窓口にお問い合わせください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

3

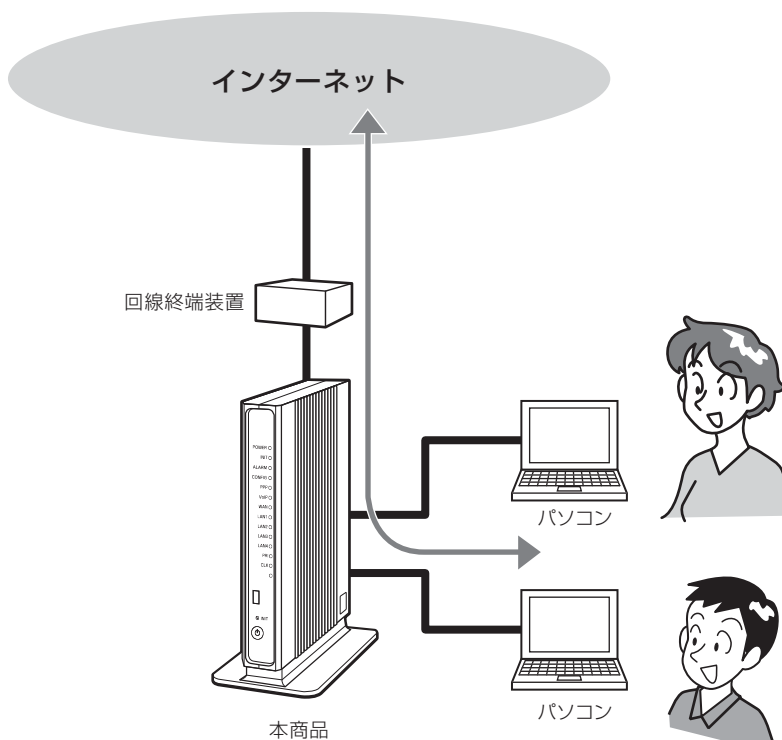
インターネットに接続する

インターネットに接続する…………… 3-2
ブロードバンドルータ機能説明…………… 3-3

3 インターネット に接続する

インターネットに接続する

本商品のブロードバンドルータ機能により、Arcstar IP Voiceではover OCNプランとSmartPBXプランをご利用の場合には、本商品の下部に接続したパソコンからインターネットに接続することができます。
インターネットに接続するためには、プロバイダの接続設定を行う（かんたん設定）（●P4-5）必要があります。



お知らせ

- インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

3 インターネット に接続する

ブロードバンドルータ機能説明

本商品の主なブロードバンドルータ機能について説明します。

- ・ NAT (☛P3-4)
- ・ 静的IPマスカレード (☛P3-5)
- ・ 静的NAT (☛P3-6)
- ・ LAN側静的ルーティング (☛P3-7)
- ・ パケットフィルタリング (☛P3-8)
- ・ URLフィルタリング (☛P3-9)
- ・ SPI (ステートフル・パケット・インスペクション) (☛P3-10)
- ・ DHCPサーバ (☛P3-11)
- ・ PPPoEブリッジ (☛P3-12)

1
お使いになる前に

2
IP電話サービスを利用する

3
インターネットに接続する

4
本商品の設定

5
管理する

6
故障かな？と思ったら

7
付録

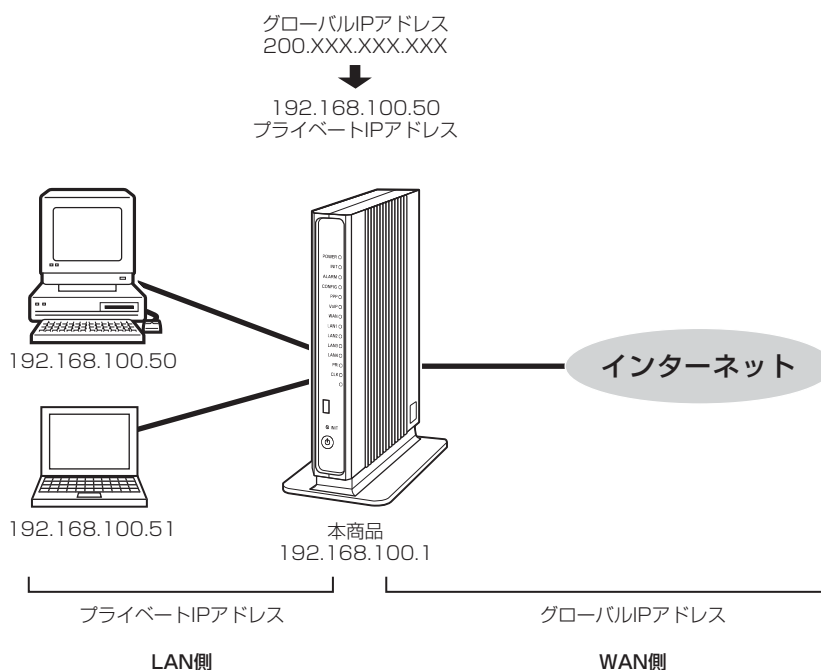
3 インターネット に接続する

ブロードバンドルータ機能説明

NAT

NAT (Network Address Translation) とは、1つのグローバルIPアドレスを利用して、LAN内のプライベートIPアドレスを持つ複数のパソコンをインターネットに接続できる機能です。NATの場合は、WAN側からLAN側のパソコンのいずれかを指定してアクセスを開始することはできません。

WAN側からのアクセスを行いたい場合や特定のアプリケーション（ポート番号）をLAN側の特定アドレスに割り当てる場合は、「静的IPマスカレード」(P3-5)、「静的NAT」(P3-6) 機能を利用します。



お知らせ

- 本商品のプライベートIPアドレスの設定は、工事担当者が行います。
設定を変更する場合は、ご契約サービスのサポート窓口までご連絡ください（有料）。

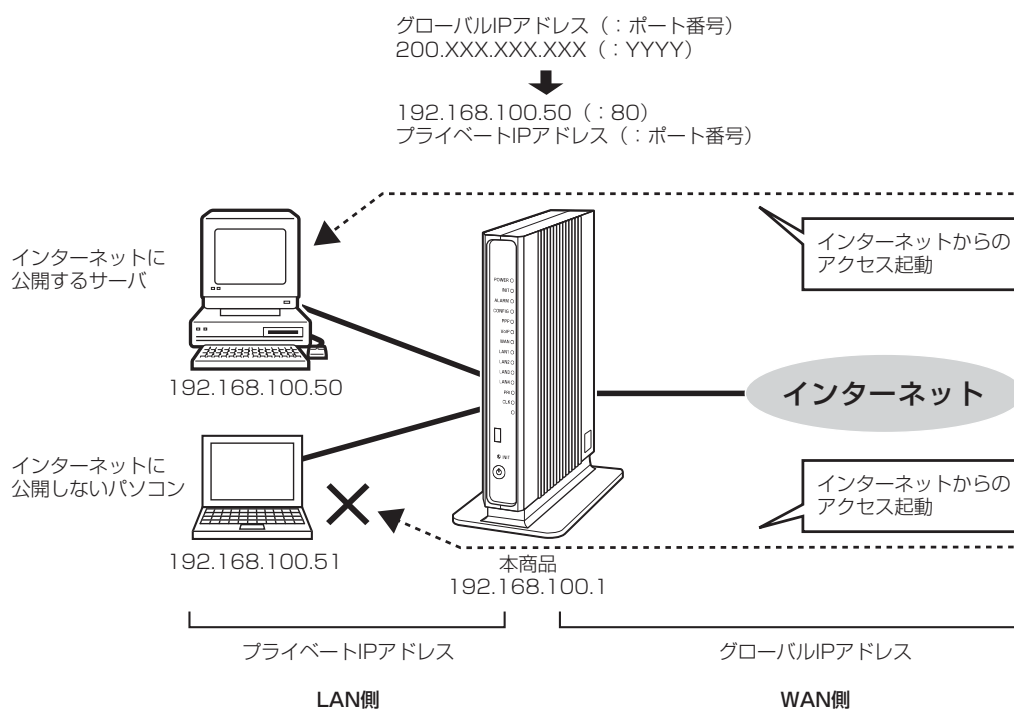
静的IPマスカレード

静的IPマスカレードとは、あらかじめ固定的に使用するグローバルIPアドレスおよびポート番号と、本商品のLAN側に接続された端末を結びつける機能です。

本機能により、WAN側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。

必要に応じてNAPTエントリの設定をすることで、特定のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスできます。

LAN側にインターネットに公開するサーバを設置する場合や、インターネットを介してサーバ機能とクライアント機能が通信する場合、コミュニケーション系アプリケーションなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションに利用できます。



本設定と静的NATとの違いは、静的NATがIPアドレスを変換するだけでポート番号を変換しないのに対し、本設定はポート番号も同時に変換する点です。また、必要最小限のポートを開けることにより、セキュリティレベルが高くなります。

なお、本設定は静的NATの設定よりも優先されますので、ご注意ください。

「静的IPマスカレード」の設定を行うには、「その他の設定 (静的IPマスカレード設定)」(P4-27)を参照してください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

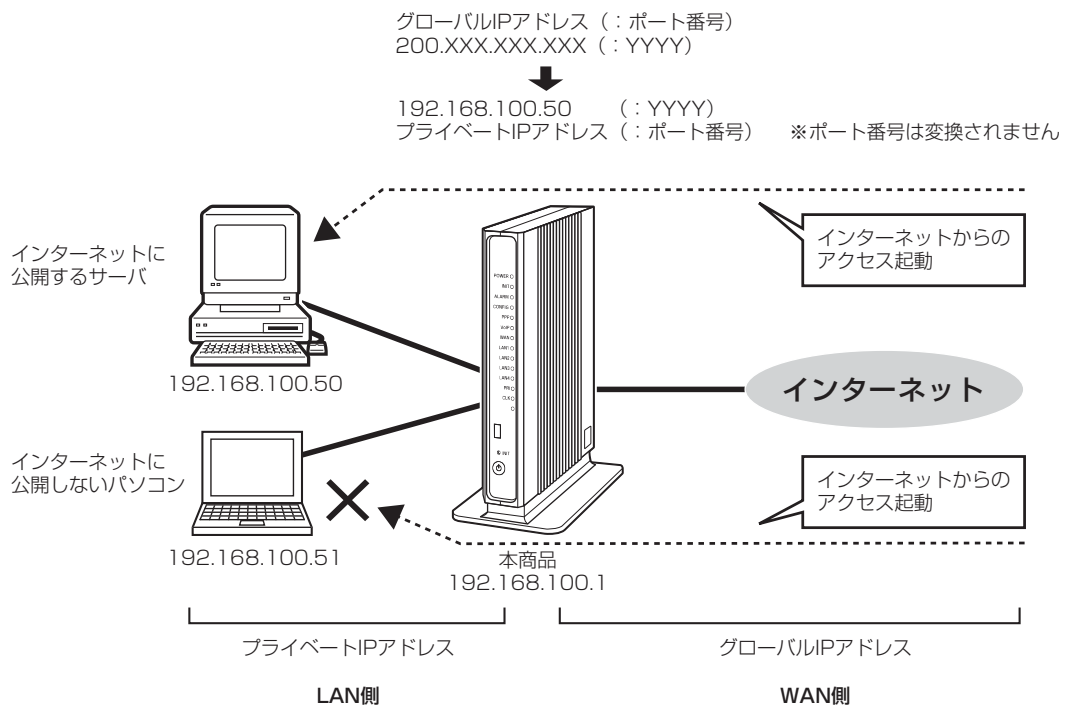
3 インターネット に接続する

ブロードバンドルータ機能説明

静的NAT

LAN側に設置したサーバをインターネットに公開しようとしても、NAT機能では公開できません。
このような時には、使用するグローバルアドレスと公開するサーバのプライベートアドレスの組み合わせを固定するように静的NAT設定を追加します。

静的NATとは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。
本機能により、WAN側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。
必要に応じてNATエントリ設定をすることで、特定のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスできます。
LAN側にインターネットに公開するサーバを設置する場合や、インターネットを介してサーバ機能とクライアント機能が通信する場合、コミュニケーション系アプリケーションなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションに使用できます。



「静的NAT」の設定を行うには、「その他の設定 (静的NAT設定)」(P4-30)を参照してください。

LAN側静的ルーティング

本商品にルーティング対象の宛先IPアドレスを登録することによって、あらかじめパケットの送信先をLAN側で振り分けることができる機能です。

LAN内に他のルータが存在し、そのルータに接続されたパソコンから本商品を経由したインターネット通信を行う場合などに、あらかじめルーティングテーブルにルーティング情報の設定を行います。

「LAN側静的ルーティング」の設定を行うには、「他のルータを接続する (LAN側静的ルーティング設定)」(●P4-25)を参照してください。

1
お使いになる前に

2
IP電話サービスを利用する

3
インターネットに接続する

4
本商品の設定

5
管理する

6
故障かな?と思ったら

7
付録

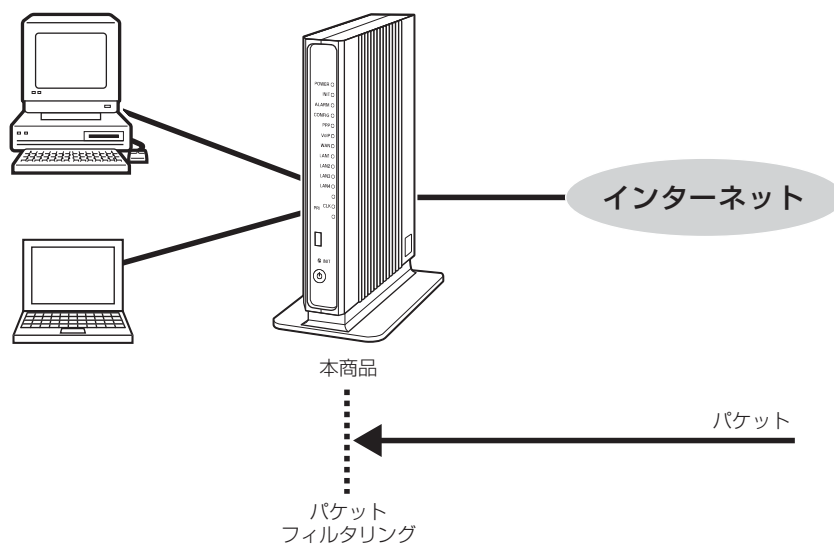
パケットフィルタリング

指定した条件の通信を遮断する機能です。

あらかじめ設定した条件にしたがって、パケットを選択的に通過させたり、通過を禁止することができます。 unnecessaryパケットの送受信を制限できるので、セキュリティの高いLANを構築できます。

本商品ではフィルタ条件として、以下の項目を指定できます。

- 「通信方向」
- 「接続インタフェース名」
- 「TCPフラグ」
- 「送信元IPアドレス」
- 「宛先IPアドレス」
- 「プロトコル」
- 「送信元ポート」
- 「宛先ポート」
- 「セキュリティログ保存の可否」
- 「フィルタ種別」
- 「ICMPタイプ」
- 「ICMPコード」

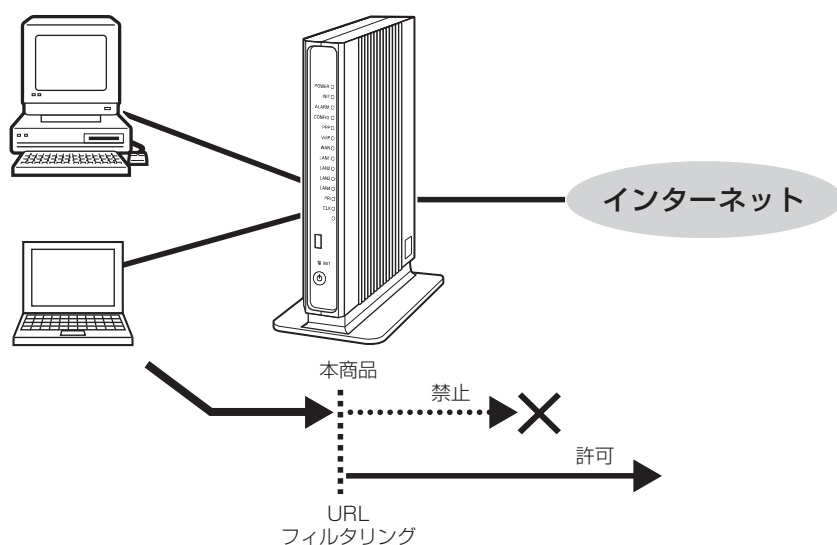


「パケットフィルタリング」の設定を行うには、「セキュリティを強化する（パケットフィルタ設定）」（▶P4-19）を参照してください。

URLフィルタリング

あらかじめ設定したドメインサイト、あるいは設定したキーワードを含むドメインサイトへのアクセスを、条件にしたがって遮断したり、許可したりできます。

アクセスが不適切であると判断されるwebサイトや有害サイトへのアクセスを遮断できます。また、設定されたwebサイトへのアクセスのみ許可することもできます。



「URLフィルタリング」の設定を行うには、「セキュリティを強化する (URLフィルタ設定)」(▶P4-23)を参照してください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら

7 付録

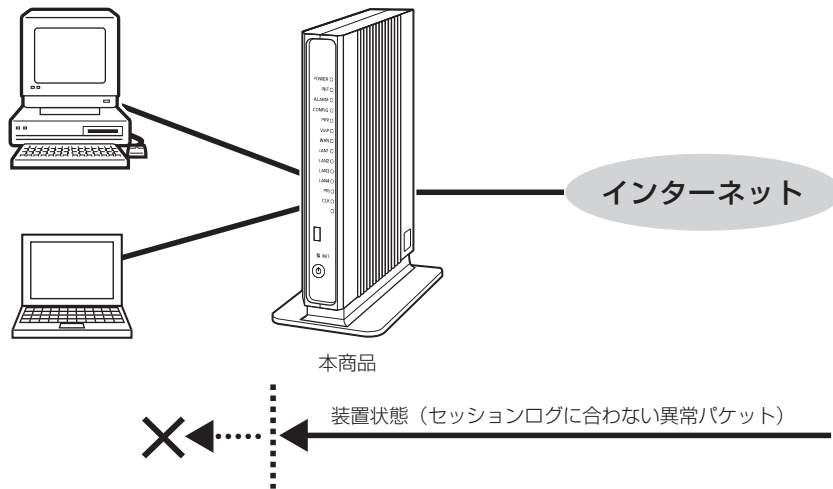
3 インターネット に接続する

ブロードバンドルータ機能説明

SPI (ステートフル・パケット・インスペクション)

パケットフィルタリング機能の一種で、中継時にパケットのセッションログをチェックして、異常なパケットを破棄する機能です。

例えば、LAN側からインターネットへ送信した要求パケットに対する応答パケットのみを通過させます。

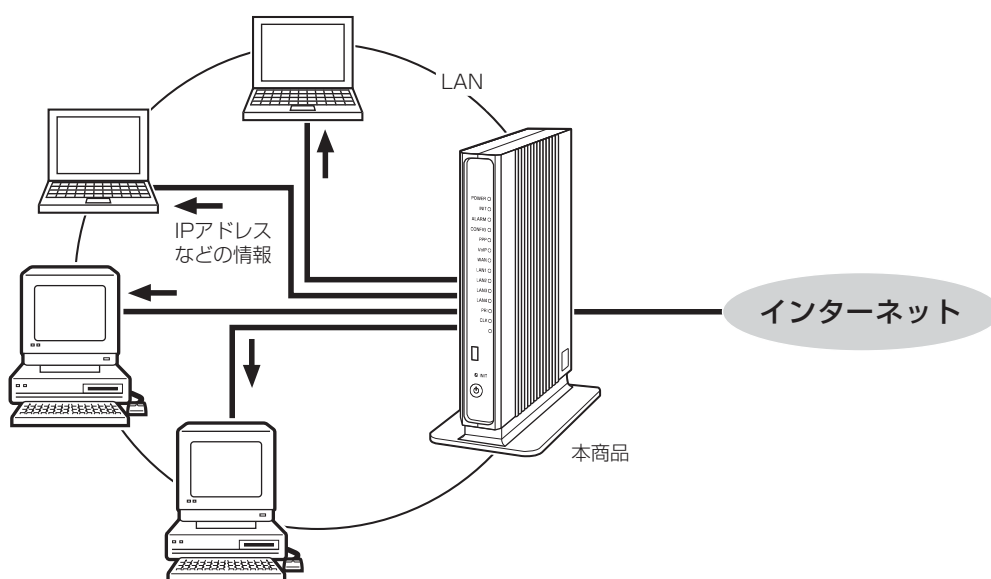


「SPI」の設定を行うには、「セキュリティを強化する (SPI設定)」(▶P4-18) を参照してください。

DHCPサーバ

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバとは、LAN上のパソコンが起動するたびに、IPアドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報を、本商品から各パソコンに自動的に割り当てる機能です。これにより、各パソコンでネットワークの詳細な設定を行わなくても、LANやインターネットに接続できます。

DHCPで動的にIPアドレスを割り当てたくない場合、固定でIPアドレスを設定することも可能です。



「DHCPサーバ」の設定を行うには、「パソコンのIPアドレスを固定する (DHCPv4サーバ設定)」(P4-8) を参照してください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを
利用する

3 インターネットに
接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かなら
と思ったら?

7 付録

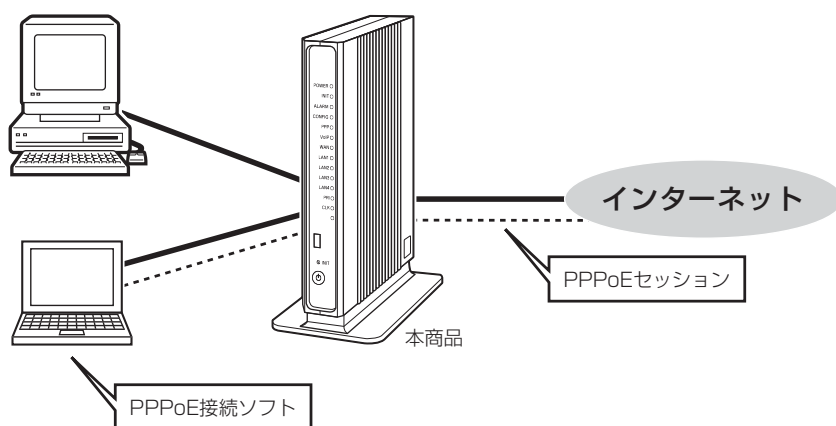
3 インターネット に接続する

ブロードバンドルータ機能説明

PPPoEブリッジ

PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルを搭載しているパソコンなどを接続できます。
グローバルアドレスが必要なアプリケーションを利用する場合、PPPoEブリッジを用いると、ご使用の端末に直接グローバルIPアドレスを取得できます。

PPPoEブリッジを使用して本商品のLAN側に接続した機器（パソコンやルータなど）からの接続数と、本商品から接続する接続先の接続数の合計は、契約内容によって制限されます。



「PPPoEブリッジ」の設定を行うには、「その他の設定（高度な設定）」（●P4-34）を参照してください。

4

本商品の設定

本商品の設定について	4-2
設定の流れ	4-3
本商品の設定を行うには	
ログイン	4-4
プロバイダの接続設定を行う	
かんたん設定	4-5
LANポートの設定を行う	
LAN設定	4-6
パソコンのIPアドレスを固定する	
DHCPv4サーバ設定	4-8
セキュリティを強化する	
SPI設定	4-18
パケットフィルタ設定	4-19
URLフィルタ設定	4-23
他のルータを接続する	
LAN側静的ルーティング設定	4-25
その他の設定	
静的IPマスカレード設定	4-27
静的NAT設定	4-30
DNS設定	4-33
高度な設定	4-34

4 本商品の設定

本商品の設定について

本商品の設定は工事担当者が実施しますので、お客様による設定は不要です。
番号の追加、ダイヤルイン設定の変更など、本商品のIP電話サービスに関する設定変更が必要な場合はご契約サービスのサポート窓口にご相談ください。
なお、インターネットに接続するための設定はお客様で登録、変更いただけます。

お客様で登録・変更いただける設定項目

- かんたん設定
- LAN設定
- DHCPv4サーバ設定
- PPPoE設定
- SPI設定
- パケットフィルタ設定
- URLフィルタ設定
- LAN側静的ルーティング設定
- 静的IPマスカレード設定
- 静的NAT設定
- DNS設定
- 高度な設定



お知らせ

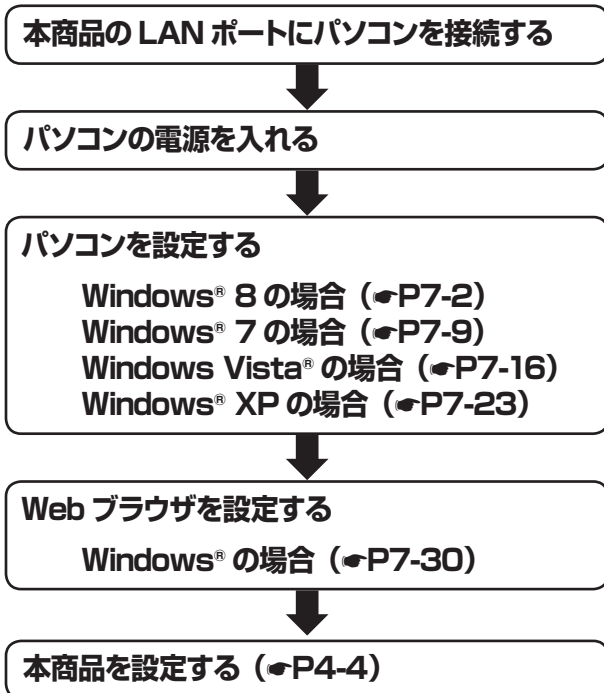
- 本商品は以下のOSおよびWebブラウザに対応しています。

対応OS	対応ブラウザ
Windows® 8	Internet Explorer® 10.0
Windows® 7	Internet Explorer® 8.0、9.0
Windows Vista® (SP1/SP2を含む)	Internet Explorer® 7.0、8.0、9.0
Windows® XP (SP3)	Internet Explorer® 6.0 (SP3)

- 設定画面や構成は2014年2月現在のものです。ファームウェアの更新により、設定画面や構成が変わることがあります。

4 本商品の設定

設定の流れ



1 お使いになる前に

2 IP 電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな? と思ったら?

7 付録

4 本商品の設定

本商品の設定を行うには（ログイン）

本商品に接続したパソコンのWebブラウザで各種設定を行うことができます。

1 本商品に接続したパソコンでWebブラウザを起動する。

2 Webブラウザのアドレス欄に「http://192.168.100.1」と入力し、「Enter」キーを押す。

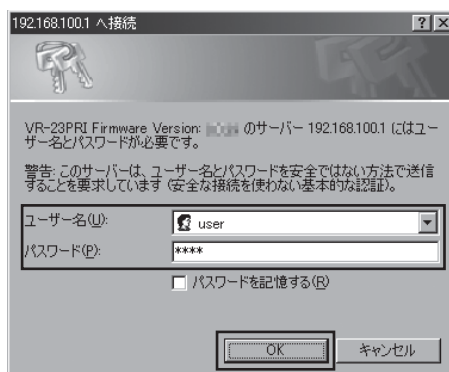
本商品のIPアドレスの初期値は「192.168.100.1」です。



3 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

ユーザー名	user
パスワード初期値	user

入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。
パスワードは変更することができます。（▶P5-3）



ログイン画面には現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

4 設定のトップ画面が表示されます。

左側のメニューから項目をクリックして、各設定画面へ移動することができます。



ワンポイント

- 設定画面左側のメニューから、「ヘルプ」をクリックすることで、現在表示している画面に対してのヘルプ画面が開きます。
- 本商品のログアウト操作はありません。設定画面を終了する場合は、ウィンドウの をクリックしてWebブラウザを閉じてください。

お願い

- 設定画面での操作は、画面内に配置されているボタン等で行ってください。Webブラウザのボタンやキーボードでのショートカットを使用すると、正常に動作しない場合があります。

お知らせ

- 【設定保存】をクリックする前に再起動をしたり、停電があった場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

4 本商品の設定

プロバイダの接続設定を行う (かんたん設定)

本商品のブロードバンドルータ機能を使ってインターネットに接続する場合にプロバイダの接続設定を行います。

The screenshot shows the VR-23PRI web interface. On the left is a navigation menu with options like 'ヘルプ' (Help) and 'かんたん設定' (Easy Setup). The main area is titled '接続先設定(かんたん設定)' (Connection Settings (Easy Setup)). It includes a breadcrumb trail, a warning message about call disconnection, and input fields for '接続先名' (Connection Name), '接続先ユーザ名' (Connection Username), and '接続先パスワード' (Connection Password). There are '設定保存' (Save Settings) and '元に戻す' (Reset) buttons at the bottom.

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [かんたん設定] をクリックする。

3 [接続先設定] をクリックする。

4 各項目を設定する。

■ 接続先設定 (かんたん設定)

【接続先名】

接続先の名称を入力します。入力した名称で接続先を判別することができます。

全角文字、半角英数字、半角カタカナ、半角スペースおよび記号を使用できます。ただし半角の < > ¥ ` ` ? & % = は使用できません。

- 文字数は半角英数字および半角記号のみの場合は64文字以内、全角文字および半角カタカナを含む場合は32文字以内となります。
- 大文字と小文字は区別されます。

【接続先ユーザ名】

プロバイダから指定されたPPP認証用のIDを半角英数字または記号で入力します。

【接続先パスワード】

プロバイダから指定されたPPP認証用のパスワードを半角英数字または記号で入力します。

5 [設定保存] をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。

🔔 お知らせ

- [接続先名] に半角スペース、全角スペースのみの名称は設定できません。
- 「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。接続先ユーザ名に使用できるのは、半角の英数字と記号で最大80文字までです。
- 「接続先パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。接続先パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大48文字までです。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

4 本商品の設定

LANポートの設定を行う (LAN設定)

本商品のLANポートに接続する機器がLANのオートネゴシエーションに対応していないなど、LANのインタフェース条件を合わせる必要がある場合に設定します。

ポート番号	通信速度	MDI/MDI-Xモード
1	自動設定	自動設定
2	自動設定	自動設定
3	自動設定	自動設定
4	自動設定	自動設定

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [LAN設定] をクリックする。

3 [LAN設定]（2段目）をクリックする。

4 各項目を設定する。

■ LANポート設定

【通信速度（ポート1～4）】（初期値：自動設定）

LANポート通信を「自動設定、100M/全二重、100M/半二重、10M/全二重、10M/半二重」から選択します。通常は自動設定で使用します。

自動設定

LAN側の伝送速度/伝送モードを自動で設定します。

100M/全二重

LAN側の伝送速度を100Mbit/s、伝送モードを全二重に設定します。

100M/半二重

LAN側の伝送速度を100Mbit/s、伝送モードを半二重に設定します。

10M/全二重

LAN側の伝送速度を10Mbit/s、伝送モードを全二重に設定します。

10M/半二重

LAN側の伝送速度を10Mbit/s、伝送モードを半二重に設定します。

【MDI/MDI-Xモード（ポート1～4）】（初期値：自動設定）

LANポートのMDI/MDI-Xモードを固定するか、自動切り替えにするかを選択します。

自動設定

LANポートのMDI/MDI-Xモードを自動切り替えに設定します。

MDI-X固定

LANポートのMDI/MDI-XモードをMDI-X固定に設定します。

MDI固定

LANポートのMDI/MDI-XモードをMDI固定に設定します。

5 【設定保存】 をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。

1
お使いになる前に

2
利用する
IP電話サービス

3
接続する
インターネットに

4
本商品の設定

5
管理する

6
故障かな？
と思ったら？

7
付録



お知らせ

- 【設定保存】 をクリックしたあと、本商品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Webブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定を合わせたあと、Webブラウザを開き直してください。

4 本商品の設定

パソコンのIPアドレスを固定する (DHCPv4サーバ設定)

DHCPサーバの設定を行います。LAN側に払い出すIPアドレスを固定したい場合に設定します。通常は、初期値のままお使いください。
間違えると接続できなくなりますので、ご注意ください。

VR-23PRI

- MENU -

- ヘルプ
- トップページ

構成情報設定

- + かんたん設定

- LAN設定

- LAN設定
 - DHCPv4サーバ設定
- + 接続先設定
- + ネットワーク設定
- 高度な設定

装置情報表示

- + 情報表示

メンテナンス

- + メンテナンス
- + ファームウェア更新

DHCPv4サーバ設定

トップページ>LAN設定>DHCPv4サーバ設定

設定保存 元に戻す

IPアドレス/マスク長

LAN側IPアドレス/マスク長 192.168.1.0/24

手動IPアドレス払い出し設定

番号	払い出しIPアドレス	MACアドレス (例:12:34:56:78:90:ab)	番号	払い出しIPアドレス	MACアドレス (例:12:34:56:78:90:ab)
1			26		
2			27		
3			28		
4			29		
5			30		
6			31		
7			32		
8			33		
9			34		
10			35		
11			36		
12			37		
13			38		
14			39		
15			40		
16			41		
17			42		
18			43		
19			44		
20			45		
21			46		
22			47		
23			48		
24			49		
25			50		

※ 手動IPアドレス設定は、内線端末を含めMACアドレス、IPアドレスの重複が無いように設定してください。

設定保存 元に戻す

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(●P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [LAN設定] をクリックする。

3 [DHCPv4サーバ設定] をクリックする。

4 「手動IPアドレス払い出し設定」を変更する。

■ IPアドレス/マスク長

【LAN側IPアドレス/マスク長】（初期値：192.168.100.1/24）

本商品のLAN側IPアドレス、マスクが表示されます。

設定変更は工事担当者が行いますので、ご契約サービスのサポート窓口までご連絡ください（有料）。

■ 手動IPアドレス払い出し設定（登録数1～50）

【払い出しIPアドレス】

LAN側の端末・サーバ等にDHCPサーバ機能により自動的に払い出すプライベートIPアドレスを指定します。IPアドレスはLAN側IPアドレスと同じサブネットの範囲内である必要があります。

【MACアドレス】

DHCPサーバ機能によりプライベートIPアドレスを自動的に払い出す端末・サーバ等のMACアドレスを指定します。

5 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は、【元に戻す】をクリックしてください。

1
お使いになる前に

2
IP電話サービスを利用する

3
インターネットに接続する

4
本商品の設定

5
管理する

6
故障かな？と思ったら

7
付録

4 本商品の設定

複数の接続先を設定する (PPPoE設定)

接続先の設定を行います。

あらかじめ接続先を複数設定しておいて、その中から接続先を選択して接続することができます。複数の接続先を同時に接続することもできます。

The screenshot shows the configuration page for VR-23PRI, specifically the PPPoE settings. The left sidebar contains a menu with options like 'ヘルプ', '構成情報設定', '接続先設定 (PPPoE)', and 'メンテナンス'. The main content area is titled '接続先設定 (PPPoE)' and includes a warning message, a table for selecting connection destinations, and a table for setting connection rules.

接続先設定 (PPPoE)
トップページ>接続先設定>接続先設定 (PPPoE)

【接続先の選択設定】の接続先の設定を変更した場合、【設定保存】ボタンをクリックしたあと、本商品へのアクセスが4分15秒間できなくなります。また、接続中に設定保存ボタンをクリックして設定変更を行った場合、接続が切断されたことがあります。複数の接続先を同時に接続することもできます。通常の割り当てセッションを使用し、特定の条件に一致した場合のみセッション2-5を使用します。接続先の設定を変更または削除するときは、【編集】ボタンをクリックしてください。接続先を追加するときは、空欄の編集ボタンをクリックしてください。

番号	接続可	接続先選択	接続先名	接続モード	UPnP優先	状態	操作
1	<input type="checkbox"/>	メインセッション		常時接続	<input checked="" type="checkbox"/>	停止中	接続
2	<input type="checkbox"/>	セッション2			<input type="checkbox"/>		編集
3	<input type="checkbox"/>	セッション3			<input type="checkbox"/>		編集
4	<input type="checkbox"/>	セッション4			<input type="checkbox"/>		編集
5	<input type="checkbox"/>	セッション5			<input type="checkbox"/>		編集

設定保存 元に戻す

該当する番号の【編集】ボタンをクリックして設定してください。

接続先選択	宛先ドメイン名	宛先IPアドレス	送信元IPアドレス	プロトコル/宛先ポート番号	編集
セッション2					編集
セッション3					編集
セッション4					編集
セッション5					編集

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4)の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [接続先設定] をクリックする。

3 [接続先設定 (PPPoE)] をクリックする。

- ・ 接続先の選択設定を変更する場合 ⇒ 手順4へ
- ・ 接続先の設定を変更する場合 ⇒ 手順6へ
- ・ 接続ルールを設定する場合 ⇒ 手順9へ

4 「接続先の選択設定」を変更する。

■ 接続先の選択設定

【接続可】

接続を許可するセッションを選択します。

【UPnP優先】

UPnP機能を使用するセッションを選択します。

UPnP機能を使用する場合は、[高度な設定] - [UPnP設定] (●P4-34) - [UPnP設定] を [使用する] に設定してください。選択できるのは1つのセッションだけです。



お知らせ

- 複数の接続先を同時に接続するためには、回線が複数同時セッションに対応している必要があります。
- 画面右側の「操作」欄にあるボタンをクリックすることで、手動でPPPoEの接続と切断を行うことができます。ただし、パソコン側にDNSキャッシュが残った状態で、セッション2～5の手動切断操作を行った場合、次回のインターネット接続ができなくなり、パソコンの再起動が必要となる場合があります。
- プロバイダが提供する050IP電話をご利用の場合、使用するプロバイダの接続先は、必ずメインセッションに登録してください。セッション2～5に登録すると、050IP電話は利用できません。

5 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。

6 「接続先の選択設定」で設定する接続先の【編集】をクリックする。

VR-23PRI	
<ul style="list-style-type: none"> ヘルプ トップページ 構成情報設定 <ul style="list-style-type: none"> かんたん設定 LAN設定 接続先設定 (PPPoE) <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定 高度な設定 装置情報表示 <ul style="list-style-type: none"> 情報表示 メンテナンス <ul style="list-style-type: none"> メンテナンス ファームウェア更新 	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>接続先設定</p> <p>トップページ > 接続先設定 > 接続先設定 (PPPoE) > メインセッション</p> <p>【DnSリレー】以下の設定を変更した場合、設定変更ボタンをクリックしたあと、本装置へのアクセスが正常に取得できなくなります。また、接続先は設定後必ずワンクリックして設定変更を行った場合、接続が切断される可能性があります。</p> <p>設定保存 戻る</p> <p>接続先設定</p> <p>接続先選択 <input type="text" value="メインセッション"/></p> <p>接続先名前 <input type="text"/></p> <p>接続先ユーザ名 <input type="text"/></p> <p>接続先パスワード <input type="password"/></p> <p>PPPoEレス</p> <p>PPPoEレスの自動切断 <input type="checkbox"/> PPPoEレスの自動切断</p> <p>DnSリレー/PPPoEレス</p> <p>サーバは6666番でPPPoEレス <input type="checkbox"/> 使用する</p> <p>プライマリーDnS <input type="text"/></p> <p>セカンダリーDnS <input type="text"/></p> <p>認証方式</p> <p>認証方式 <input type="text" value="自動認証"/></p> <p>MU設定</p> <p>MUのIPアドレス <input type="text" value="192.168.1.1"/></p> <p>MUのポート</p> <p>MUのポート <input type="text" value="8080"/></p> <p>接続モード</p> <p>接続モード <input type="text" value="30分間隔"/></p> <p>PPPoE-ブランチアップ</p> <p>PPPoE-ブランチアップ機能 <input type="checkbox"/> 使用する</p> <p>LDP ECHO送信間隔 <input type="text" value="10"/> 分</p> <p>LDP ECHOのトラフィック削減 <input type="checkbox"/> 使用する</p> <p>拡張設定</p> <p>PPPoE拡張設定 <input type="checkbox"/> 使用する</p> <p>設定保存 元に戻す</p> </div>

(次ページへ続きます)

4 本商品の設定

複数の接続先を設定する (PPPoE設定)

7 「接続先設定」を変更する。

■ 接続先設定

【接続先選択】

現在選択している接続先が表示されます。

【接続先名】

接続先の名称を入力します。入力した名称で接続先を判別することができます。

全角文字、半角英数字、半角カタカナ、半角スペースおよび記号を使用できます。ただし半角の < > ¥ ` ` ? & % = は使用できません。

- 文字数は半角英数字および半角記号のみの場合は64文字以内、全角文字および半角カタカナを含む場合は32文字以内となります。
- 大文字と小文字は区別されます。



お知らせ

- 半角スペース、全角スペースのみの名称は設定できません。

【接続先ユーザ名】

プロバイダから指定されたPPP認証用のIDを半角英数字または記号で入力します。最大80文字までです。

【接続先パスワード】

プロバイダから指定されたPPP認証用のパスワードを半角英数字または記号で入力します。最大48文字までです。

■ IPアドレス

【IPアドレスの自動取得】（初期値：IPアドレスの自動取得）

IPアドレスの取得方法を指定します。

IPアドレスの自動取得

プロバイダから自動的に割り当てられるIPアドレスを使用する場合に選択します。

プロバイダから特に指定がない限りは、「IPアドレスの自動取得」を選択します。

IPアドレスの手動設定

固定IPアドレスサービスを使用して、WAN側のIPアドレスが指定されている場合に選択します。その場合、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力する項目が表示されますので入力してください。

IPアドレス	
IPアドレスの自動取得	IPアドレスの手動設定
IPアドレス	

Unnumbered

プロバイダから割り当てられた複数のグローバルIPアドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定する場合に使います。その場合、プロバイダから指定されたIPアドレス/マスク長を入力する項目が表示されますので入力してください。

マスク長にはマスクのビット数を表したものを入力してください。

IPアドレス	
IPアドレスの自動取得	Unnumbered
IPアドレス/マスク長	/



お知らせ

- 固定IPアドレスを8個割り当てるサービスの場合は、マスク長に「29」を入力します。
- 固定IPアドレスを16個割り当てるサービスの場合は、マスク長に「28」を入力します。
- 複数固定IPサービスの詳細については、契約プロバイダにお問い合わせください。

■ DNSサーバアドレス

【サーバから割り当てられたアドレス】（初期値：使用する）

プロバイダから自動的に割り当てられるDNSサーバアドレスを使うように指定します。
通常は「使用する」にチェックしてください。

「使用する」のチェックを外した場合は、[プライマリDNS] と [セカンダリDNS] に、プロバイダから指定されたDNSサーバのプライマリDNSとセカンダリDNSを入力します。

【プライマリDNS】

プロバイダから指定されたDNSサーバのプライマリDNSを入力します。

【セカンダリDNS】

プロバイダから指定されたDNSサーバのセカンダリDNSを入力します。

■ 認証方式

【認証方式】（初期値：自動認証）

認証時の認証方式を設定します。

暗号化されていないパスワード (PAP)

PAP（パスワード認証プロトコル）を使用する場合に選択します。

チャレンジハンドシェイク認証プロトコル (CHAP)

CHAP（チャレンジハンドシェイク認証プロトコル）を使用する場合に選択します。

自動認証

サーバから要求された認証方式に合わせて接続します。

■ MTU設定

【MTUサイズ】（初期値：1454）

1回の転送で送信できるデータの最大値を設定します。

設定範囲：576～1492

■ MRU設定

【MRUサイズ】（初期値：1492）

1回の転送で受信できるデータの最大値を設定します。

設定範囲：576～1492

4 本商品の設定

複数の接続先を設定する (PPPoE設定)

■ 接続モード

【接続モード】(初期値：常時接続(セッション1) / 要求時接続(自動切断する)(セッション2～5))

要求時接続(自動切断する)

WAN側にインターネットアクセスしたときに、接続を開始します。また、無通信状態が一定時間続いた場合に、自動的に切断します。自動切断するまでの時間を入力する項目が表示されますので入力してください。

接続モード	
接続モード	要求時接続(自動切断する)
自動切断するまでの時間	30 分

要求時接続(自動切断しない)

WAN側にインターネットアクセスしたときに、接続を開始します。

常時接続

常に接続します。



お知らせ

- サーバをたてるために[常時接続]に設定する場合は、静的NAT設定(➡P4-30)を行ってください。

【自動切断するまでの時間】(初期値：30(分))

自動切断するまでの時間を分単位で入力します。

設定範囲：1～1440



お知らせ

- セッション2～5の「自動切断するまでの時間」を短く設定すると、パソコン側にDNSキャッシュが残った状態で切断され、次のインターネット接続ができなくなり、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

■ PPPキープアライブ

【PPPキープアライブ機能】(初期値：使用する)

LCP ECHOの応答の有無によりPPPの接続状態を監視します。

本商品から送信したPPPのLCP ECHOに対して、「LCP ECHO リトライ回数」で設定した回数だけ連続して応答がなければPPPを切断します。

切断後は接続モードの設定に従って動作します。

【LCP ECHO送信間隔】(初期値：1(分))

LCP ECHO REQUESTの送信間隔を指定します。

上記の「PPPキープアライブ機能」で「使用する」にチェックしたときに設定できます。

設定範囲：1～5

【LCP ECHOリトライ回数】(初期値：10(回))

LCP ECHO REQUESTに対する応答がない場合にREQUESTを再送信する回数を指定します。

上記の「PPPキープアライブ機能」で「使用する」にチェックしたときに設定できます。

設定範囲：1～255

■ 拡張設定

【PING応答設定】(初期値：使用しない)

WAN側からのPINGに応答するかしないかを指定します。

8 「設定保存」をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。
一度保存した設定を削除する場合は、[削除] をクリックしてください。
(保存された設定がない場合、[削除] ボタンは表示されません。)

お知らせ

- メインセッションの設定画面では[削除] ボタンは表示されません。メインセッションの設定を削除する場合は、[接続先ユーザ名] と [接続先パスワード] の欄を空白にして、[設定保存] をクリックしてください。

9 「接続ルール設定」で設定する接続先の「編集」をクリックする。

VR-23PRI

- MENU -

- ヘルプ
- トップページ
- 構成情報設定
- + かんたん設定
- + LAN設定
- 接続先設定
- 接続先設定(PPPvE)
- + ネットワーク設定
- 高度な設定
- 装置情報表示
- + 情報表示
- メンテナンス
- + メンテナンス
- + ファームウェア更新

接続ルール設定

トップページ>接続先設定>接続先設定(PPPvE)>接続先設定(接続ルール設定)

接続ルール設定を実行した場合、設定保存ボタンをクリックしたあと、本商品へのアクセスが4分(利用できない)になります。
また、通話中に設定保存ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

設定保存 戻る

接続ルール設定

接続先選択 セッション2

接続先ユーザ名 _____ or _____

接続先パスワード _____ or _____

接続先IPアドレス _____ or _____

通信元IPアドレス _____ or _____

プロトコル: 接続先ポート番号 [1] or [1]

[2] or [2]

[3] or [3]

[4] or [4]

[5] or [5]

設定保存 元に戻す

該当する番号の[編集]ボタンをクリックして設定してください。

接続先選択	接続先ユーザ名	接続先IPアドレス	通信元IPアドレス	プロトコル: 接続先ポート番号	編集
セッション2					編集
セッション3					編集
セッション4					編集
セッション5					編集

(次ページへ続きます)

4 本商品の設定

複数の接続先を設定する (PPPoE設定)

10 接続ルール設定を変更する。

セッション2～セッション5を使って通信を行うための条件を入力します。
同時に複数のセッションの接続ルールに合致する場合は、セッション2>セッション3>セッション4>セッション5
>メインセッションの順で優先されます。

■ 接続ルール設定

【接続先選択】

現在選択している接続先が表示されます。

【宛先ドメイン名】

宛先のドメイン名を最大63文字で指定します。
半角英数字、「*」（アスタリスク）、「.」（ドット）、「-」（ハイフン）を使用できます。また、「,」（カンマ）を区切り文字として使用できます。
例えば「www.xxx.co.jp」と指定すると、「www.xxx.co.jp」との通信時にこのセッションが使用されるようになります。

ドメイン名を","で区切ると、最大4つまで条件として設定できます。

例：*.co.jp, *.ne.jp, *.com, *.org

指定方法	入力例	意味
すべて入力	www.xxx.co.jp	www.xxx.co.jpのみ
.で終了	www.xxx.	www.xxx.で始まるものすべて
*.で開始	*.xxx.co.jp	xxx.co.jpのみ または .xxx.co.jpで終わるものすべて
*のみ	*	宛先ドメインすべて



お知らせ

- ドメイン名を条件に含めない場合は空白としてください。
- 接続ルールをドメイン名で指定した場合、そのセッションへのルーティングは、パソコンから発行されるDNSリクエストのドメイン名をみてルーティング情報を取得しています。そのため、本商品の設定変更などに伴って本商品を再起動した場合、本商品内に保存されているドメイン情報がクリアされるため、該当するセッションに対する接続ができないことがあります。このような場合には、パソコンの再起動が必要になります。

【宛先IPアドレス】

送信先のIPアドレスを指定します。

指定方法	入力例	意味
0.0.0.1～255.255.255.255のIPアドレス	1.2.3.4	1.2.3.4のみ
2つのIPアドレスを-で接続	1.2.3.4-5.6.7.8	1.2.3.4～5.6.7.8までのアドレス
*のみ	*	すべてのIPアドレス

【送信元IPアドレス】

送信元のIPアドレスを指定します。指定方法は【宛先IPアドレス】と同じです。



お知らせ

- IPアドレスを条件に含めない場合は空白としてください。

【プロトコル：宛先ポート番号】

プロトコル番号と送信先のポート番号を指定します。
 プロトコルをTCP/UDPとしたものについては送信先のポート番号を指定することができます。

プロトコル指定方法	入力例	意味
1～255の数値	10	10番のプロトコルのみ
*のみ	*	すべてのプロトコル
予約済みの名前	TCP	TCP (6番)

**お知らせ**

- 予約済みの名前としては、TCP、UDP、ICMPが用意されています。
- プロトコルを条件に含めない場合は空白としてください。

宛先ポート番号指定方法	入力例	意味
1～65535の数値	100	100番ポートのみ
2つの数値を-で接続	100-200	100～200番までのポート
*のみ	*	すべてのポート
予約済みの名前	www	www (80番) ポート

**ワンポイント**

● 宛先ポート番号の入力

ポート番号は名称で入力することもできます。ただし、名称で入力した場合は範囲指定することができません。

21: ftp	20: ftpdata	23: telnet	25: smtp
53: domain	80: www	110: pop3	111: sunrpc
119: nntp	123: ntp	513: login	520: route
1723: pptp			

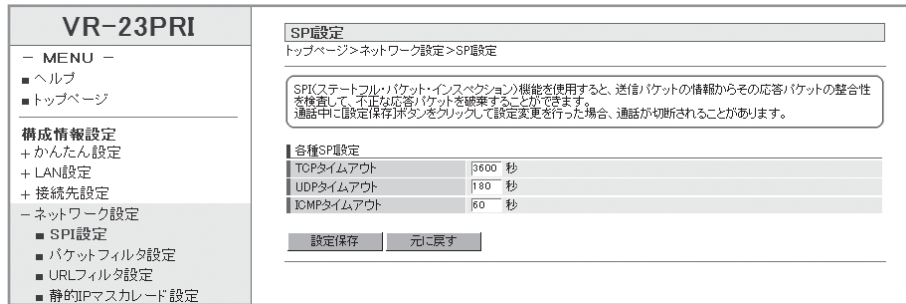
11 【設定保存】 をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。
 一度保存した設定を削除する場合は、[削除] をクリックしてください。
 (保存された設定がない場合、[削除] ボタンは表示されません。)

4 本商品の設定

セキュリティを強化する (SPI設定)

SPI (ステートフル・パケット・インスペクション) 機能は常にオンになっています。タイマ値を短くすることで、セキュリティが向上する場合がありますが、TCPタイムアウト、UDPタイムアウトの設定が短い場合、接続できなくなることがあります。通常は設定変更しないでください。



1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順 1 ~ 3 を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ネットワーク設定] をクリックする。

3 [SPI設定] をクリックする。

4 各項目を設定する。

■ 各種SPI設定

[TCPタイムアウト] (初期値 : 3600 (秒))

TCPセッション確立後、無通信時のセッションの有効時間 (秒) を入力します。

設定範囲 : 1 ~ 7200

[UDPタイムアウト] (初期値 : 180 (秒))

無通信時のUDPステート管理の有効時間 (秒) を入力します。

設定範囲 : 1 ~ 7200

[ICMPタイムアウト] (初期値 : 60 (秒))

無通信時のICMPステートの管理時間 (秒) を入力します。

設定範囲 : 1 ~ 7200

5 [設定保存] をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。

4 本商品の設定

セキュリティを強化する (パケットフィルタ設定)

パケットフィルタにより、本商品を通過するパケットを制限することができます。IPアドレス、プロトコル、ポート番号などの条件により、中継するIPパケットを通過あるいは破棄するように指定することができます。条件を適切に設定することで、特定のサービスやホスト間の通信を禁止するための簡易ファイアウォールを構築することができます。複数の条件を設定した場合、優先順位の高いものから順に解釈され、判定が行われます。「拒否」の条件に合致したパケットは破棄され、「許可」の条件に合致したパケットのみが通過を許可されます。SPI機能を利用する場合、通過が許可されたパケットに対応する応答パケットは破棄条件を無視し、通過が許可されます。

番号	ルールNo. (0:無効)	通信方向	送信元		接続インタフェース名	TCPフラグ		宛先IPアドレス	宛先ポート	セキュリティログ保存の可否	フィルタ種別	ICMPタイプ	ICMPコード	編集
			送信元IPアドレス	送信元ポート		宛先IPアドレス	宛先ポート							
1														編集
2														編集
3														編集
4														編集
5														編集
6														編集

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ネットワーク設定] をクリックする。

3 [パケットフィルタ設定] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

(次ページへ続きます)

4 本商品の設定

セキュリティを強化する (パケットフィルタ設定)

4 「パケットフィルタ設定一覧」で設定する番号の【編集】をクリックする。

パケットフィルタ設定	
エントリ番号	1
ルールNo. (0:無効)	0
通信方向	WAN→LAN
接続インタフェース名	全て
TCPフラグ	指定しない
送信元アドレス(開始IP - 終了IP)	any ~ any
宛先IPアドレス(開始IP - 終了IP)	any ~ any
プロトコル	any
送信ポート(開始ポート - 終了ポート)	any
宛先ポート(開始ポート - 終了ポート)	any
セキュリティログ保存の可否	<input type="checkbox"/>
フィルタ種別	拒否
ICMPタイプ	any
ICMPコード	any

パケットフィルタ設定一覧					
番号	ルールNo. (0:無効)	通信方向	接続インタフェース名	TCPフラグ	
		送信元アドレス プロトコル	送信元ポート	宛先IPアドレス	宛先ポート
1		セキュリティログ保存の可否	フィルタ種別	ICMPタイプ	ICMPコード

5 各項目を設定する。

■ パケットフィルタ設定 (登録数1~128)

【エントリ番号】

設定中のエントリ番号が表示されます。

【ルールNo.】

0～999の数値で入力します。「0」を入力すると、その設定が無効になります。
値が小さいほど優先順位が高くなります。
同一のルールNo.を複数入力することはできません。「0」は除く

設定範囲：0～999

【通信方向】

処理したいパケットの方向を選択します。WAN→LAN、LAN→WAN、両方向を選択します。

【接続インタフェース名】

接続先を選択します。

メインセッション、セッション2～5、全て（メインセッションおよびセッション2～5）から選択します。

【TCPフラグ】

TCPフラグの種類を選択します。

指定しない

TCPフラグを指定しません。

SYN

コネクション確立要求時のフラグを指定します。

ESTABLISHED

コネクション確立後のフラグを指定します。

「プロトコル」で「TCP」以外を指定した場合は、TCPフラグの設定は無視されます。

【送信元IPアドレス（開始IP-終了IP）】

フィルタするパケットの送信元IPアドレスの範囲を入力します。
すべての送信元IPアドレスをフィルタリング対象にする場合は、「any」を入力します。

設定範囲：any/IPv4アドレス

【宛先IPアドレス（開始IP-終了IP）】

フィルタするパケットの送信先IPアドレスの範囲を入力します。
すべての宛先IPアドレスをフィルタリング対象にする場合は、「any」を入力します。

設定範囲：any/IPv4アドレス

【プロトコル】

フィルタするパケットのプロトコル番号を入力します。
全プロトコルを対象とする場合は、「any」を入力します。
予約済みの名前としては、「any」「TCP」「UDP」「TCP UDP」「ICMP」が用意されています。

設定範囲：any/TCP/UDP/TCP UDP/ICMP/1-255

【送信元ポート（開始ポート-終了ポート）】 / 【宛先ポート（開始ポート-終了ポート）】

フィルタするパケットの送信元ポート番号および宛先ポート番号を1～65535の数値で入力します。
全ポート番号を対象とする場合は、「any」を入力します。
予約済みの名前としては、「any」「ftp」「ftpdata」「telnet」「smtp」「domain」「www」「pop3」「sunrpc」「nntp」「ntp」「login」「route」「pptp」が用意されています。
ポート番号を範囲指定する場合は、最小値と最大値を「-」（半角ハイフン）でつないで入力します。

設定範囲：any/ftp/ftpdata/telnet/smtp/domain/www/pop3/sunrpc/nntp/ntp/login/route/pptp/1-65535

**ワンポイント****● 送信元ポートと宛先ポートの番号入力**

ポート番号は名称で入力することもできます。ただし、名称で入力した場合は範囲指定することができません。

21: ftp	20: ftpdata	23: telnet	25: smtp
53: domain	80: www	110: pop3	111: sunrpc
119: nntp	123: ntp	513: login	520: route
1723: pptp			

なお、プロトコルとポート番号の設定の組み合わせによるフィルタリング対象は以下のとおりです。

プロトコル	ポート番号	フィルタリング対象
TCP/UDP	any	指定プロトコルのすべてのポート番号のパケット
TCP/UDP	any以外	指定プロトコルの指定ポート番号のパケット
TCP/UDP以外	(設定を無視)	指定プロトコルのパケット
any	(設定を無視)	すべてのプロトコルのパケット

4 本商品の設定

セキュリティを強化する (パケットフィルタ設定)

【セキュリティログ保存の可否】

設定したフィルタ内容に一致する破棄パケットがあった場合、セキュリティログに保存するかどうかを選択します。

【フィルタ種別】

フィルタリング条件に適合したパケットの取り扱いを選択します。
「許可」が指定された場合は、IPパケットは中継されます。
「拒否」が指定された場合は、パケットは中継されることなく破棄されます。

【ICMPタイプ】

パケットのICMPタイプに関するフィルタリング条件です。プロトコルがICMPのときに有効となります。なお、すべてのICMPパケットをフィルタリング対象にする場合は、「any」を指定してください。

設定範囲：any/0~255

【ICMPコード】

パケットのICMPコードに関するフィルタリング条件です。プロトコルがICMPのときに有効となります。なお、すべてのICMPパケットをフィルタリング対象にする場合は、「any」を指定してください。

設定範囲：any/0~255

6 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は、【元に戻す】をクリックしてください。
一度保存した設定を削除する場合は、【削除】をクリックしてください。
(保存された設定がない場合、【削除】ボタンは表示されません。)

4 本商品の設定

セキュリティを強化する (URLフィルタ設定)

URLフィルタの設定を行います。
URL設定部分にドメイン名を設定することで、特定のドメインサイトへの接続許可／拒否を制御します。
ドメイン名は、後方一致方式で比較します。

VR-23PRI

- MENU -
- ヘルプ
- トップページ

構成情報設定

- + かんたん設定
- + LAN設定
- + 接続先設定

- ネットワーク設定

- SPI設定
- パケットフィルタ設定
- URLフィルタ設定
- 静的IPマスカレード設定
- 静的NAT設定
- LAN側静的ルーティング設定
- DNS設定
- 高度な設定

装置情報表示

- + 情報表示

メンテナンス

- + メンテナンス
- + ファームウェア更新

URLフィルタ設定

トップページ>ネットワーク設定>URLフィルタ設定

該当する番号の[編集]ボタンをクリックしてください。

URLフィルタ許可設定

URLフィルタ

URLフィルタ設定一覧

番号	比較条件	比較文字	
1			<input type="button" value="編集"/>
2			<input type="button" value="編集"/>
3			<input type="button" value="編集"/>
4			<input type="button" value="編集"/>
5			<input type="button" value="編集"/>
6			<input type="button" value="編集"/>
7			<input type="button" value="編集"/>
8			<input type="button" value="編集"/>
9			<input type="button" value="編集"/>
10			<input type="button" value="編集"/>
11			<input type="button" value="編集"/>
12			<input type="button" value="編集"/>

- 1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（●P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。
- 2 [ネットワーク設定] をクリックする。
- 3 [URLフィルタ設定] をクリックする。
- 4 URLフィルタ許可設定を変更する。
 - URLフィルタ許可設定
 - [URLフィルタ]（初期値：使用しない）
URLフィルタのフィルタ方式を設定します。
 - 使用しない**
URLフィルタを使用しません。
 - 許可リスト設定**
設定したURLのみ許可します。
 - 拒否リスト設定**
設定したURLを拒否します。
- 5 [設定保存] をクリックする。
取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

(次ページへ続きます)

6 「URLフィルタ設定一覧」で設定する番号の【編集】をクリックする。

VR-23PRI

URLフィルタ設定

エントリ番号: 1

比較条件: ドメイン

比較文字(後方一致):

番号	比較条件	比較文字	編集
1			編集
2			編集
3			編集

7 各項目を設定する。

■ URLフィルタ設定 (登録数1 ~ 20)

【エントリ番号】

設定中のエントリ番号が表示されます。

【比較条件】(初期値: ドメイン)

比較条件を設定します。

ドメイン

ドット区切りを明確に判定します。

キーワード

ドット区切りを明確に見ずに判定します。

【比較文字 (後方一致)】

比較条件に使用する文字列を最大255文字で設定します。
半角英数字と「.」(ドット)、「-」(ハイフン)を使用できます。

8 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は、【元に戻す】をクリックしてください。
一度保存した設定を削除する場合は、【削除】をクリックしてください。
(保存された設定がない場合、【削除】ボタンは表示されません。)

4 本商品の設定

他のルータを接続する (LAN側静的ルーティング設定)

LAN内に他のルータが存在し、そのルータに接続されたパソコンから本商品を経由したインターネット通信を行う場合などに、あらかじめルーティングテーブルにルーティング情報の設定を行います。

エントリ番号	宛先IPアドレス/マスク長	ゲートウェイ	
1			編集
2			編集
3			編集
4			編集
5			編集
6			編集
7			編集
8			編集
9			編集
10			編集
11			編集
12			編集

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ネットワーク設定] をクリックする。

3 [LAN側静的ルーティング設定] をクリックする。

4 「LAN側静的ルーティング設定一覧」で設定するエントリ番号の[編集] をクリックする。

エントリ番号	宛先IPアドレス/マスク長	ゲートウェイ	
1			編集
2			編集
3			編集
4			編集
5			編集
6			編集
7			編集
8			編集
9			編集
10			編集

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

(次ページへ続きます)

4 本商品の設定

他のルータを接続する (LAN側静的ルーティング設定)

5 各項目を設定する。

■ LAN側静的ルーティング設定 (登録数1~150)

【エントリ番号】

設定中のエントリ番号が表示されます。

【宛先IPアドレス/マスク長】

宛先IPアドレスとマスク長を入力します。

マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば、255.255.255.0 のマスク長は「24」となります。

【ゲートウェイ】

宛先へのゲートウェイアドレスを入力します。

6 【設定保存】 をクリックする。

取り消す場合は、【元に戻す】 をクリックしてください。

一度保存した設定を削除する場合は、【削除】 をクリックしてください。

(保存された設定がない場合、【削除】 ボタンは表示されません。)

4 本商品の設定

その他の設定 (静的IPマスカレード設定)

静的IPマスカレード設定は、パケット中継時にポート番号の変換を行う場合に設定します。

本商品のLAN側に接続された端末上のアプリケーションにWAN側からアクセスする際、WAN側からアクセスするポート番号と端末上のアプリケーションが使用するポート番号が異なる場合に本設定を行います。

複数の設定がある場合、優先度の高いものから順に解釈されます。

本設定は静的NATの設定よりも優先して処理されますので、ご注意ください。

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4)の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ネットワーク設定] をクリックする。

3 [静的IPマスカレード設定] をクリックする。

4 「静的IPマスカレード設定一覧」で設定する番号の [編集] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを
利用する

3 インターネットに
接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かなら
と思ったら?

7 付録

(次ページへ続きます)

5 各項目を設定する。

■ 静的IPマスカレード設定(登録数1～50)

【エントリ番号】

設定中のエントリ番号が表示されます。

【優先順位】

この条件の優先順位を整数で入力します。

各条件はこの値の小さい順に評価され、最初に合致した条件だけがNATの動作に反映されます。

「0」を入力した場合は、設定は無効になります。

設定範囲：0～99



お知らせ

- 「0」以外の数値を入力する場合、複数の条件に同じ優先順位を指定することはできません。

【接続インタフェース名】(初期値：メインセッション)

接続先を選択します。

メインセッション、セッション2～5から選択します（PPPoEの設定（▶P4-10）の接続先です）。

【宛先IPアドレス】

LAN側端末のIPアドレスを指定します。

WAN側に公開したいアプリケーションが実行されている端末を指定します。

【変換対象IPアドレス】(初期値：自分のWAN側IPアドレス)

変換対象とするIPアドレスを指定します。

自分のWAN側IPアドレス

自分のWAN側IPアドレスを変換対象とします。

IPアドレス指定

WAN側で変換対象とするIPアドレスを入力します。

WAN側からはこのIPアドレスを指定してLAN側の端末にアクセスすることができます。

【変換対象プロトコル】(初期値：TCP)

WAN側に公開したいアプリケーションが使用するプロトコルです。

「TCP」「UDP」「TCPとUDP両方」のいずれかを選択します。

【宛先ポート】

WAN側に公開したいアプリケーションがLAN側端末上で使用するTCP/UDPポート番号を入力します。ポート番号を指定する場合は、1以上65535以下の数値を1つ入力します。なお、予約済みの名前を入力することもできます。

設定範囲：1～65535

【変換対象ポート】

WAN側に公開したいアプリケーションが使用するTCP/UDPのポート番号を入力します。WAN側からはこのポート番号を指定して、LAN側端末上で実行中のアプリケーションにアクセスすることができます。ポート番号を指定する場合は、1以上65535以下の数値を1つ入力します。なお、予約済みの名前を入力することもできます。

設定範囲：1～65535

**ワンポイント**

● 宛先ポート／変換対象ポートの番号入力

ポート番号は名称で入力することもできます。

21: ftp	20: ftpdata	23: telnet	25: smtp
53: domain	80: www	110: pop3	111: sunrpc
119: nntp	123: ntp	513: login	520: route
1723: pptp			

6 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。
一度保存した設定を削除する場合は、[削除] をクリックしてください。
(保存された設定がない場合、[削除] ボタンは表示されません。)

4 本商品の設定

その他の設定 (静的NAT設定)

静的NAT設定では、パケット中継時にポート番号の変換を行わない場合に設定します。
ここで登録したポート番号を持つパケットについては、IPアドレスの変換のみが行われます。

The screenshot shows the configuration page for Static NAT on a VR-23PRI device. On the left is a navigation menu with options like 'MENU', 'ヘルプ', 'トップページ', '構成情報設定', 'かんたん設定', 'LAN設定', '接続先設定', 'ネットワーク設定', 'SPI設定', 'パケットフィルタ設定', 'URLフィルタ設定', '静的IPマスカレード設定', '静的NAT設定', 'LAN側静的ルーティング設定', 'DNS設定', '高度な設定', '装置情報表示', 'メンテナンス', and 'ファームウェア更新'. The main content area is titled '静的NAT設定' and includes a breadcrumb 'トップページ>ネットワーク設定>静的NAT設定'. A warning box states: 'NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。通話中に[設定保存]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。' Below this is the 'ワンタッチ設定' section with checkboxes for 'Webサーバを外部に公開する' and 'FTPサーバを外部に公開する', each with an '公開する' checkbox and an IP address input field. There are also checkboxes for '中継する' and a note '[セキュリティに注意]'. At the bottom, there is a 'NAT設定一覧' table with columns for '番号', '優先順位', '接続インタフェース名', '宛先IPアドレス', '変換対象IPアドレス', '変換対象プロトコル', and '変換対象ポート'. The table contains 5 rows, each with a '編集' button.

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ネットワーク設定] をクリックする。

3 [静的NAT設定] をクリックする。

4 ワンタッチ設定を変更する。

■ ワンタッチ設定

[Webサーバを外部に公開する]

LAN側に設置したWebサーバに外部からアクセスできるようにする場合は、「公開する」にチェックしてください。

[WebサーバのIPアドレス]

Webサーバとして動作させる端末のIPアドレスを入力します。

[FTPサーバを外部に公開する]

LAN側に設置したFTPサーバに外部からアクセスできるようにする場合は、「公開する」にチェックしてください。

[FTPサーバのIPアドレス]

FTPサーバとして動作させる端末のIPアドレスを入力します。

【外部からのパケットを全て特定ホストに中継する（簡易DMZ）】

LAN側に設置した1台のIP端末に外部からのすべてのパケットを中継する場合は、「中継する」にチェックしてください。

【特定ホストのIPアドレス】

LAN側のIP端末のIPアドレスを入力します。



お知らせ

- 本商品のNATに関連したメニュー間で設定した内容が競合した場合は、[静的IPマスカレード設定] > [静的NAT設定] > [ワンタッチ設定]の順に優先して処理されます。
- 簡易DMZを設定した場合、外部からのパケットをすべて中継するため、NAT機能によるセキュリティの効果がなくなります。外部からの不正アクセスには十分ご注意ください。

5 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は【元に戻す】をクリックしてください。

6 「NAT設定一覧」で設定する番号の【編集】をクリックする。

7 各項目を設定する。

■ 静的NAT設定（登録数1～64）

【エントリ番号】

設定中のエントリ番号が表示されます。

【優先順位】

この条件の優先順位を整数で入力します。

各条件はこの値の小さい順に評価され、最初に合致した条件だけがNATの動作に反映されます。

「0」を入力した場合は、設定は無効になります。

設定範囲：0～99



お知らせ

- 「0」以外の数値を入力する場合、複数の条件に同じ優先順位を指定することはできません。

(次ページへ続きます)

4 本商品の設定

その他の設定 (静的NAT設定)

【接続インタフェース名】(初期値：メインセッション)

接続先を選択します。
メインセッション、セッション2～5から選択します。

【宛先IPアドレス】

LAN側端末のIPアドレスを指定します。
WAN側に公開したいアプリケーションが実行されている端末を指定します。

【変換対象IPアドレス】(初期値：自分のWAN側IPアドレス)

WAN側で変換対象とするIPアドレスを入力します。

自分のWAN側IPアドレス

自分のWAN側IPアドレスを変換対象とします。

IPアドレス指定

WAN側で変換対象とするIPアドレスを入力します。
WAN側からはこのIPアドレスを指定してLAN側の端末にアクセスすることができます。

【変換対象プロトコル】(初期値：TCP)

WAN側に公開したいアプリケーションが使用するプロトコルです。
【TCP】【UDP】【TCPとUDP両方】【ICMP】【全プロトコル(共有)】のいずれかを選択します。



お知らせ

- 「全プロトコル(共有)」を選択した場合は、外部からのアクセスは設定されたアドレスの端末のみ可能ですが、設定したアドレス以外の端末からもインターネットへのアクセスを行うことができます。

【変換対象ポート(開始ポート-終了ポート)】

WAN側に公開したいアプリケーションが使用するTCP/UDPのポート番号を入力します。
WAN側からはこのポート番号を指定して、LAN側端末上で実行中のアプリケーションにアクセスすることができます。
ポート番号を範囲指定する場合は、最小値と最大値を「-」(半角ハイフン)でつないで入力します。
ポート番号を1つだけ指定する場合は、予約済みの名前を入力することもできます。

設定範囲：1～65535



ワンポイント

●変換対象ポートの番号入力

ポート番号は名称で入力することもできます。ただし、名称で入力した場合は範囲指定することができません。

21: ftp	20: ftpdata	23: telnet	25: smtp
53: domain	80: www	110: pop3	111: sunrpc
119: nntp	123: ntp	513: login	520: route
1723: pptp			



お知らせ

- プロトコルに次のいずれかを選択した場合のみ、ポート番号の入力を行ってください。
【TCP】、【UDP】、【TCPとUDP両方】

8 【設定保存】をクリックする。

取り消す場合は、【元に戻す】をクリックしてください。
一度保存した設定を削除する場合は、【削除】をクリックしてください。
(保存された設定がない場合、【削除】ボタンは表示されません。)

4 本商品の設定

その他の設定 (DNS設定)

DNSの設定をします。

VR-23PRI	DNS設定
- MENU -	トップページ>ネットワーク設定>DNS設定
■ ヘルプ	
■ トップページ	
構成情報設定	
+ かんたん設定	
+ LAN設定	
+ 接続先設定	
- ネットワーク設定	
■ SPI設定	
■ パケットフィルタ設定	
■ URLフィルタ設定	
■ 静的IPマスカレード設定	
■ 静的NAT設定	
■ LAN側静的ルーティング設定	
■ DNS設定	

通話中に設定保存ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

DNS共通設定	
DNS Proxyタイムアウト	10 秒
AAAA送信抑制エラー応答機能	<input type="checkbox"/> 使用する

設定保存 元に戻す

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ネットワーク設定] をクリックする。

3 [DNS設定] をクリックする。

4 DNS共通設定を変更する。

■ DNS共通設定

[DNS Proxyタイムアウト]（初期値：10（秒））

DNS Proxy タイムアウト（秒）を入力します。

設定範囲：1～10

[AAAA送信抑制エラー応答機能]（初期値：使用しない）

AAAA送信抑制エラー応答機能を使用する場合は、「使用する」にチェックしてください。



お知らせ

- AAAA送信抑制エラー応答機能とは、IPv6でアクセスできない端末のAAAAクエリにエラーを返し、無駄な問い合わせ時間を省く機能です。

5 [設定保存] をクリックする。

取り消す場合は [元に戻す] をクリックしてください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

4 本商品の設定

その他の設定 (高度な設定)

UPnP、PPPoEブリッジ、ステルス機能、RIPのオン/オフ設定を行います。

VR-23PRI	
<p>— MENU —</p> <ul style="list-style-type: none">■ ヘルプ■ トップページ <p>構成情報設定</p> <ul style="list-style-type: none">+ かんたん設定+ LAN設定+ 接続先設定+ ネットワーク設定■ 高度な設定 <p>装置情報表示</p> <ul style="list-style-type: none">+ 情報表示 <p>メンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none">+ メンテナンス+ ファームウェア更新	<p>高度な設定</p> <p>トップページ>高度な設定</p> <p>通話中に[設定保存]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。</p> <p>UPnP設定</p> <p>UPnP設定 <input checked="" type="checkbox"/> 使用する</p> <p>PPPoEブリッジ</p> <p>PPPoEブリッジ <input checked="" type="checkbox"/> 使用する</p> <p>ステルス機能</p> <p>ステルス機能 <input checked="" type="checkbox"/> 使用する</p> <p>RIP設定</p> <p>RIP機能 <input type="checkbox"/> 使用する</p> <p>RIPバージョン v2</p> <p>設定保存 元に戻す</p>

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(●P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [高度な設定] をクリックする。

3 各項目を設定する。

■ UPnP設定

【UPnP設定】(初期値：使用する)

UPnPを使用する場合は、「使用する」にチェックしてください。

本商品のUPnPが有効になります。

「Windows® Live Messenger」などUPnPが必須のサービスやアプリケーションを利用できます。また、UPnPで「Windows® Live Messenger」などを使用する場合は、パソコンの設定も必要です。

【情報表示】 - 【UPnP状態】(●P5-7) を選択すると、現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスが表示されます。



ワンポイント

● PPPoEマルチセッションで本商品のUPnP機能をご利用になる場合のご注意

「UPnP 設定」を「使用する」に設定した場合は、「接続先設定」-「接続先設定 (PPPoE)」の「UPnP 優先」(●P4-11) で接続先を選択し、設定してください。

「Windows® Live Messenger」など、接続先が固定された UPnP 機能をご利用になる場合は、「UPnP 優先」で選択した接続先に接続されます。

※本商品の工場出荷状態は、[メインセッション] が UPnP 機能の優先接続先になっています。

■ PPPoEブリッジ

[PPPoEブリッジ] (初期値：使用する)

PPPoEブリッジを使用する場合は、「使用する」にチェックしてください。

「使用する」にチェックすると、PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機などを接続できます。

■ ステルス機能

[ステルス機能] (初期値：使用する)

本商品に対するポートスキャンなどが実施され、本商品の存在が特定されたり攻撃を受ける可能性があるため、未使用ポートへのアクセスに対するレスポンス (TCP RSTやICMP port unreachable) を返さない機能です。

■ RIP設定

[RIP機能] (初期値：使用しない)

LANネットワーク内で、ルータなどの制御機器と経路情報を交換して、IPv4パケットを経由する制御機器の台数に従って最短経路でルーティングするための機能です。

[RIPバージョン] (初期値：v2)

RIPの対応バージョンを設定します。

v1

RIPv1を使用する場合に選択してください。

v2

RIPv2を使用する場合に選択してください。

4 [設定保存] をクリックする。

取り消す場合は、[元に戻す] をクリックしてください。

1
お使いになる前に

2
利用する
IP電話サービス

3
接続する
インターネット

4
本商品の設定

5
管理する

6
と故障かなら
思ったら?

7
付録

5

管理する

管理方法について	5-2
パスワードを変更する	5-3
PINGテストを行う	5-4
情報表示を行う	5-5
再起動する	5-17
ファームウェアをバージョンアップする	
ローカルでファームウェアを更新する	5-18
リモートマネジメントを利用する	
リモートマネジメントを利用するには	5-19
Webブラウザから接続する	5-20
電話機から接続する	5-22

5 管理する

管理方法について

本商品の管理操作は工事担当者が実施しますので、お客様による管理操作は不要です。設定データのインポートやエクスポート、通話ログの参照などが必要な場合はご契約サービスのサポート窓口にご相談ください。
なお、一部の管理操作はお客様で実施いただけます。

お客様で管理操作可能な項目

■ パスワードの変更

■ PINGテスト

■ 情報表示

- ・ システム状態表示
- ・ UPnP状態表示
- ・ DHCPv4サーバ払い出し状況表示
- ・ PPPoE状態表示
- ・ 装置ログ表示
- ・ セキュリティログ表示
- ・ UPnPログ表示
- ・ ファームウェア更新のログ

■ 再起動

■ ファームウェアバージョンアップ

- ・ ローカルファームウェア更新

■ リモートマネジメント

- ・ Webブラウザから接続する
- ・ 電話機から接続する

5 管理する

パスワードを変更する

設定画面にログインするためのパスワードを設定します。

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [メンテナンス] をクリックする。

3 [ユーザーパスワード変更] をクリックする。

4 パスワードを入力する。

入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

5 もう一度同じパスワードを入力する。

入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

6 [設定保存] をクリックする。

STOP お願い

- 設定したパスワードを忘れてしまうと、本商品へのログインができなくなります。パスワードは忘れないようにご注意ください。万が一パスワードを忘れてしまった場合には、ご契約サービスのサポート窓口にお問い合わせください。

お知らせ

- パスワードは、半角英数字と「-」（ハイフン）、「/」（スラッシュ）、「_」（アンダーバー）で最大16文字まで入力できます。
- パスワードを変更したあと、続けて設定・保守を行うと認証画面が表示されます。認証画面にて変更した新しいパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

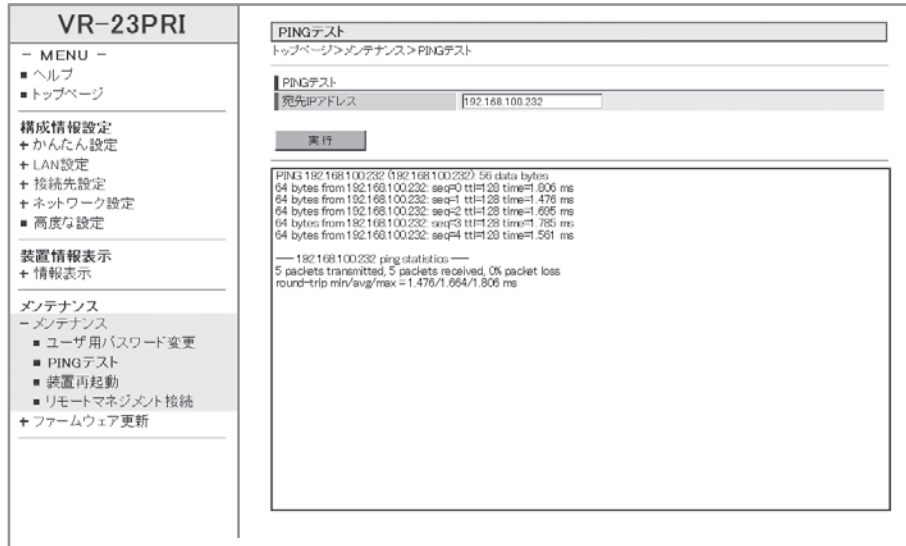
6 故障かな？と思ったら

7 付録

5 管理する

PINGテストを行う

本商品のLAN側およびWAN側に対してPINGテストを行えます。



1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [メンテナンス] をクリックする。

3 [PINGテスト] をクリックする。

4 PINGテストの設定項目を入力する。

■ PINGテスト

[宛先IPアドレス]

PINGテストの対象となるホストのIPアドレスを入力します。
IPv4のみ指定可能です。

5 [実行] をクリックする。

数秒後に画面が切り替わり、PINGテスト結果が表示されます。

テスト結果に「0% packet loss」という表示があれば、問題ありません。

この表示がない場合、PINGテストに失敗しています。入力したIPアドレスが正しいか、接続状態、ネットワーク構成などを確認してください。

本商品の現在の状態や各種ログを確認できます。以下のような情報を表示することができます。

- システム状態 (P5-5)
- UPnP状態 (P5-7)
- DHCPv4サーバ払い出し状況 (P5-8)
- PPPoE状態 (P5-9)
- 装置ログ (P5-10)
- セキュリティログ (P5-11)
- UPnPログ (P5-13)
- ファームウェア更新ログ (P5-15)

システム状態

本商品のサービス状態、SIPサーバ情報、ネットワーク状態、LED状態、DHCPv4クライアント取得情報、VoIP PPPoE取得情報が表示されます。

VR-23PRI

- MENU -

- ヘルプ
- トップページ

構成情報設定

- + かんたん設定
- + LAN設定
- + 接続先設定
- + ネットワーク設定
- 高度な設定

装置情報表示

- 情報表示 -

- システム状態
- UPnP状態
- DHCPv4サーバ払い出し状況
- PPPoE状態
- 装置ログ
- セキュリティログ
- UPnPログ
- ファームウェア更新ログ

メンテナンス

- + メンテナンス
- + ファームウェア更新

システム状態

トップページ>情報表示>システム状態

サービス状態

ファームウェアバージョン	016.000
装置時刻	2016/07/26 15:11:00 (UTC+9)
装置稼働時間	1 日 0 時
シリアル番号	00000000
自装置WAN IPアドレス	-

SIPサーバ情報

登録済みSIPサーバ -

SIPサーバリスト	IPアドレス	状態
プライマリSIPサーバ	-	-
セカンダリSIPサーバ	-	-

ネットワーク状態

インタフェース	MACアドレス	リンク状態	通信速度(bit/s)	MDI/MDIX
WAN	00:07:59:04:00:00	リンクダウン	-	-
LAN1	00:07:59:04:00:00	リンクアップ	1G/全二重	MDI
LAN2	00:07:59:04:00:00	リンクダウン	-	-
LAN3	00:07:59:04:00:00	リンクダウン	-	-
LAN4	00:07:59:04:00:00	リンクダウン	-	-

LED状態

ALARM	PPP	VoIP	CONNFG	INIT	PRI	* OLK
BRILY1	BRILY2	PRIY1	PRIY2	PRILOS	PRI1A1	PRI1A5

DHCPv4クライアント取得情報

未使用

VoIP PPPoE取得情報

未使用

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [情報表示] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

3 [システム状態] をクリックする。

下記の項目が表示されます。

■ サービス状態

[ファームウェアバージョン]

本商品で現在運用されているファームウェアバージョンが表示されます。

[装置時刻]

装置時刻が表示されます。(自動的に更新はされません)

[装置稼働時間]

装置の稼働時間が表示されます。

[シリアル番号]

装置のシリアル番号が表示されます。

[自装置WAN IPアドレス]

自装置のWAN IPアドレスが表示されます。

■ SIPサーバ情報

[登録済みSIPサーバ]

REGISTER登録が成功したSIPサーバアドレスが表示されます。

[IPアドレス(プライマリSIPサーバ/セカンダリSIPサーバ)]

SIPサーバのIPアドレスが表示されます。
(“○”は、現在使用中のSIPサーバ側に表示されます。)

[状態]

現在の状態が表示されます。
(登録済み/登録処理中/障害中)

■ ネットワーク状態

[インタフェース WAN/LAN 1-4]

MACアドレス

項目ポートのMACアドレスが表示されます。

リンク状態

項目ポートのリンク状態(リンクアップ/リンクダウン)が表示されます。

通信速度 (bit/s)

項目ポートの通信速度(例: 100M/全二重)が表示されます。

MDI/MDIX

項目ポートの接続形態(MDI: ストレート/MDIX: クロス)が表示されます。

■ LED状態

各LEDランプの状態が表示されます。

● : 点灯

○ : 消灯

* : 点滅

■ DHCPv4クライアント取得情報

[IPv4アドレス (/マスク長)]

DHCPv4クライアントのIPアドレスとマスク長が表示されます。

[リース時間]

DHCPv4クライアントのリース満了日時が表示されます。

■ VoIP PPPoE取得情報

[WAN側IPアドレス]

WAN側のIPアドレスが表示されます。

[接続先IPアドレス]

接続先IPアドレスが表示されます。

[プライマリDNSサーバアドレス]

プライマリDNSサーバアドレスが表示されます。

[セカンダリDNSサーバアドレス]

セカンダリDNSサーバアドレスが表示されます。

UPnP状態

登録されたUPnP情報が表示されます。

VR-23PRI						
- MENU -						
■ ヘルプ						
■ トップページ						
構成情報設定						
+ かんたん設定						
+ LAN設定						
+ 接続先設定						
+ ネットワーク設定						
■ 高度な設定						
装置情報表示						
- 情報表示						
■ システム状態						
■ UPnP状態						
■ DHCPv4サーバ払い出し状況						
■ PPPoE状態						
■ 装置ログ						
■ セキュリティログ						
■ UPnPログ						
■ ファームウェア更新ログ						

UPnP状態						
トップページ>情報表示>UPnP状態						
No.	登録日時	要求元IPアドレス	サービスホスト	プロトコル	ローカルホスト	説明
1	2009/11/05 00:00	200.0.0.2	192.168.100.1	TCP	192.168.100.232	

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [情報表示] をクリックする。

3 [UPnP状態] をクリックする。

下記の項目が表示されます。

【登録日時】

本商品がリクエストを受け取った日時が表示されます。

【要求元IPアドレス】

リクエストを送信したIPアドレスが表示されます。

【サービスホスト】

接続先が表示されます。

【プロトコル】

UPnP用のアドレス変換（ポート指定）設定情報のプロトコルが表示されます。

【ローカルホスト】

ローカルホストが表示されます。

【説明】

"Windows® Live Messenger" などUPnP対応アプリケーションによって設定された説明が表示されます。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを
利用する

3 インターネットに
接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かなら
思ったら？

7 付録

DHCPv4サーバ払い出し状況

DHCPv4サーバ払い出し状況が表示されます。

The screenshot shows a web interface for a device labeled 'VR-23PRI'. The left sidebar contains a menu with options like 'ヘルプ', 'トップページ', '構成情報設定', and '装置情報表示'. The main content area is titled 'DHCPv4サーバ払い出し状況' and includes a breadcrumb trail: 'トップページ > 情報表示 > DHCPv4サーバ払い出し状況'. It displays the current time, distribution information (DNS server address), and lease status (1 current lease). A table below lists lease details:

IPv4アドレス(マスク長)	MACアドレス	リース時間
192.168.100.232/24	0004:4E:0001:0001	2025/11/04 14:58:11

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 【情報表示】 をクリックする。

3 【DHCPv4サーバ払い出し状況】 をクリックする。

下記の項目が表示されます。

【現在の時刻】

現在の時刻が表示されます。

■ 配布情報

配布情報が表示されます。

【DNSサーバアドレス】

DNSサーバアドレスが表示されます。

■ 払い出し状況

【現在の払い出し件数】

DHCPv4サーバの払い出し件数が表示されます。

【IPv4アドレス（/マスク長）】

IPv4アドレスとマスク長が表示されます。

【MACアドレス】

MACアドレスが表示されます。

【リース時間】

リース満了日時が表示されます。

PPPoE状態

PPPoEの接続状態と接続先情報が表示されます。

No.	接続先名称	接続状態	WAN側IPアドレス	接続先IPアドレス	プライマリDNSアドレス	セカンダリDNSアドレス
1	メインセッション	接続中				
2	セッション2	切断中				
3	セッション3	切断中				

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [情報表示] をクリックする。

3 [PPPoE状態] をクリックする。

下記の項目が表示されます。

【接続先名称】

セッション名が表示されます。

【接続状態】

接続の状態が表示されます。

【WAN側IPアドレス】

本商品のWAN側IPアドレスが表示されます。

【接続先IPアドレス】

接続先のIPアドレスが表示されます。

【プライマリDNSアドレス】

プライマリDNSサーバのアドレスが表示されます。

【セカンダリDNSアドレス】

セカンダリDNSサーバのアドレスが表示されます。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

5 管理する

情報表示を行う

装置ログ

本商品で発生した障害やイベントログが表示されます。

VR-23PRI		装置ログ	
- MENU - ■ ヘルプ ■ トップページ 構成情報設定 + かんたん設定 + LAN設定 + 接続先設定 + ネットワーク設定 ■ 高度な設定 装置情報表示 - 情報表示 ■ システム状態 ■ UPnP状態 ■ DHCPv4サーバ払い出し状況 ■ PPPoE状態 ■ 装置ログ ■ セキュリティログ ■ UPnPログ ■ ファームウェア更新ログ メンテナンス + メンテナンス + ファームウェア更新		トップページ>情報表示>装置ログ	
No.	発生日時	ログ	
1	2013/1/16 09:06:26	LAN1 インタフェース リンクアップ	
2	2013/1/16 09:08:27	LAN1 インタフェース リンクダウン	
3	2013/1/16 09:14:23	LAN1 インタフェース リンクアップ	
4	2013/1/16 09:14:12	PRIインタフェース レイヤ2リンクダウン	
5	2013/1/16 09:14:12	PRIインタフェース レイヤ1リンクダウン	
6	2013/1/16 09:14:09	電話利用不可	
7	2013/1/16 09:14:09	SIPサーバ登録不可(構成情報なし)	
8	2013/1/16 09:14:09	WANインタフェース リンクダウン	
9	2013/1/16 09:14:03	機器起動	
10	2013/1/16 09:11:46	LAN1 インタフェース リンクダウン	
11	2013/1/16 09:03:00	SOPコマンド実行[構成情報インポート失敗]	
12	2013/1/16 09:03:00	SOPコマンド受信[構成情報インポート]	
13	2013/1/16 09:03:00	SOPコマンド実行[構成情報インポート成功]	
14	2013/1/16 09:03:00	SOPコマンド受信[構成情報インポート]	
15	2013/1/16 09:03:00	PRIインタフェース レイヤ2リンクダウン	
16	2013/1/16 09:03:00	PRIインタフェース レイヤ1リンクダウン	
17	2013/1/16 09:03:00	電話利用不可	
18	2013/1/16 09:03:00	SIPサーバ登録不可(構成情報なし)	
19	2013/1/16 09:03:00	WANインタフェース リンクダウン	
20	2013/1/16 09:03:00	LAN1 インタフェース リンクアップ	
21	2013/1/16 09:03:00	機器起動	
22	2013/1/16 09:03:00	LAN1 インタフェース リンクダウン	
23	2013/1/16 09:03:00	WANインタフェース リンクダウン	
24	2013/1/16 09:03:00	LAN1 インタフェース リンクアップ	
25	2013/1/16 09:03:00	PRIインタフェース レイヤ2リンクダウン	
26	2013/1/16 09:03:00	PRIインタフェース レイヤ1リンクダウン	
27	2013/1/16 09:03:00	電話利用不可	
28	2013/1/16 09:03:00	SIPサーバ登録不可(構成情報なし)	
29	2013/1/16 09:03:00	WANインタフェース リンクアップ	

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 【情報表示】 をクリックする。

3 【装置ログ】 をクリックする。

【発生日時】

障害やイベントが発生した日時が表示されます。

【ログ】

発生した障害やイベントの内容が表示されます。



お知らせ

- 装置ログは、電源を切ると登録データが消去されることがあります。
- 最大1000件までのログが表示されます。
- 1000件を超えると、古いものから順に削除されます。

セキュリティログ

本商品が起動直後からメモリ上に蓄積しているセキュリティに関するログの内容が表示されます。セキュリティログは以下のようなパケットの受信記録です。

- 外部から受信したパケットのうちSPIIによって破棄したパケット
- 外部から受信したパケットのうちパケットフィルタ設定の条件に一致して破棄したパケット

VR-23PRI		セキュリティログ																						
- MENU - <ul style="list-style-type: none">■ ヘルプ■ トップページ		トップページ>情報表示>セキュリティログ																						
構成情報設定 <ul style="list-style-type: none">+ かんたん設定+ LAN設定+ 接続先設定+ ネットワーク設定■ 高度な設定		<table border="1"><thead><tr><th>No.</th><th>受信時間</th><th>送信元IPアドレス/ポート</th><th>宛先IPアドレス/ポート</th><th>プロトコル</th><th>アクション</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>2009/06/10 11:00:04</td><td>192.168.100.232/-</td><td>200.0.0.2/-</td><td>ICMP</td><td>廃棄[パケットフィルタ]</td></tr><tr><td>2</td><td>2009/06/10 11:00:04</td><td>192.168.100.232/-</td><td>200.0.0.2/-</td><td>ICMP</td><td>廃棄[パケットフィルタ]</td></tr></tbody></table>					No.	受信時間	送信元IPアドレス/ポート	宛先IPアドレス/ポート	プロトコル	アクション	1	2009/06/10 11:00:04	192.168.100.232/-	200.0.0.2/-	ICMP	廃棄[パケットフィルタ]	2	2009/06/10 11:00:04	192.168.100.232/-	200.0.0.2/-	ICMP	廃棄[パケットフィルタ]
No.	受信時間	送信元IPアドレス/ポート	宛先IPアドレス/ポート	プロトコル	アクション																			
1	2009/06/10 11:00:04	192.168.100.232/-	200.0.0.2/-	ICMP	廃棄[パケットフィルタ]																			
2	2009/06/10 11:00:04	192.168.100.232/-	200.0.0.2/-	ICMP	廃棄[パケットフィルタ]																			
装置情報表示 <ul style="list-style-type: none">- 情報表示<ul style="list-style-type: none">■ システム状態■ UPnP状態■ DHCPv4サーバ払い出し状況■ PPPoE状態■ 装置ログ■ セキュリティログ■ UPnPログ■ ファームウェア更新ログ																								

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 「情報表示」をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

(次ページへ続きます)

3 [セキュリティログ] をクリックする。

【受信時間】

破棄したパケットを受信した時間が表示されます。

【送信元IPアドレス/ポート】

破棄したパケットの送信元IPアドレスとポートが表示されます。

【宛先IPアドレス/ポート】

破棄したパケットの宛先IPアドレスとポートが表示されます。

【プロトコル】

破棄したパケットのプロトコルが表示されます。

【アクション】

パケットを破棄した要因が表示されます。
(破棄 [パケットフィルタ] / 破棄 [SPI])



お知らせ

- セキュリティログは、電源を切ると登録データが消去されます。
- 最大100件までのログが表示されます。
100件を超えると、古いものから順に削除されます。
- TCP/UDP以外のパケットはポート番号が「-」で表示され、2番目以降のフラグメントはポート番号が「+」で表示されます。

UPnPログ

UPnPの状態変化ログが表示されます。

VR-23PRI									
UPnPログ									
トップページ>情報表示>UPnPログ									
No.	時間	要求元IPアドレス	要求内容	状態	サービス名	プロトコル	内部ポート番号	外部ポート番号	有効期限
1	2011/01/01 10:00:00	192.168.100.232	サービスの登録	成功	urn:mpeg:mpeg2ts:2003:01:urn:mpeg:mpeg2ts:2003:01	TCP	---	10000	---
2	2011/01/01 10:00:00	192.168.100.232	サービスの登録	有効	urn:mpeg:mpeg2ts:2003:01:urn:mpeg:mpeg2ts:2003:01	TCP	20000	10000	無期限

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（●P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [情報表示] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを
利用する

3 インターネットに
接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かなら
と思ったら？

7 付録

(次ページへ続きます)

3 [UPnPログ] をクリックする。

【時間】

本商品がリクエストを受け取った時間が表示されます。

【要求元IPアドレス】

リクエストを送信した端末のIPアドレスが表示されます。

【要求内容】

リクエストの内容が表示されます。

【状態】

登録されたUPnP用のNAT設定情報の状態が表示されます。

有効

登録されたUPnP用のNAT設定情報を使用することができる。

無効

登録されたUPnP用のNAT設定情報を使用することができない。

【サービスホスト】

登録されたUPnP用のNAT設定情報の接続先が表示されます。

【プロトコル】

登録されたUPnP用のNAT設定情報のプロトコルが表示されます。
TCPまたはUDPのいずれかが表示されます。

【内部ポート番号】

登録されたUPnP用のNAT設定情報のLAN側ポート番号が表示されます。

【外部ポート番号】

登録されたUPnP用のNAT設定情報のWAN側ポート番号が表示されます。

【有効期限】

UPnP用のNAT設定情報の有効期限が秒数で表示されます。Windows® Live Messenger から設定されるNAT設定情報はすべて「無期限」が設定されています。



お知らせ

- UPnPログは、電源を切ると登録データが消去されます。
- 最大100件までのログが表示されます。
- 100件を超えると、古いものから順に削除されます。

ファームウェア更新ログ

ファームウェア更新のログが表示されます。

VR-23PRI						
- MENU -						
■ ヘルプ						
■ トップページ						
構成情報設定						
+ かんたん設定						
+ LAN設定						
+ 接続先設定						
+ ネットワーク設定						
■ 高度な設定						
装置情報表示						
- 情報表示						
■ システム状態						
■ UPnP状態						
■ DHCPv4サーバ払い出し状況						
■ PPPoE状態						
■ 装置ログ						
■ セキュリティログ						
■ UPnPログ						
■ ファームウェア更新ログ						

ファームウェア更新ログ						
トップページ>情報表示>ファームウェア更新ログ						
No.	実行日時	結果	旧バージョン	新バージョン	要因	更新種別
1	2023/11/14 11:40:00	OK	2.0.0	2.0.0	ファームウェア更新正常	初期ファームアップ

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [情報表示] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

(次ページへ続きます)

3 [ファームウェア更新ログ] をクリックする。

【実行日時】

ファームウェア更新が実行された日時が表示されます。

【結果】

ファームウェア更新結果が「OK」または「NG」で表示されます。

【旧バージョン】

ファームウェア更新前のファームウェアバージョンが表示されます。

【新バージョン】

ファームウェア更新後のファームウェアバージョンが表示されます。

【要因】

結果に対する要因が表示されます。

【更新種別】

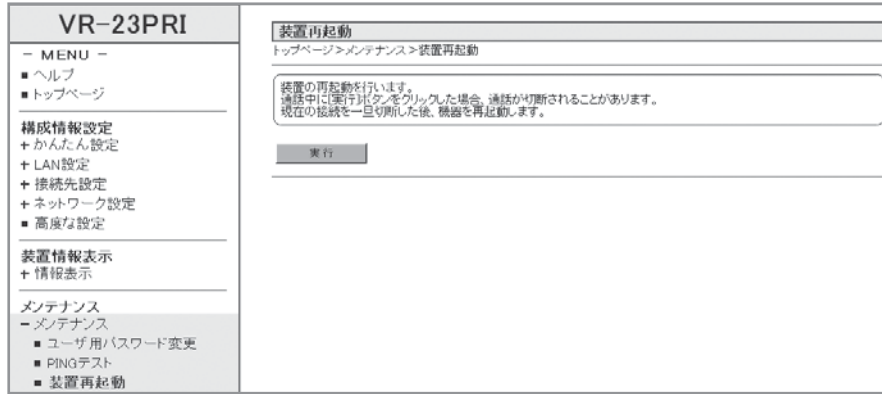
ファームウェア更新の種別が表示されます。
(初期ファームアップ、ローカルファーム更新)



お知らせ

- ファームウェア更新のログは、電源を切ると登録データが消去されることがあります。
- 最大20件までのログが表示されます。
20件を超えると、古いものから順に削除されます。

本商品を再起動します。



1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [メンテナンス] をクリックする。

3 [装置再起動] をクリックする。

装置再起動画面が表示されます。

4 [実行] をクリックする。

本商品が再起動します。



お願い

- 再起動が完了するまで本商品の電源を絶対に切らないでください。



お知らせ

- 各種設定で [設定保存] をクリックする前に再起動をした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。ただし、緊急通報中は再起動されません。
- 再起動が完了するまで約1分30秒かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

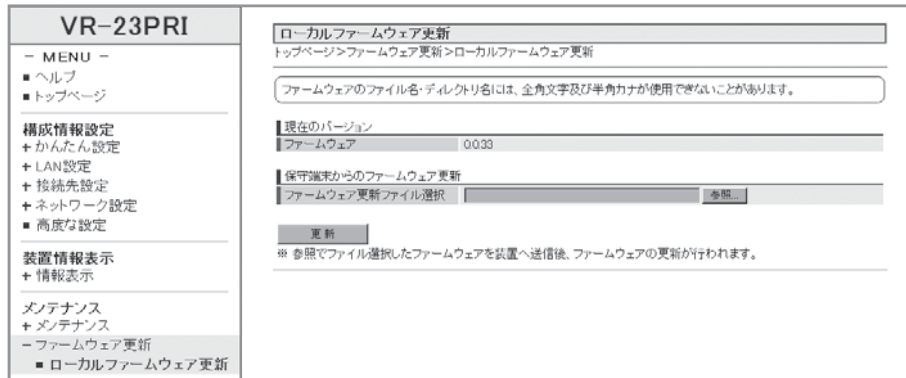
6 故障かな？と思ったら

7 付録

5 管理する

ファームウェアをバージョンアップする (ローカルでファームウェアを更新する)

パソコン上のファームウェアを使用して、Webブラウザからファームウェアを更新することができます。



- 1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P4-4）の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。
- 2 [ファームウェア更新] をクリックする。
- 3 [ローカルファームウェア更新] をクリックする。
- 4 [参照] をクリックし、パソコン上のファームウェアを選択する。
- 5 [更新] をクリックする。
- 6 「ファームウェアのバージョンアップを開始します」と表示されたら [OK] をクリックする。
自動で再起動しないため、手動で再起動（P5-17）を実施してください。

お願い

- 再起動が完了するまで本商品の電源を絶対に切らないでください。

お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分30秒かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

5 管理する

リモートマネジメントを利用する (リモートマネジメントを利用するには)

リモートマネジメントを契約している場合、センターから遠隔で本商品の設定等を行うことができます。

リモートマネジメントには、「Webブラウザから接続する」(●P5-20)、または、「電話機から接続する」(●P5-22)で接続できます。

リモートマネジメントを利用するためには、本商品に設定を行う必要があります。設定は工事担当者が行いますので、ご契約サービスのサポート窓口までご連絡ください。

リモートマネジメントを利用するためには、PPPoEの空きセッションが必要になります。

リモートマネジメントサービスのご利用時は、工事担当者の指示に従ってください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

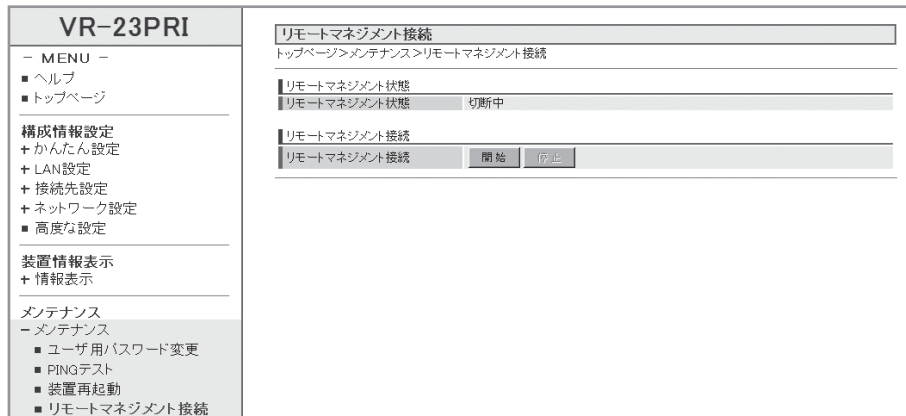
7 付録

5 管理する

リモートマネジメントを利用する (Webブラウザから接続する)

Webブラウザからリモートマネジメントに接続することができます。

サービスを開始する場合



1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [メンテナンス] をクリックする。

3 [リモートマネジメント接続] をクリックする。

4 「リモートマネジメント接続」の [開始] をクリックする。

「リモートマネジメント接続を実行しました。」と表示され、リモートマネジメントサービスが開始されます。サービス開始後は、工事担当者の指示に従った操作を実施してください。リモートマネジメントサービスの開始に失敗した場合は、「リモートマネジメント接続に失敗しました。」と表示されません。

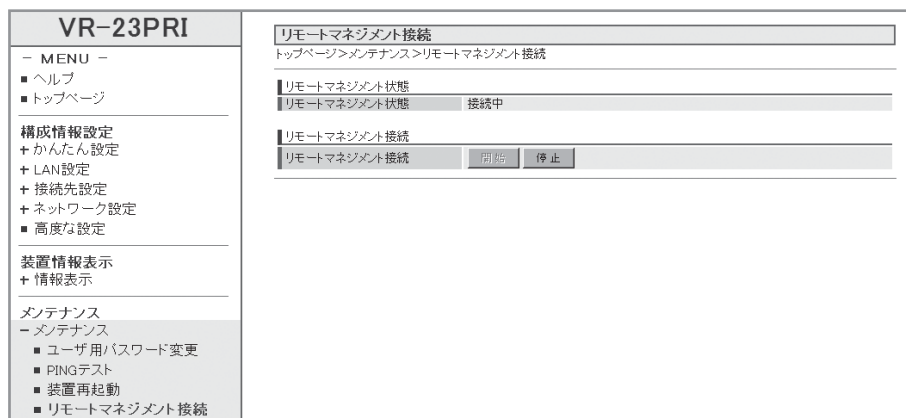
STOP お願い

- リモートマネジメントサービスご利用時は、本商品の電源を絶対に切らないでください。

お知らせ

- 「リモートマネジメント接続を実行しました。」と表示された場合でも、PPPoEの空きセッションがない場合など、リモートマネジメント接続ができない場合があります。
- 「リモートマネジメント接続に失敗しました。」と表示された場合は、ご契約サービスのサポート窓口にお問い合わせください。

サービスを停止する場合



1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには (ログイン)」(P4-4) の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [メンテナンス] をクリックする。

3 [リモートマネジメント接続] をクリックする。

4 「リモートマネジメント接続」の [停止] をクリックする。

「リモートマネジメント切断を実行しました。」と表示され、リモートマネジメントサービスが停止されます。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら

7 付録

5 管理する

リモートマネジメントを利用する (電話機から接続する)

ビジネスホンからの操作により、リモートマネジメントに接続することができます。ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

サービスを開始する場合

- 1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。
- 2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。
- 3 ダイヤルボタンで00022と押す。
「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、リモートマネジメントサービスが開始されます。サービス開始後は、工事担当者の指示に従った操作を実施してください。
リモートマネジメントサービスの開始に失敗した場合は、「ツー・ツー」という話中音がハンドセットから聞こえます。
- 4 ハンドセット（受話器）を置く。



お知らせ

- 「ピピッ・ピピッ」という確認音が聞こえた場合でも、PPPoEの空きセッションがない場合など、リモートマネジメント接続ができない場合があります。
- 「ツー・ツー」という話中音が聞こえた場合は、ご契約サービスのサポート窓口にお問い合わせください。

サービスを停止する場合

- 1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。
- 2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。
- 3 ダイヤルボタンで00023と押す。
「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、リモートマネジメントサービスが停止されます。
- 4 ハンドセット（受話器）を置く。



お願い

- リモートマネジメントサービスご利用時は、本商品の電源を絶対に切らないでください。

6

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら…………… 6-2

6 故障かな？ と思ったら

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、現在の症状をご確認のうえ、以下のページでその原因と対策をご覧ください。

症状が改善しない場合は、最新ファームウェアへのバージョンアップについてもお試しください。いただくことをお勧めします。

項目	原因と対策
本商品正面のPOWERランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品背面のPOWERスイッチがオン側（ 側）に倒れていることを確認してください。 ● 電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ● 電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ● 電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ● 電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、ご契約サービスのサポート窓口にて修理をご依頼ください。
本商品正面のALARMランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもALARMランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、ご契約サービスのサポート窓口にて修理をご依頼ください。
本商品正面のWANランプが赤点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品と回線終端装置（ONU）の両方に電源が入っていることを確認してください。（直接RJ-45 モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。） ● LANケーブルが本商品のWANポートと回線終端装置（ONU）、または壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。
本商品正面のVoIPランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。
本商品正面のLANランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ● LANボードまたはLANカードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LANケーブルが本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● パソコンがLANボードまたはLANカードを認識しているかを確認してください。 ● 1Gbit/s（1000Mbit/s）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbit/s（1000Mbit/s）の通信をご利用になるときは1Gbit/s（1000Mbit/s）に対応したLANケーブルをご用意ください。 ● 本商品のLANポートとLANポート接続機器のLANインターフェース条件（速度とMDI / MDIX）を確認してください。本商品側のLANポートの設定変更が必要な場合は「LANポートの設定を行う」（➡P4-6）をご覧ください。LANポートの設定を行ってください。
本商品正面のPRIランプが赤点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とビジネスホンなどとの接続に問題があります。ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。
本商品正面のCLKランプが緑点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とINSネット64回線などとの接続に問題があります。ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。
本商品正面のCLKランプが橙点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とビジネスホンなどとの接続に問題があります。ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思うたら？

7 付録

項目	原因と対策
本商品背面のPRIのLOS / RAI / AISランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とビジネスホンなどとの接続に問題があります。ご契約サービスのサポート窓口にご連絡ください。
パソコンのIPアドレスが「192.168.100.xxx」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを使用」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「パソコンの設定」(●P7-2) をご覧のうえ、再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b. 「パソコンの設定」(●P7-2) をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「パソコンの設定」(●P7-2) をご覧のうえ確認してください。 ● WebブラウザやOSの設定で「LANにプロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。(●P7-4、7-11、7-18、7-25) ● ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。(●P7-3、7-10、7-17、7-24) ● 複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://192.168.100.1」と入力しても「Web設定」ページは開きません。Webブラウザのアドレスに、プロバイダから割り当てられた本商品のグローバルIPアドレス(例えば、http://200.200.200.1/)を入力してください。 ● ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ● 「Web設定」を行う際、「更新の確認に失敗しました。」「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示された場合は、本商品が正しく回線に接続されていることを確認し、再度、電源を入れ直してください。 ● 通信の負荷が非常に高い場合は、「Web設定」ページの表示が遅くなる場合があります。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページの画面が正常に表示されないまたは操作が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いのWebブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。(●P7-30) ● お使いのWebブラウザが本商品に対応しているか「本商品の設定について」(●P4-2) をご覧のうえ確認してください。
停復旧後、電話が利用できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品前面のVoIPランプが緑点灯しているか確認してください。しばらく待っても、VoIPランプが消灯している場合は、電話をご利用になれませんので、再度、電源を入れ直してください。電話の設定が完了すると、本商品前面のVoIPランプが緑点灯します。
突然、再起動した	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を切らずに、そのまましばらくお待ちください。

MEMO

パソコンの設定

Windows® 8の場合 7-2

Windows® 7の場合 7-9

Windows Vista®の場合 7-16

Windows® XPの場合 7-23

Webブラウザの設定

Windows®の場合 7-30

ユーザ設定記入シート 7-31

Q&A 7-42

用語集 7-43

索引 7-48

仕様 7-50

パソコンの設定 (Windows® 8の場合)

Windows® 8の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定 (Windows®の場合)」に進んでください。(●P7-30)

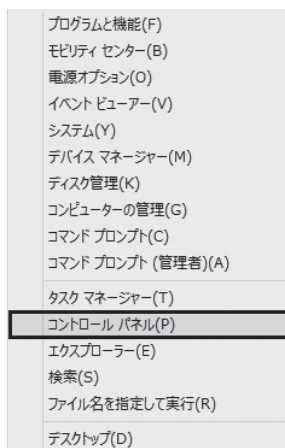
本書ではWindows® 8の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常モデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

1 コントロールパネルを表示する。

デスクトップ画面で、マウスカーソルを画面左下端に移動し、マウス右クリックでメニューを表示します。メニューから[コントロールパネル] をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。



お知らせ

- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer®を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は[キャンセル] をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、ご契約サービスのサポート窓口までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

3 「インターネットのプロパティ」を表示する。

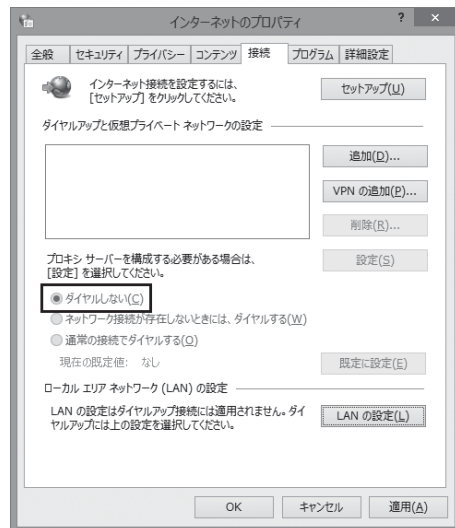
[インターネットオプション] をクリックします。



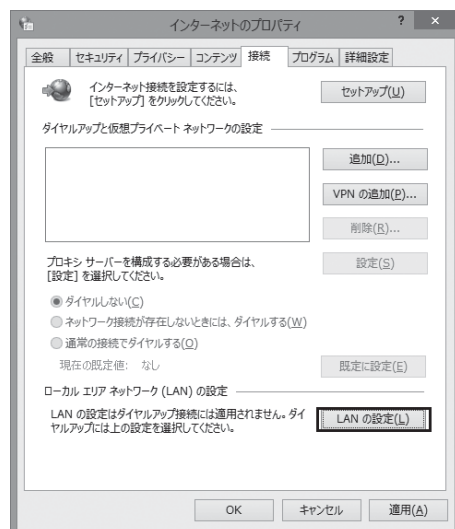
4 「接続」タブで「ダイヤルしない」を選択する。

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックする。



(次ページへ続きます)

6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」
を設定する。

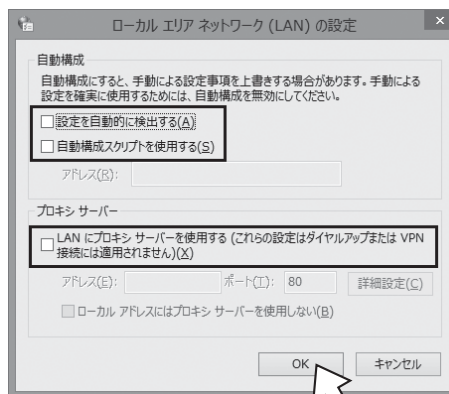
次のように設定します。

① 「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、[自動構成スクリプトを使用する]のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

② 「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK]をクリックしてください。



● お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

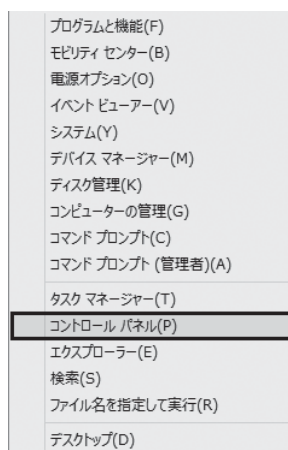
③ 「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする
「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

デスクトップ画面で、マウスカーソルを画面左下端に移動し、マウス右クリックでメニューを表示します。メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3 「ネットワーク接続」を表示する。

「アダプターの設定の変更」をクリックします。



4 「イーサネットの状態」を表示する。

「イーサネット」をダブルクリックします。



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」の画面に、PPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください（例では、「PPPoE接続」となっています）。



(次ページへ続きます)

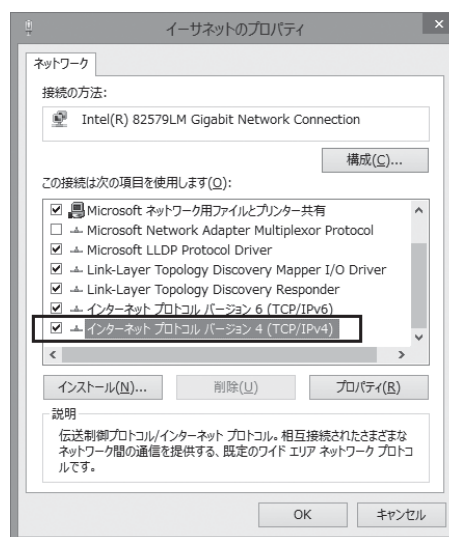
5 「イーサネットのプロパティ」を表示する。

「イーサネットの状態」の「プロパティ」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は「続行」
をクリックします。



6 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示する。

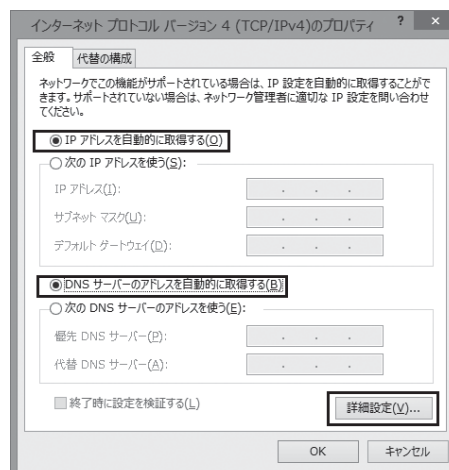
「イーサネットのプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



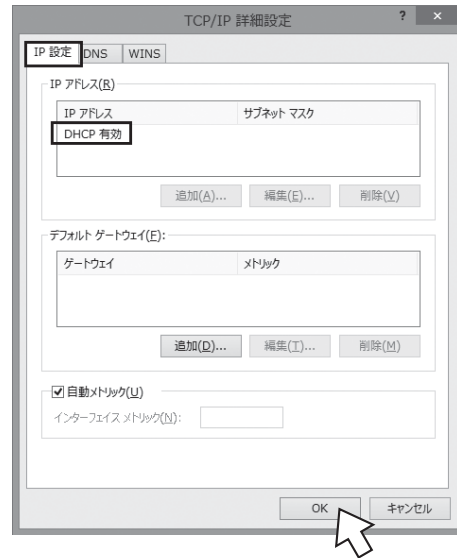
※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定する。

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



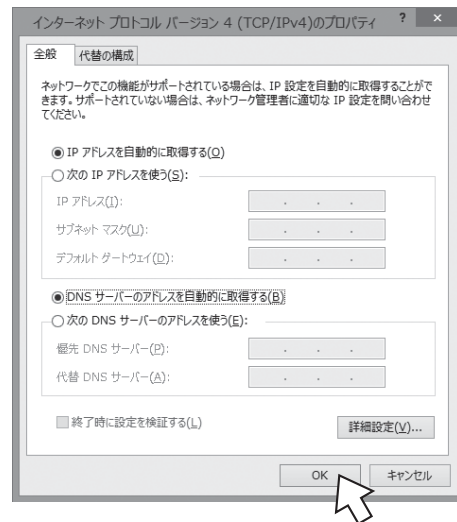
- 8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。
「TCP/IP詳細設定」の [IP設定] タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

- 9 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の [OK] をクリックする。



- 10 「イーサネットのプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

- 11 「イーサネットの状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

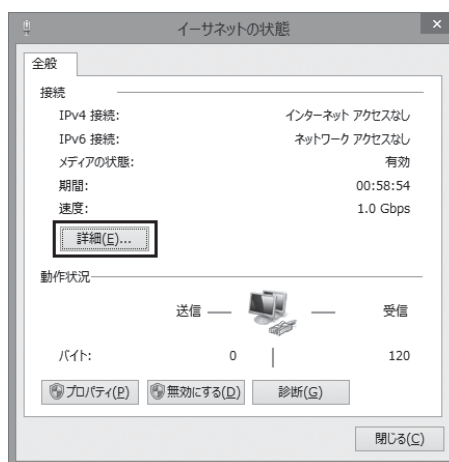
パソコン（LANカード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows® 8では次の手順で確認します。

1 「イーサネットの状態」を表示する。

「ネットワークの設定」（▶P7-4～7-5）の手順1～4を行います。



2 「イーサネットの状態」で[詳細]をクリックする。

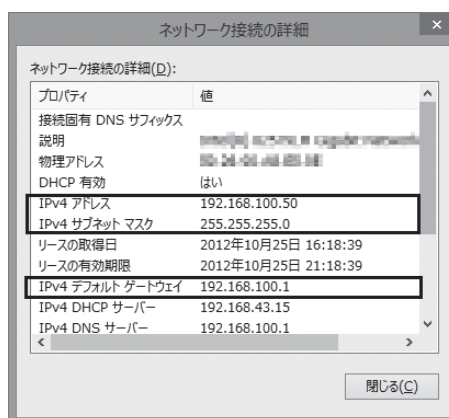


3 IPアドレスを確認する。

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- ・ IPv4 IPアドレス
- ・ IPv4 サブネットマスク
- ・ IPv4 デフォルトゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

4 [閉じる] をクリックする。

パソコンの設定 (Windows® 7の場合)

Windows® 7の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定 (Windows®の場合)」に進んでください。(●P7-30)
本書ではWindows® 7の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常モデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 7を起動し、[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの [ネットワークとインターネット] をクリックします。



お知らせ

- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer®を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は [キャンセル] をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、ご契約サービスのサポート窓口までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

(次ページへ続きます)

1 お使いになる前に

2 I/P電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

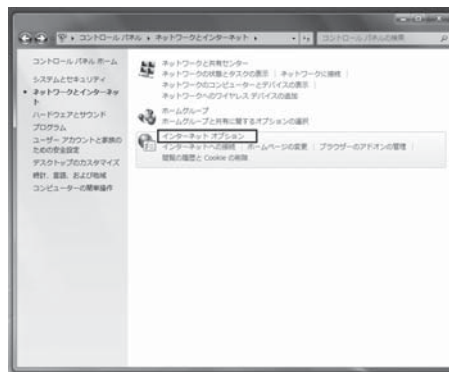
5 管理する

6 故障かな?と思ったら?

7 付録

3 「インターネットのプロパティ」を表示する。

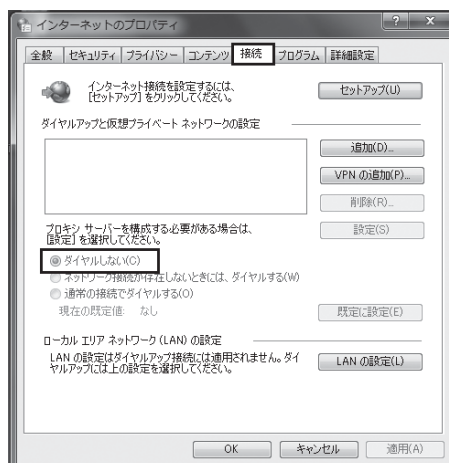
「インターネットオプション」をクリックします。



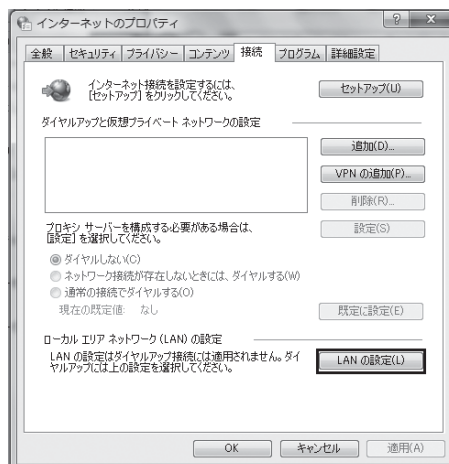
4 「接続」タブで「ダイヤルしない」を選択する。

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックする。



6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する。

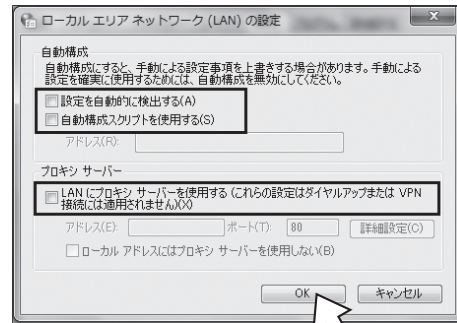
次のように設定します。

① 「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、[自動構成スクリプトを使用する]のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

② 「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK]をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③ 「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 7を起動し、[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。



(次ページへ続きます)

2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3 「ネットワーク接続」を表示する。

「アダプターの設定の変更」をクリックします。



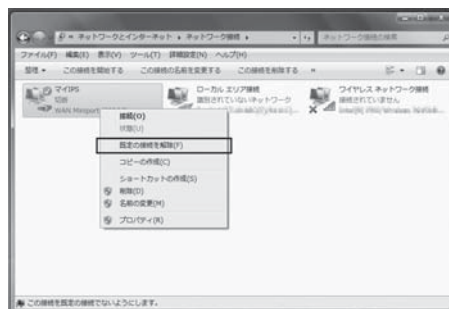
4 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



ワンポイント

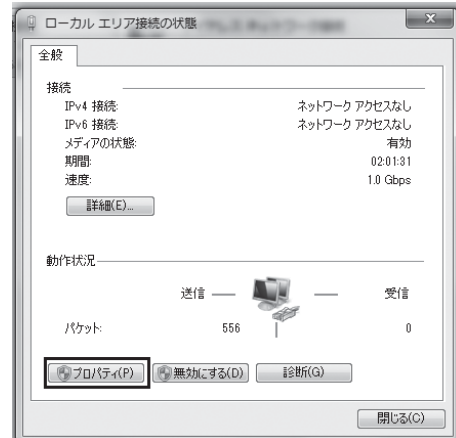
- 「ネットワーク接続」の画面に、PPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください（例では、「マイISP」となっています）。



5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

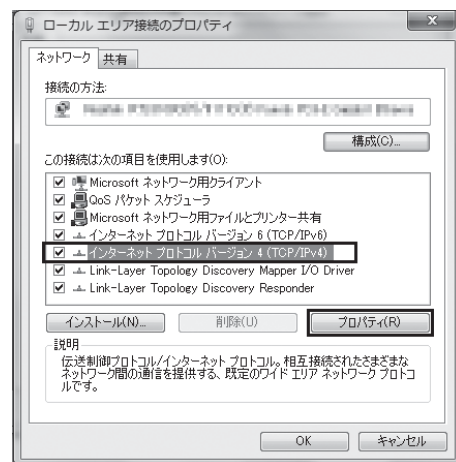
「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は「続行」をクリックします。



6 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示する。

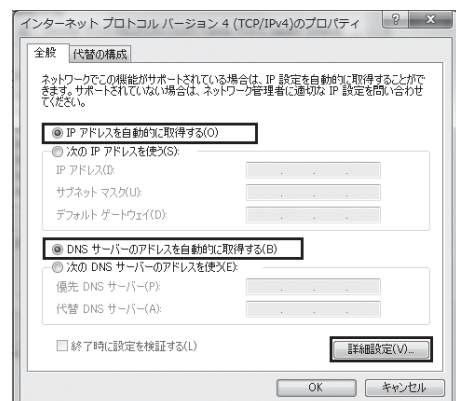
「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

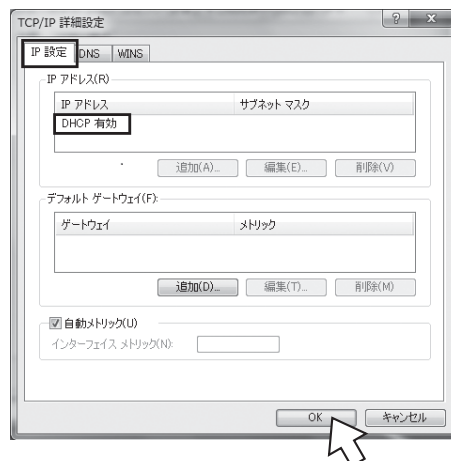
7 IPアドレスとDNSを設定する。

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「[IPアドレスを自動的に取得する]と、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]」を選択してください。IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



(次ページへ続きます)

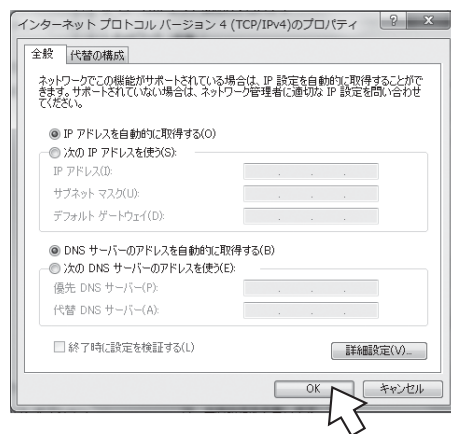
- 8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。
「TCP/IP詳細設定」の [IP設定] タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

- 9 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の [OK] をクリックする。



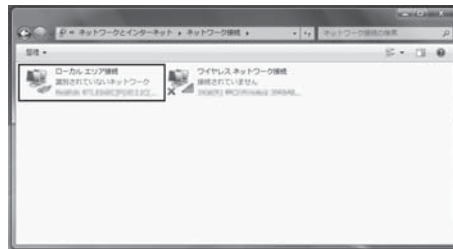
- 10 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

- 11 「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

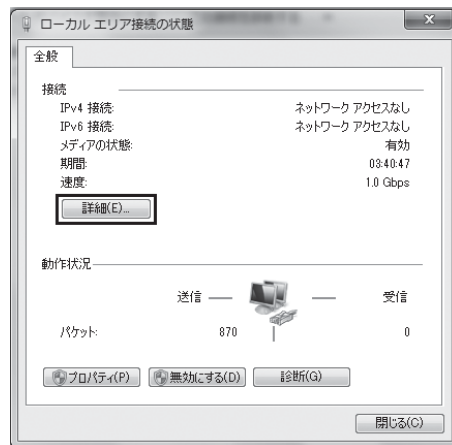
ネットワークの設定を確認する

パソコン（LANカード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows® 7では次の手順で確認します。

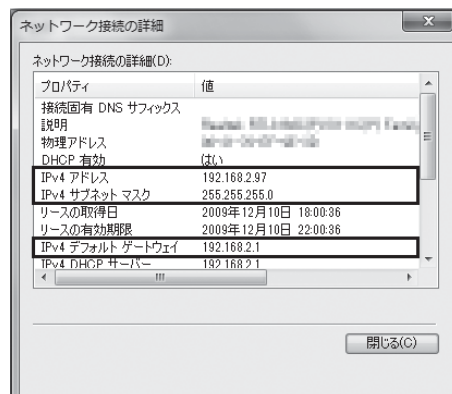
- 1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。
「ネットワークの設定」（P7-11～7-12）の手順1～4を行います。



- 2 「ローカルエリア接続の状態」で「詳細」をクリックする。



- 3 IPアドレスを確認する。
以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。
 - ・ IPv4 IPアドレス
 - ・ IPv4 サブネットマスク
 - ・ IPv4 デフォルトゲートウェイこれらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

- 4 「閉じる」をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

パソコンの設定 (Windows Vista®の場合)

Windows Vista®の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定 (Windows®の場合)」に進んでください。(P7-30)
本書ではWindows Vista®の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常モデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows Vista®を起動し、[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。



お知らせ

- Windows Vista®ではスタートメニューの表示モードに[スタート]メニューとクラシック[スタート]メニューがあります。この取扱説明書の画面では[スタート]メニューを例に記述しています。
- Windows Vista®ではコントロールパネルの表示モードにホームモード(カテゴリ表示モード)とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面ではホームモードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer®を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は[キャンセル]をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、ご契約サービスのサポート窓口までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

3 「インターネットのプロパティ」を表示する。

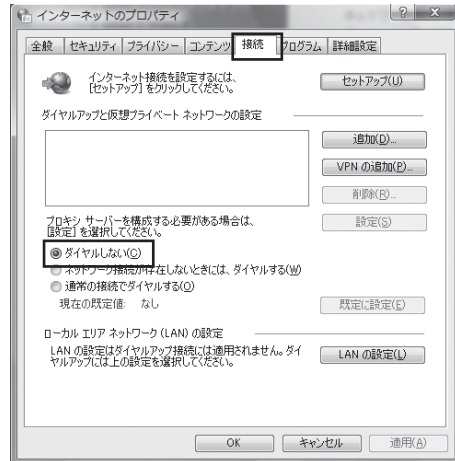
[インターネットオプション] をクリックします。



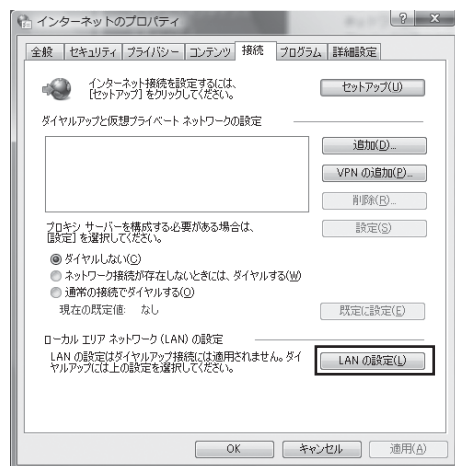
4 「接続」タブで「ダイヤルしない」を選択する。

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックする。



(次ページへ続きます)

6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」
を設定する。

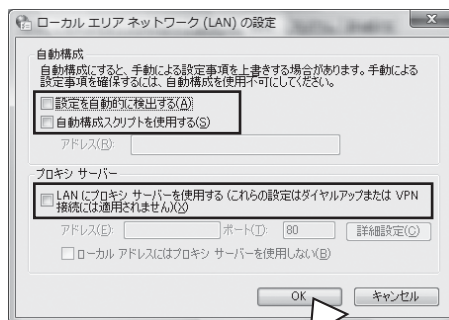
次のように設定します。

① 「自動構成」 のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、[自動構成スクリプトを使用する] のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

② 「プロキシサーバー」 のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」 のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK] をクリックしてください。



● お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③ 「インターネットのプロパティ」 の [OK] をクリックする
「インターネットのプロパティ」 の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows Vista®を起動し、[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックします。



1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3 「ネットワーク接続」を表示する。

「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



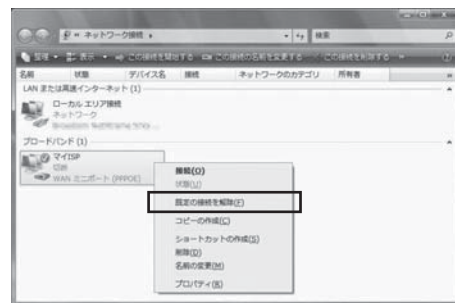
4 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「LANまたは高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」の「ブロードバンド」の欄に、PPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください（例では、「マイISP」となっています）。

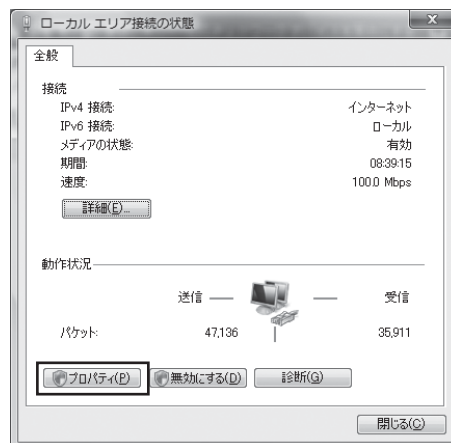


(次ページへ続きます)

5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

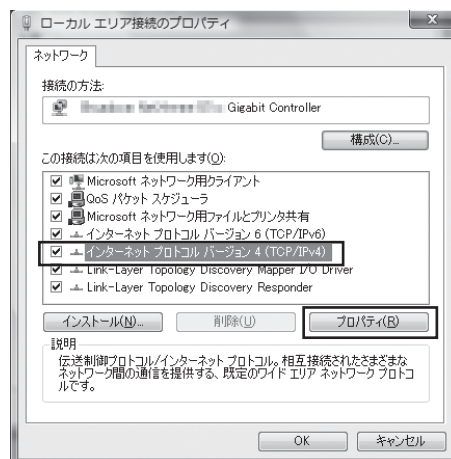
「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されるので、「続行」をクリックします。



6 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示する。

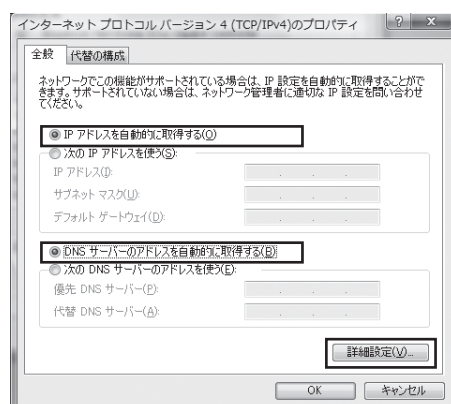
「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



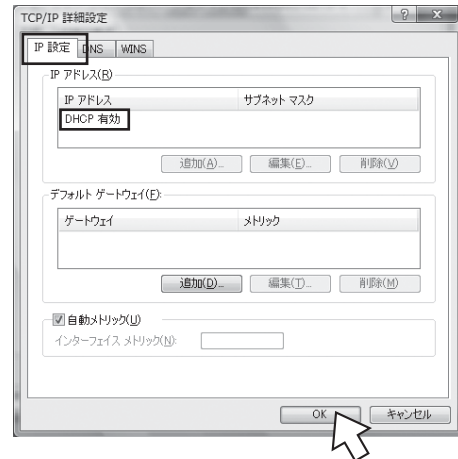
※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定する。

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



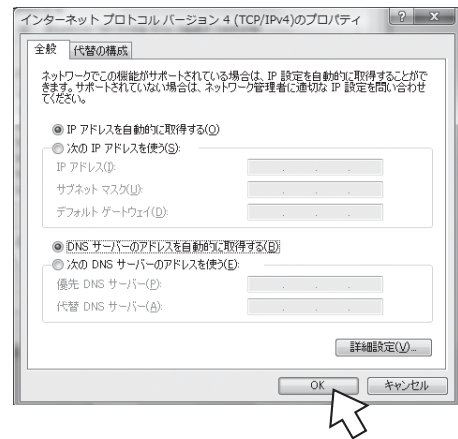
- 8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。
「TCP/IP詳細設定」の [IP設定] タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「[IPアドレスを自動的に取得する] と、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]」を選択してあるか、再度確認してください。

- 9 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の [OK] をクリックする。



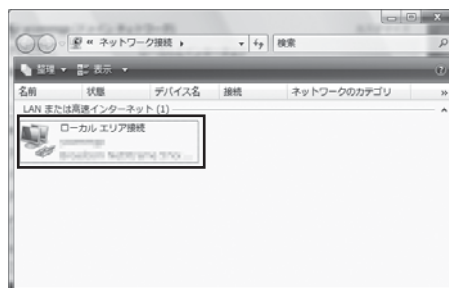
- 10 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

- 11 「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン (LANカード) と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows Vista®では次の手順で確認します。

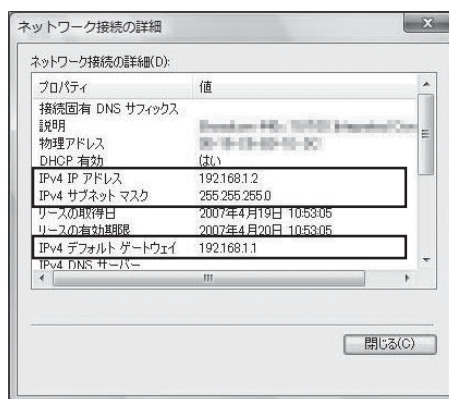
- 1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。
「ネットワークの設定」(●P7-18~7-19) の手順1~4を行います。



- 2 「ローカルエリア接続の状態」で [詳細] をクリックする。



- 3 IPアドレスを確認する。
以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。
・IPv4 IPアドレス
・IPv4 サブネットマスク
・IPv4 デフォルトゲートウェイ
これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

- 4 [閉じる] をクリックする。

パソコンの設定 (Windows® XPの場合)

Windows® XPの場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定 (Windows®の場合)」に進んでください。(●P7-30)
本書ではWindows® XPの通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常モデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

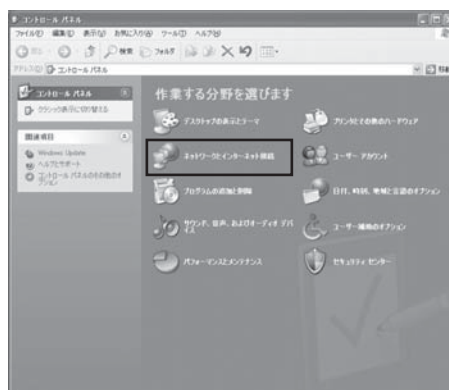
1 コントロールパネルを表示する。

Windows® XPを起動し、[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。



お知らせ

- Windows® XPではスタートメニューの表示モードに [スタート] メニューとクラシック [スタート] メニューがあります。この取扱説明書の画面では [スタート] メニューを例に記述しています。
- Windows® XPではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード (カテゴリ表示モード) とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面では通常表示モードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer® 6.0 (SP3)、Internet Explorer® 7.0または、Internet Explorer® 8.0がインストールされていることをご確認ください。
- Internet Explorer®を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は [キャンセル] をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、ご契約サービスのサポート窓口までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 お使いになる前に

2 I P電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

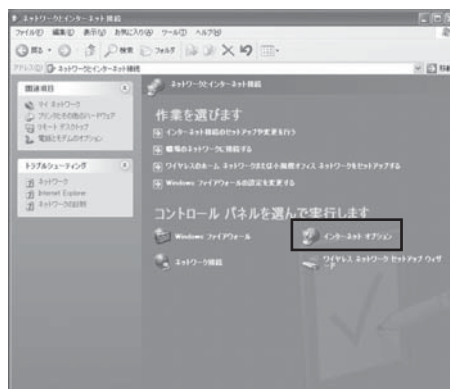
4 本商品の設定

5 管理する

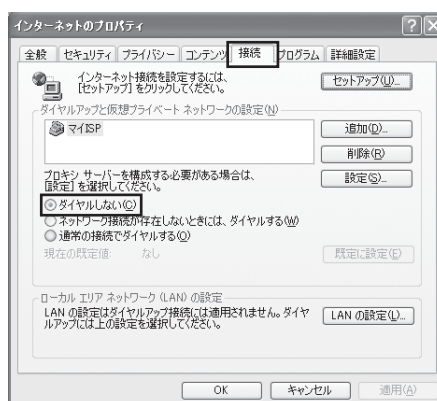
6 故障かなら?と思つたら?

7 付録

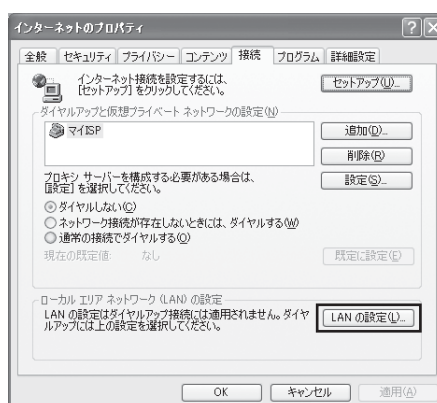
- 3 「インターネットのプロパティ」を表示する。
「ネットワークとインターネット接続」の「インターネットオプション」をクリックします。



- 4 「接続」タブで「ダイヤルしない」を選択する。
「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。
「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックします。



- 5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックする。



6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する。

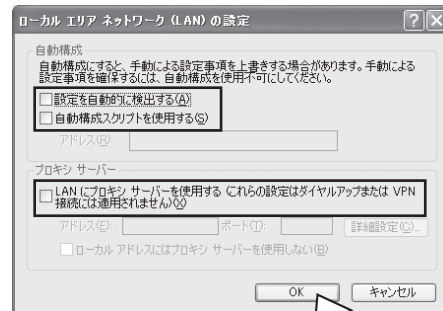
次のように設定します。

① 「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、[自動構成スクリプトを使用する]のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

② 「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK]をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

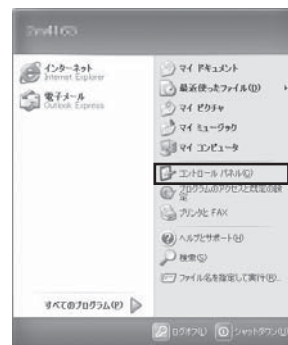
- ③ 「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする
「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

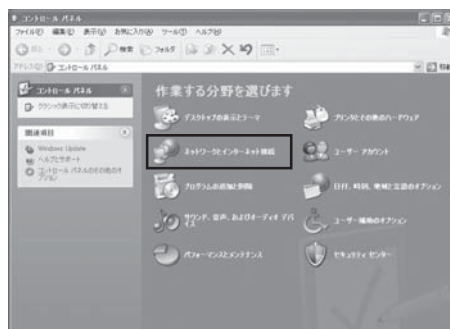
1 コントロールパネルを表示する。

Windows® XPを起動し、[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。

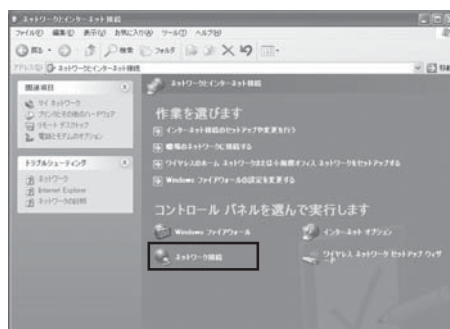


2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

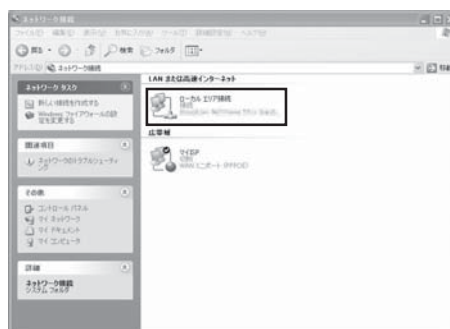
コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

**3 「ネットワーク接続」を表示する。**

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。

**4 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。**

「LANまたは高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

**ワンポイント**

- 「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください(例では、「マイISP」となっています)。



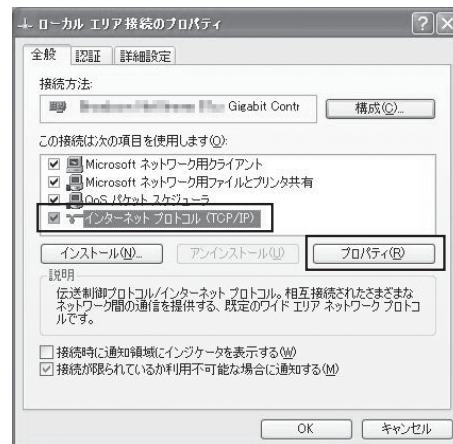
5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。



6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

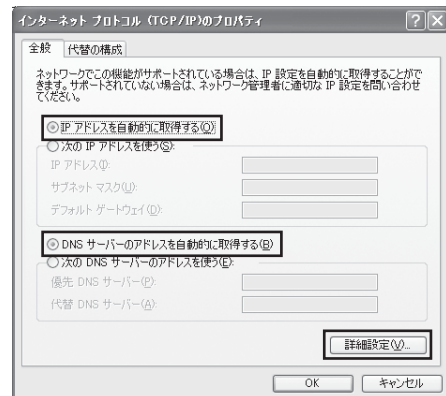


※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定する。

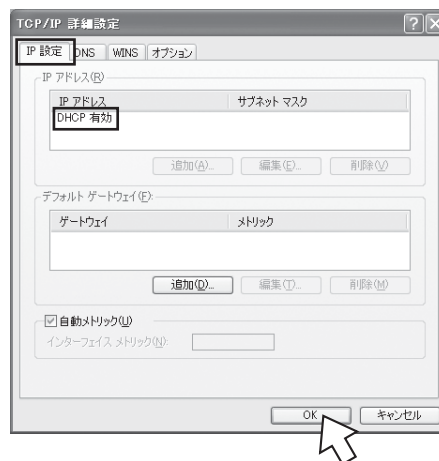
「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



(次ページへ続きます)

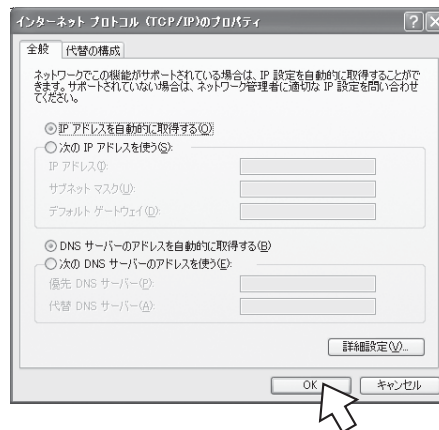
- 8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。
「TCP/IP詳細設定」の [IP設定] タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

- 9 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」の [OK] をクリックする。



- 10 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

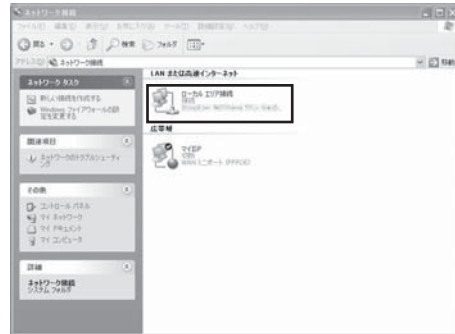
- 11 「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows® XPでは次の手順で確認します。

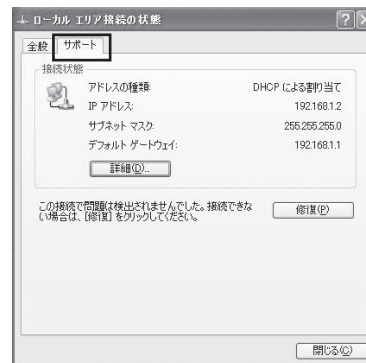
1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「ネットワークの設定」(P7-25~7-26)の手順1~4を行います。



2 [サポート] タブで「接続状態」を確認する。

「ローカルエリア接続の状態」の[サポート]タブをクリックします。

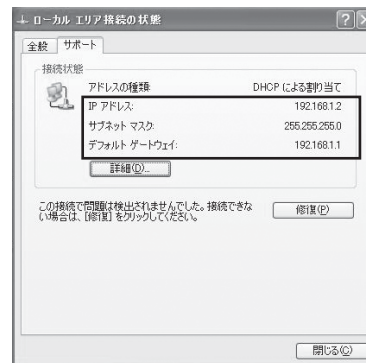


3 IPアドレスを確認する。

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、[修復] をクリックしてください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- [修復] をクリックしても各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

4 [閉じる] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？

7 付録

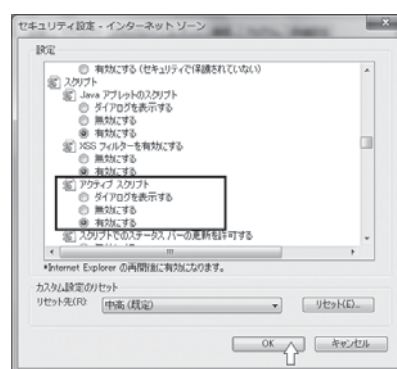
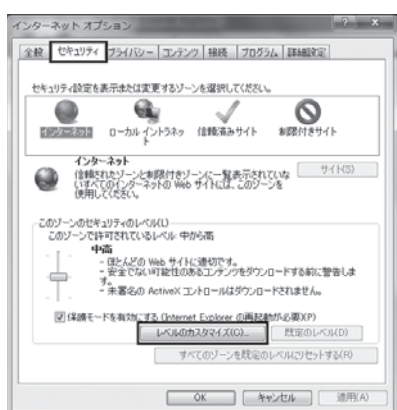
Webブラウザの設定 (Windows®の場合)

本商品は、各種の設定をWebブラウザで実施します。

Windows® 8ではInternet Explorer® 10.0、Windows® 7ではInternet Explorer® 8.0または9.0、Windows Vista®ではInternet Explorer® 7.0、8.0、9.0、Windows® XPではInternet Explorer® 6.0 (SP3) がインストールされていることを確認してください。画面はWindows® 7の例です。

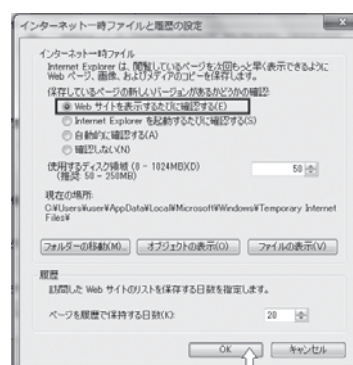
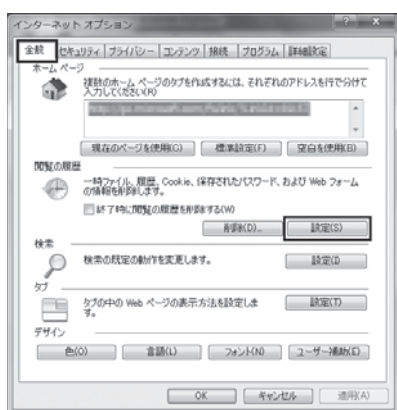
< Javascript の設定 >

- ①Internet Explorer® を起動し、ツールバーの [ツール] → [インターネットオプション] をクリックする。
- ② [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] をクリックする。
- ③ スクリプト項目のアクティブスクリプトが [有効にする] に設定されていることを確認し、[OK] をクリックする。



< キャッシュ機能の設定 >

- ①Internet Explorer® を起動し、ツールバーの [ツール] → [インターネットオプション] をクリックする。
- ② [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックする。
- ③ [Web サイトを表示するたびに確認する] に設定されていることを確認し、[OK] をクリックする。



お知らせ

- Webブラウザは、ホームページを見るためのソフトウェアです。代表的なブラウザとして、Microsoft® Internet Explorer® があります。
- Internet Explorer® を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は [キャンセル] をクリックして、ダイアログを終了してください。
- ブラウザの [戻る]、[進む] は使用しないでください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品の設定終了後、必要に応じてWebブラウザの設定を変更前の設定に戻してください。

ユーザ設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し、大切に保管してください。
ユーザ用パスワードは、お客様の個人情報となります。記入された際は、お取り扱い
にご注意ください。

【かんたん設定】 → 【接続先設定（かんたん設定）】

凡例：○選択 □チェック

接続先設定（かんたん設定）		初期値
接続先名	()	—
接続先ユーザ名※1	()	—
接続先パスワード※1	()	—
※1 プロバイダから送付された設定情報です。		

【LAN設定】 → 【LAN設定】

LANポート設定		初期値
ポート番号1		
通信速度	○ 自動設定 ○ 100M/全二重 ○ 100M/半二重 ○ 10M/全二重 ○ 10M/半二重	自動設定
MDI/MDI-Xモード	○ 自動設定 ○ MDI-X固定 ○ MDI固定	自動設定
ポート番号2		
通信速度	○ 自動設定 ○ 100M/全二重 ○ 100M/半二重 ○ 10M/全二重 ○ 10M/半二重	自動設定
MDI/MDI-Xモード	○ 自動設定 ○ MDI-X固定 ○ MDI固定	自動設定
ポート番号3		
通信速度	○ 自動設定 ○ 100M/全二重 ○ 100M/半二重 ○ 10M/全二重 ○ 10M/半二重	自動設定
MDI/MDI-Xモード	○ 自動設定 ○ MDI-X固定 ○ MDI固定	自動設定
ポート番号4		
通信速度	○ 自動設定 ○ 100M/全二重 ○ 100M/半二重 ○ 10M/全二重 ○ 10M/半二重	自動設定
MDI/MDI-Xモード	○ 自動設定 ○ MDI-X固定 ○ MDI固定	自動設定

【ネットワーク設定】 → 【SPI設定】

各種SPI設定		初期値
TCPタイムアウト	() (設定範囲は、1～7200秒です)	3600 (秒)
UDPタイムアウト	() (設定範囲は、1～7200秒です)	180 (秒)
ICMPタイムアウト	() (設定範囲は、1～7200秒です)	60 (秒)

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

【LAN設定】 → 【DHCPv4サーバ設定】

手動IPアドレス払い出し設定※1	
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
番号	()
払い出しIPアドレス	()
MACアドレス	()
※1 最大50件設定可能です。不足する場合は本ページをコピーしてご使用ください。	

【接続先設定】 → 【接続先設定(PPPoE)】

接続先の選択設定				
接続可	接続先選択	接続先名	接続モード	UPnP優先
	メインセッション	()	()	○
<input type="checkbox"/>	セッション2	()	()	○
<input type="checkbox"/>	セッション3	()	()	○
<input type="checkbox"/>	セッション4	()	()	○
<input type="checkbox"/>	セッション5	()	()	○

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

【接続先設定】 → 【接続先設定(PPPoE)】 → 【セッション】

接続先設定		初期値
接続先選択※1	メインセッション、セッション2、3、4、5	—
接続先名	()	—
接続先ユーザ名	()	—
接続先パスワード	()	—
IPアドレス		
IPアドレスの自動取得	<input type="radio"/> IPアドレスの自動取得 <input type="radio"/> IPアドレスの手動設定 <input type="radio"/> Unnumbered	IPアドレスの自動取得
IPアドレス/ マスク長	()	—
	()	—
DNSサーバアドレス		
サーバから割り当てられたアドレス	<input type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
プライマリDNS	()	—
セカンダリDNS	()	—
認証方式		
認証方式	<input type="radio"/> 暗号化されていないパスワード (PAP) <input type="radio"/> チャレンジハンドシェイク認証プロトコル (CHAP) <input type="radio"/> 自動認証	自動認証
MTU設定		
MTUサイズ	() (設定範囲は576 ~ 1492です)	1454
MRU設定		
MRUサイズ	() (設定範囲は576 ~ 1492です)	1492
接続モード		
接続モード	<input type="radio"/> 要求時接続 (自動切断する) <input type="radio"/> 要求時接続 (自動切断しない) <input type="radio"/> 常時接続	常時接続※2
自動切断するまでの時間	() (設定範囲は1 ~ 1440です)	30分
PPPキープアライブ		
PPPキープアライブ機能	<input type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
LCP ECHO 送信間隔	() (設定範囲は1 ~ 5です)	1分
LCP ECHO リトライ回数	() (設定範囲は1 ~ 255です)	10回
拡張設定		
PING応答設定	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/>
※1 複数セッションをご利用になる場合は本ページをコピーしてご使用ください。 ※2 セッション2 ~ 5の場合の初期値は、「要求時接続 (自動切断する)」です。		

【接続先設定】 → 【接続先設定(PPPoE)】 → 【接続先設定 (接続ルール設定)】

接続ルール設定		初期値
接続先選択※1	セッション2、3、4、5	—
宛先ドメイン名	()	—
宛先IPアドレス	() or () or () or ()	—
送信元IPアドレス	() or () or () or ()	—
プロトコル：宛先ポート番号	() : () or () : () or () : () or () : ()	—
※1 複数セッションをご利用になる場合は本ページをコピーしてご使用ください。		

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら

7 付録

【ネットワーク設定】 → 【パケットフィルタ設定】

パケットフィルタ設定		初期値
エントリ番号※1	() 1 ~ 128	-
ルールNo.	() (設定範囲は、0 ~ 999です)	0 : エントリ無効
通信方向	<input type="radio"/> 両方向 <input type="radio"/> LAN→WAN <input type="radio"/> WAN→LAN	WAN→LAN
接続インタフェース名	<input type="radio"/> メインセッション <input type="radio"/> セッション2 <input type="radio"/> セッション3 <input type="radio"/> セッション4 <input type="radio"/> セッション5 <input type="radio"/> 全て	全て
TCPフラグ	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> SYN <input type="radio"/> ESTABLISHED	指定しない
送信元IPアドレス (開始IP)	() ~	any
送信元IPアドレス (終了IP)	()	any
宛先IPアドレス (開始IP)	() ~	any
宛先IPアドレス (終了IP)	()	any
プロトコル	()	any
送信元ポート (開始-終了)	()	any
宛先ポート (開始-終了)	()	any
セキュリティログ保存の可否	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (否)
フィルタ種別	<input type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可	拒否
ICMPタイプ	()	any
ICMPコード	()	any

※1 最大128件エントリ可能です。不足する場合は、本ページをコピーしてご使用ください。

【ネットワーク設定】 → 【URLフィルタ設定】

URLフィルタ許可設定		初期値
URLフィルタ	<input type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 許可リスト設定 <input type="radio"/> 拒否リスト設定	使用しない
URLフィルタ設定※1		
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—
エントリ番号	() 1～20	—
比較条件	<input type="radio"/> ドメイン <input type="radio"/> キーワード	ドメイン
比較文字 (後方一致)	()	—

※1 最大20件エントリ可能です。不足する場合は、本ページをコピーしてご使用ください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

【ネットワーク設定】 → 【静的IPマスカレード設定】

静的IPマスカレード設定※1		初期値
エントリ番号	() 1 ~ 50	—
優先順位	() (設定範囲は、0 ~ 99です)	—
接続インタフェース名	<input type="radio"/> メインセッション <input type="radio"/> セッション2 <input type="radio"/> セッション3 <input type="radio"/> セッション4 <input type="radio"/> セッション5	メインセッション
宛先IPアドレス	()	—
変換対象IPアドレス	<input type="radio"/> 自分のWAN側IPアドレス <input type="radio"/> IPアドレス指定 ()	自分のWAN側IPアドレス
変換対象プロトコル	<input type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP <input type="radio"/> TCPとUDP両方	TCP
宛先ポート	()	—
変換対象ポート	()	—
エントリ番号	() 1 ~ 50	—
優先順位	() (設定範囲は、0 ~ 99です)	—
接続インタフェース名	<input type="radio"/> メインセッション <input type="radio"/> セッション2 <input type="radio"/> セッション3 <input type="radio"/> セッション4 <input type="radio"/> セッション5	メインセッション
宛先IPアドレス	()	—
変換対象IPアドレス	<input type="radio"/> 自分のWAN側IPアドレス <input type="radio"/> IPアドレス指定 ()	自分のWAN側IPアドレス
変換対象プロトコル	<input type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP <input type="radio"/> TCPとUDP両方	TCP
宛先ポート	()	—
変換対象ポート	()	—
※1 最大50件エントリ可能です。不足する場合は、本ページをコピーしてご使用ください。		

【ネットワーク設定】 → 【静的NAT設定】

ワンタッチ設定		初期値
Webサーバを外部に公開する	<input type="checkbox"/> 公開する	<input type="checkbox"/>
WebサーバのIPアドレス	()	-
FTPサーバを外部に公開する	<input type="checkbox"/> 公開する	<input type="checkbox"/>
FTPサーバのIPアドレス	()	-
外部からのパケットを全て特定ホストに中継する (簡易DMZ)	<input type="checkbox"/> 中継する [セキュリティに注意]	<input type="checkbox"/>
特定ホストのIPアドレス	()	-
静的NAT設定 (エントリ編集)		
エントリ番号※1	() 1 ~ 64	-
優先順位	() (設定範囲は、0 ~ 99です)	-
接続インタフェース名	<input type="radio"/> メインセッション <input type="radio"/> セッション2 <input type="radio"/> セッション3 <input type="radio"/> セッション4 <input type="radio"/> セッション5	メインセッション
宛先IPアドレス	()	-
変換対象IPアドレス	<input type="radio"/> 自分のWAN側IPアドレス <input type="radio"/> IPアドレス指定 ()	自分のWAN側IPアドレス
変換対象プロトコル	<input type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP <input type="radio"/> TCPとUDP両方 <input type="radio"/> ICMP <input type="radio"/> 全プロトコル (共有)	TCP
変換対象ポート (開始ポート-終了ポート)	()	-
※1 最大64件エントリ可能です。不足する場合は、本ページをコピーしてご使用ください。		

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら?

7 付録

【ネットワーク設定】 → 【LAN側静的ルーティング設定】

LAN側静的ルーティング設定※1	
エントリ番号	() 1 ~ 150
宛先IPアドレス/ マスク長	()
	()
ゲートウェイ	()
エントリ番号	() 1 ~ 150
宛先IPアドレス/ マスク長	()
	()
ゲートウェイ	()
エントリ番号	() 1 ~ 150
宛先IPアドレス/ マスク長	()
	()
ゲートウェイ	()
エントリ番号	() 1 ~ 150
宛先IPアドレス/ マスク長	()
	()
ゲートウェイ	()
エントリ番号	() 1 ~ 150
宛先IPアドレス/ マスク長	()
	()
ゲートウェイ	()

※1 最大150件エントリ可能です。不足する場合は、本ページをコピーしてご使用ください。

【ネットワーク設定】 → 【DNS設定】

DNS共通設定		初期値
DNS Proxyタイムアウト	() (設定範囲は、1～10秒です)	10 (秒)
AAAA送信抑制エラー応答機能	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/>

【高度な設定】

UPnP設定		初期値
UPnP設定	<input type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
PPPoEブリッジ		
PPPoEブリッジ	<input type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
ステルス機能		
ステルス機能	<input type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
RIP設定		
RIP機能	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/>
RIPバージョン	<input type="radio"/> v1 <input type="radio"/> v2	v2

【メンテナンス】 → 【ユーザ用パスワード変更】

ユーザ用パスワード変更		初期値
ユーザ用パスワード※1	()	user
※1 ユーザ用パスワードは、お客様の個人情報となります。記入された場合は、お取り扱いにご注意ください。		

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かなと思ったら？

7 付録

よくある質問を下記にまとめています。

質問 (Q)	回答 (A)
LANケーブルは何を使えば良いか？	カテゴリ5eまたは、カテゴリ6のケーブルをご使用ください。ストレートケーブルでもクロスケーブルでも、どちらでもご使用になれます。
LANポート下部にパソコンは何台接続して良いか？	本商品の初期設定状態で、LANポート下部に接続できるパソコンの台数は、最大205台となります。206台以上接続する場合は、設定の変更が必要です。ご契約サービスのサポート窓口にご相談ください。
すべてのインターネットプロバイダに対応しているか？	ご契約サービスのサポート窓口にご相談ください。
転居先でもそのまま使えるか？	転居される場合は、事前にご契約サービスのサポート窓口までご連絡ください。

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。

アルファベット

- AH** Authentication Headerの略。
IPSecのプロトコルで、発信元認証、完全性認証の機能をもつ。
- bit/s** bit per secondの略。
通信速度の単位。秒当たりに伝送されるビット数。
- BRI** Basic Rate Interface の略
BRIは国際電気通信連合(ITU-TS)によって標準化された規格である。Bチャンネル(情報チャンネル)と呼ばれる64Kbpsのチャンネルを2本用いて、文字や画像、音声といった情報をやり取りするために用いる。独立した2本のBチャンネルが、電話とインターネットの同時接続などを可能にしている。また、Dチャンネル(信号チャンネル)と呼ばれる16Kbpsのチャンネル1を用いて、主に通信に必要な通信制御信号のやり取りに用いている。この2つのBチャンネルと1つのDチャンネルを併せて、ISDNのBRIとして用いられている。
- CHAP** Challenge Handshake Authentication Protocolの略。
PPPで接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴がある。
RFC1994 で仕様が公開されている。
- DHCP** Dynamic Host Configuration Protocolの略。
端末装置に対し、動的にIPアドレスやネットマスクなどのネットワーク構成情報を割り当てるための機能。(TCP/IPを使用する端末装置は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。)
- DHCPクライアント** DHCPサーバによりIPアドレスを割り当てられるシステム。
- DHCPサーバ** DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
- DMZ** DeMilitarized Zoneの略。
不正アクセスを防ぐファイアウォールの内側にあり、外部(WAN側)とも内部(LAN側)とも切り離された区域のこと。
- DNS** Domain Name Systemの略。
IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
- DNSサーバ** ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバ。
- ESP** Encapsulating Security Payloadの略。
IPSecのプロトコルで、AHの機能に加えて、暗号化の機能をもつ。
- GRE** Generic Routing Encapsulationの略。
米国Cisco Systems社が開発したトンネリングプロトコル。リモート側にあるルーターまで仮想的なポイントツーポイントリンクを張って、多種プロトコルのパケットをIPトンネルにカプセル化することができる。
- ICMP** Internet Control Message Protocolの略。
IP通信のエラーを通知するためのプロトコル。期限切れエラーのほか、あて先に届かなかった、あて先がわからないなど、さまざまなエラー・メッセージを通知できる。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな？と思ったら？

7 付録

- INSネット1500**..... NTTが提供するPRIインタフェースのISDNサービス
- INSネット64**..... NTTが提供するBRIインタフェースのISDNサービス
- IP**..... Internet Protocolの略。
異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IPアドレスにより相手先を判断する。
- IPアドレス**..... インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するためのアドレス。32bitの値を持ち、8bitずつ10進法で表現した数値を、ピリオドで区切って表現する。
(例：192.168.1.10)
- IPマスカレード**..... NAT(IPアドレス変換)機能の1つ。ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側端末を接続することが可能となる機能。
- LAN**..... Local Area Networkの略。
1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なコンピュータネットワーク。
- MACアドレス**..... ネットワーク上で、機器の区別をするためにハードウェア(LANカードなど)につけられた固有のアドレス。利用者が、このアドレスの値を決めることはできない。
- ONU**..... 光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持つ。
- PAP**..... Password Authentication Protocolの略。
PPPリンクの接続を確立するとき認証するプロトコル。
RFC1334で仕様が公開されている。
- PING**..... 「ピング」と呼ぶ。
端末間の接続が正常に行なえるかどうかを試験するプログラム。
- PPP**..... Point to Point Protocolの略。
2点間を接続してデータ通信を行うための通信プロトコル。
公衆回線を使ってインターネットに接続するために使われる。
- PPPoE**..... Point to Point Protocol over Ethernetの略。
ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術のこと。Ethernet上でダイヤルアップ接続(PPP接続)と同じように利用者の接続先ユーザ名や接続先パスワードのチェックを行う。
- PRI**..... Primary Rate Interfaceの略。
ISDN回線におけるインタフェース規格で、1.544Mbpsの通信速度で通信を行う大規模な組織向けの規格のことである。国際電気通信連合 (ITU-TS) によって標準化されている。PRIは一本の通信回線を複数の論理的回線 (チャンネル) に分割して使用しており、データ伝送用に用いる論理的回線はBチャンネルと、制御用のデータをやり取りするためのDチャンネルによって構成されている。通信速度は、Bチャンネルが64kbps、Dチャンネルが16Kbpsとなっている。

SIP	Session Initiation Protocolの略。 IP電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つ。 RFC3261で仕様が公開されている。
SPI	Stateful Packet Inspectionの略。 ルータ内を通過するデータを読み取り、内容を判断して動的に使用ポートを開放/閉鎖する機能。
TCP	Transmission Control Protocolの略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。 受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
UDP	User Datagram Protocolの略。 コネクション管理、応答確認、フロー制御などの機能を持たないIPの上位層プロトコル。機能を持たない分、処理が軽いので動画像や音声などの伝送に使われる。
UPnP	Universal Plug and Playの略。 パソコンや周辺機器、AV機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
VoIPゲートウェイ	ビジネスホンやPBXなどの電話網とIPネットワークの境界に置かれ、音声情報などを変換する装置。電話線から入力されるアナログ音声データをデジタルデータに変換し、IPパケットに分割してIPネットワーク上に送信する。同時に、IPネットワーク側から受け取ったIPパケットをアナログ音声に復元し、電話網へ送り出す。
WAN	Wide Area Networkの略。 地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
Webブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer®がよく使われている。
10BASE-T	Ethernetの通信方式の1つ。10Mbit/sの伝送速度を持つ。 ツイストペアケーブルを使用する。
100BASE-TX	Ethernetの通信方式の1つ。100Mbit/sの伝送速度を持つ。 ツイストペアケーブルを使用する。
1000BASE-T	Ethernetの通信方式の1つ。1Gbit/s (1000Mbit/s)の伝送速度を持つ。 ツイストペアケーブルを使用する。

1
お使いになる前に

2
IP電話サービスを
利用する

3
インターネットに
接続する

4
本商品の設定

5
管理する

6
と故障かなら
思ったら?

7
付録

五十音

【あ行】

イーサネット (Ethernet) …… LANの通信方式。10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tなどの規格がある。

【か行】

クライアント …… LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を受けるコンピュータ。

グローバルアドレス …… インターネット上の通信相手を特定するのに使用されるIPアドレスの種類の一つ。このアドレスは、インターネット上で重複することは許されていない。これとは別にプライベートでの使用に限って利用できるプライベートアドレスというものもある。

ゲートウェイ …… プロトコルの異なるLANどうしやLANとWANとを接続する装置。

【さ行】

サーバ …… LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を提供するコンピュータ。インターネット上では、Webサーバがホームページを提供する。

サブネット …… 大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス(ネットワークアドレス)と、サブネット内での端末のアドレス(ホストアドレス)から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク(ネットマスク)で指定する。

静的IPマスカレード …… IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにして、LAN側の端末を特定する機能。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。

セッション …… ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

ドメイン……………「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード……………コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。
パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。

ファームウェア……………本商品を動作させるためのソフトウェア。

ファイアウォール……………外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。
LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。

プライベートアドレス……………プライベートなLANで使用することができるIPアドレスのこと。
プライベートアドレスで直接インターネットに接続することはできない。

プロキシサーバ……………各装置からプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。

プロトコル……………通信規約。
システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。

プロバイダ……………インターネットの接続サービスを提供している事業者。

ポート番号……………TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

マルチセッション……………ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。

【ら行】

ルータ……………複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

ルーティング……………パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

数字・アルファベット

ALARMランプ	1-5
BRI(CLK)LY1/LY2ランプ	1-7
BRI(CLK)TERMスイッチ	1-7
BRI(CLK)ポート	1-7
CLKランプ	1-5
CONFIGランプ	1-5
DHCPv4サーバ設定	3-11,4-8
DNS設定	4-33
FG端子	1-7
INITランプ	1-5
IPアドレス	7-44
IP電話サービス	1-2,2-2
IPマスカレード	7-44
JavaScript™	7-30
LAN1～4ランプ	1-5
LAN ACTランプ	1-7
LAN G/100ランプ	1-7
LAN側静的ルーティング設定	3-7,4-25
LANケーブル	1-4
LAN設定	4-6
LANポート	1-7
NAT	3-4
ONU	7-44
POWERスイッチ	1-7
POWERランプ	1-5
PPPoE設定	4-10
PPPoEブリッジ	3-12,4-35
PPPランプ	1-5
PRI LOS/RAI/AISランプ	1-7
PRI LY1/LY2ランプ	1-7
PRIポート	1-7
PRIランプ	1-5
Q&A	7-42
SPI設定	3-10,4-18
UPnP	4-11,4-34
URLフィルタ設定	3-9,4-23
VoIPランプ	1-5
WAN ACTランプ	1-7
WAN G/100ランプ	1-7
WANポート	1-7
WANランプ	1-5
Webブラウザ	4-4,5-20

Webブラウザの設定	
Windows®の場合	7-30
Windows® 7	
インターネットプロパティの設定	7-9
ネットワークの設定	7-11
ネットワークの設定を確認する	7-15
Windows® 8	
インターネットプロパティの設定	7-2
ネットワークの設定	7-4
ネットワークの設定を確認する	7-8
Windows Vista®	
インターネットプロパティの設定	7-16
ネットワークの設定	7-18
ネットワークの設定を確認する	7-22
Windows® XP	
インターネットプロパティの設定	7-23
ネットワークの設定	7-25
ネットワークの設定を確認する	7-29

五十音**【カ行】**

各部の名前	1-5
壁掛け	
壁掛け用品	1-4
壁に取り付けるには	1-11
電源アダプタを壁に取り付けるには	1-12
かんたん設定	4-5
クライアント	7-46
高度な設定	4-34
故障かな?と思ったら	6-1

【サ行】

サーバ	7-46
再起動する	5-17
仕様	
ソフトウェア仕様	7-51
ハードウェア仕様	7-50
スタンド	1-4
縦置きするには	1-10
横置きするには	1-10
静的IPマスカレード設定	3-5,4-27
静的NAT設定	3-6,4-30
設置	1-9
設定	4-1
設定の流れ	4-3

【タ行】

電源アダプタ	1-4
--------	-----

電源アダプタコード固定用溝	1-7
電源アダプタ端子	1-7
同時に複数の通話および 複数の電話番号を利用する	2-3

【ハ行】

パケットフィルタ設定	3-8,4-19
パスワード	4-4,5-3
発ID表示	2-4
ファームウェアバージョンアップ	5-18
ローカルでファームウェアを更新する	5-18

【ヤ行】

ユーザ設定記入シート	7-31
用語集	7-43

【ラ行】

ランプ説明	1-6,1-8
リモートマネジメント	5-19
ログイン	4-4

1
お使いになる前に

2
IP電話サービスを利用する

3
インターネットに接続する

4
本商品の設定

5
管理する

6
故障かな？と思ったら

7
付録

ハードウェア仕様

項目	仕様	
WANポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	1ポート
	規格	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3ab / IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
LANポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	4ポート (スイッチングハブ内蔵)
	規格	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3ab / IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
PRIポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-48)
	ポート数	1ポート
	規格	TTC標準JT-I431準拠
BRI (CLK)ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	1ポート
	規格	TTC標準JT-I430準拠
VoIP	音声符号化則	ITU-T JT-G.711 (μ Law)
	DTMF	みなし音声 (透過)
	エコーキャンセラ	ITU-T JT-G.168(32/64ms)
	音声レベル	+10 ~ 0 ~ -18dB(1dBステップ)
ランプ表示	POWERランプ	電源通電中：緑点灯、電源異常：赤点灯、シャットダウン中：橙点滅、スタンバイ中：橙点灯
	INITランプ	工場出荷状態：橙点灯、ファームウェア更新時：橙点滅
	ALARMランプ	装置故障時：赤点灯
	CONFIGランプ	消灯
	PPPランプ	1セッション接続中：緑点灯 2セッション以上接続中：橙点灯
	VoIPランプ	IP電話利用可能時：緑点灯 IP電話通話中/着信中/呼出中：緑点滅
	WANランプ	WAN回線利用可能時：緑点灯 WAN回線でデータ通信中：緑点滅
	LAN1 ~ 4ランプ	LAN回線利用可能時：緑点灯
	PRIランプ	PRI回線利用可能時：緑点灯、PRI回線で通話中：緑点滅 PRI回線障害：赤点滅、PRI回線利用不可：赤点灯
CLKランプ	通信クロックがBRI回線に同期：緑点灯 通信クロックがBRI回線に同期できない：緑点滅 通信クロックがPRI回線に同期：橙点灯 通信クロックがPRI回線に同期できない：橙点滅	
操作部	INIT	設定初期化用スイッチ
	シャットダウン	装置シャットダウンスイッチ
	POWER	メイン電源スイッチ
	BRI TERM	BRI (CLK) ポート終端抵抗オン/オフスイッチ
筐体外観	縦置き/横置き/壁掛け型	
動作環境	温度：0 ~ 40℃ 湿度：20 ~ 80% (結露しないこと)	
外形寸法	約43 (W) × 210 (D) × 275 (H) mm (スタンドと突起物を除く)	
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	最大20W (電源アダプタ含む)	
質量	約1 kg (電源アダプタ含まず)	
電磁妨害波規格VCCI	VCCIクラスA	

ソフトウェア仕様

	項目	仕様
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet)
	PPP認証	自動認証 (CHAP/PAP) / CHAP固定 / PAP固定
	PPP接続/切断	常時接続 (自動接続) / 要求時接続 (無通信時切断機能あり)
	接続先数	登録: 5箇所、同時接続: 5箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング (最大150件)
	DHCPサーバ機能	あり (最大253アドレス割当)
	DNS Proxy機能	あり
	NAT機能	IPマスカレード: 最大4096セッション、 静的NAT: 最大64アドレス
	静的IPマスカレード	あり
	ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) 機能	あり
	複数固定IPサービス対応機能	あり
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別 (拒否/許可)、送信元IPアドレス、 宛先IPアドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、 方向指定、ICMPタイプ、ICMPコード (最大128件)
	URLフィルタ機能	拒否リスト、許可リスト (最大20件)
SPI機能	TCPタイムアウト、UDPタイムアウト、ICMPタイムアウト が設定可能	
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoEパケット
設定・保守機能	設定方法	Webブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN側IPアドレス、バージョン情報他
	ログ機能	あり
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Webブラウザを使用

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 インターネットに接続する

4 本商品の設定

5 管理する

6 故障かな?と思ったら?

7 付録